

# 戦國紀年再構成に関する試論 — 續 —

平 勢 隆 郎

## 1 はじめに

筆者は、かつて「戦國紀年再構成に関する試論——君主在位の稱元法からする古本『竹書紀年』の再評價——」<sup>(1)</sup>（以下前稿）と題して当該問題を論じたことがある。古本『竹書紀年』と『史記』六國年表との矛盾に焦点を当て、その矛盾を惹起した稱元法の轉換およびこれに附随する諸問題を指摘した。本稿はその續編に当たる。紙幅の関係上そこで論ずることができなかった點、およびその後検討を繼續して新たに判明した點を略述し、併せて前稿では提示し得なかった紀年の一覽ならびのその補表を掲げたい。前稿に示した各國君主立卒年は、本稿において一部修正されている。

## 2 稱元法の轉換と紀年配列

稱元法の轉換とは、立年稱元（前君主薨卒後すみやかに即位して元年とする。筆者の用語）から踰年稱元（前君主薨卒後すぐには元年とせず、年を越して、すなわち踰年して元年正月とする）へという變化であり、戦國中前期前四世紀後期に一部の國で制度化される。このことは、從來気づかれておらず、そのため引き起こされる諸矛盾の説明も一面的であった。

この變化につき、以下に筆者の推論を略述しよう。

気づかなかったのは古く漢の司馬遷も同様である。彼の時代、年代記としては『春秋』が存在した。これは魯公の年代記の體裁をとり、しかも稱元法は踰年法である。踰年法であることを示すのが魯公各代の元年であり、「王の正月」が示されている。この年代記が孔子の作とされていたことは、その權威を明示して餘りあるものであった。前漢代には、もはや踰年法は自明の理と化していた。そうでなくても孔子の作とされる『春秋』である。これに續く時代の年代が踰年法でないはずはない、そう考えるのが言わば當然であろう。踰年法が一部の國で制度化された後の記録、しかもそれら關係國作成の史料が多數を占めるのだから、たとい疑問がわいても一部の例外という説明の裏で立ち消えになってしまう。

ところが現實に紀年を配列すると、だぶつきができる。本來立年法によって計算された君主卒年次を、踰年法によつたと解釋するのであるから當り前である（代ごとに一年づつ多くなる）。司馬遷も困つたに違いない。そこで英斷を下して部分的削除を執行することになる。司馬遷のことであるから、無理な削除はしない。「十八」とあるのは「六」の字形を誤つたのであろうとか、竹簡がうすくなって見えにくい部分について、「四十(卅)」に見えるが實は「三十(卅)」の誤りであろうとか、彼なりに合理的解釋を下して遂行した。時には君主をまるごと削除することもあるが、敬公など君主の別號とみなせるものに限った。あちこちつじつまを合わせているうちにブランクが生じ、誤って隣國の君主を増補してしまうという失態も演じたものの、彼のそもその前提を考慮する限り、全體としては妥當な判断と言えよう。

彼のこうした誤りは三世紀半ばの『竹書紀年』の出土により矛盾として顯在化する。『史記』には分の悪いことに、この年代記の出土は、それまでも問題視されてきた『史記』と『孟子』の矛盾を補正するものであった。しかしそれでも、史上最初の史書たる『史記』と司馬遷の名がゆらぐことはなかつたらしい。唐の司馬貞の索隱は、こまめに『竹書紀年』を引用して矛盾を指摘する

が、彼の立場は『史記』がいかにかに正しいかを証明する點にあった。しかし、顕著な矛盾の存在は當時の學者を困惑させたまま、『史記』に一部の補正をほどこす議論だけで推移し、やがて『史記』の輿望がいよいよ高まる中、『竹書紀年』は散逸してしまった。

いかなる箇所が矛盾として指摘されたかという、その指摘が諸君主の在位年や君主の存在そのものに關わる場合は、司馬貞の意に反して今日的に解釋すれば、常に『史記』が削除したと思われる部分である。この部分に『竹書紀年』關係記述から再解釋し得るありし日の君主や年代を挿入すれば、當然のこととしてだぶつくことになる。このだぶつきは司馬遷も經驗したはずである。これを司馬遷のようにまとめて削除することなく、立年法によったとして年表上に配列してみると、矛盾は氷解することになる。

前稿は、もともと本來あるはずのない矛盾をなくすべく試行錯誤を繰り返した結果としてまとめたものである。矛盾解消に導くいくつかの條件について議論し、紀年配列を定め、その概要を提示した。上述した司馬遷の誤解をめぐる推論は、その條件として議論したものである。議論の結果、前五世紀に踰年法が一部の國で制度化される以前は、立年法が普遍的であったという決論が得られた。司馬遷以後歴代の判断を誤らせた『春秋』の踰年法による配列は、この踰年法が議論される過程で確立されたことになる。その編纂は立年法が現實に存在する中でのことだったため、立年法年次から踰年法年次への轉換は正確で、そのため絶対年代にくるいは認められ<sup>(2)</sup>ない。

## 2 戦國紀年一覽と『史記』戦國年代檢索表の作成

しかしながら、前稿發表後問題の條件をつめなおしてみると、古本『竹書紀年』と直接は關わらない部分についてなお補正すべき點が少なくないことがわかってきた。全體に關わるのは曆をめぐる議論であり、これを説明しておかな

ければならない（これについては次節に簡述する）。次に、前稿において指摘したまま具體性を缺いた同一内容記事の配列を具體化させなければならない。とくに後者の作業を進めた結果、前稿ではずれないと考えられた六國年表部分にも、ずれが生ずることが明かとなった。また、前稿で稱元法の相違を考慮して再配列した時、どうしても部分的に踰年法を想定しなければならない事例もあり、君主が年末に死亡したため形式的に踰年したと想定したものの、どこにそれが生ずるか特定できなかつた。しかし、同一記事をより詳しく比較配列した結果、そうした踰年法考慮の必要が想定された部分はなくなるか、或いはその部分が特定できることが判明した。これらについても具體的に示す必要がある。

各國紀年の實際については、紙幅の関係で立卒年のみを一覽に示したため、意を盡くさないところがあった。これまでのように六國年表を通して知り得る年代については、同一事件と目されながらなぜか年代がずれる事件が少なからず指摘できる。しかるに、紀年を再構成してみると、それらは案の定同一年代として収まることになる。前稿では、こうした事例を逐一示すことができなかつたため、そこに示した各國立卒年一覽についても、その眞偽をはかりかねたのではないかと案ずる。

本稿は、こうした前稿の缺を補うべく、各國紀年の一覽を提示し、同一事件がその配列の正しさを示す點を個々に指摘した。

ただし一方では、各國紀年を再配列した結果、六國年表で収まりのよかつた記事はかえってずれる結果となる。それらは概ね秦紀や趙紀など、從來から記事が豊富であると指摘されてきたものから六國年表を通して他國に轉寫したものである。<sup>(3)</sup>この轉寫の問題については、無論のことその他の國の紀年記事をも考慮の對象としなければならないが、その上で、その轉寫の過程を具體的に示しておく必要が生ずる。そこで、この種の問題が具體的に發生する『史記』の本紀・世家について、すなわち、六國年表上同年のものとして複數の國に跨る

記事のうち、新年表による補正でずれることになるものについて、それぞれ本来の紀年に附随するものか、他國紀年からの轉寫によるものかを吟味し、一覽に加えることとした。言うまでなく、この『史記』紀年検索表と上記の各國紀年一覽を對照させることで、これまで前後関係を誤ってきた事實を補正し、さらに從來不明であった點を明かにすることを企圖している。

#### 4 曆法計算の開始と三正論

表全體に関わる曆の問題を略述しておこう。<sup>(4)</sup>

中國古代の曆に近代科學のメスが入った後、いちはやく指摘されるにいたりながら、その後なぜか意識の外に追いやられた事實がある。それは、前漢初期にいたって指摘された「晦蝕」(晦日の日食)等からして、それまで使用されてきた曆が戰國中期に始まったという指摘である。<sup>(5)</sup>この事實のもつ重みは、少なくとも戰國中期には、曆法計算が始まっていたことを證すことにある。先學がそれ以前を遡った結果、『春秋』や『左傳』の曆が議論され、より原始的な曆の存在が想定された。<sup>(6)</sup>ところが、殷や周を語る段になると、これらのことは忘れられ、『漢書』律曆志に語られた三正論がなお幅をきかせている。

ここに『漢書』律曆志を引き合いに出すのは、そこにおいて曆だけが議論されているのではなく、度量衡・樂律などがセットで論じられているからである。三正論は、こうした理論的背景をもつ。

樂律理論の要をなす三分損益法では、出發點を九にすると、次が六(九の $2/3$ 、三分損)、次が八(六の $4/3$ 、三分益)となって、以下が分數となる。九に天、六に地、八に人を當てるまでが易にも見える議論(陽たる九と陰たる六で八卦をつくり人の運命をはかる)である。ところが、三正論には、もうひとつの条件が加わる。方位を十二等分し、北を子にして時計廻りに十二支を配當する。また三分損益によって得られる十二律を子(北)から同様に配列すると、

六の音律に當たるのは未となる。この未の反対方向が丑であるため、六で丑を説明するのである。このことは、十二支、方位と樂律理論とが三正論と一體であることを示す。

子や北が出発点であることを曆に反映させるとすれば、天文現象を方位に關聯させなければならない。天體は一定の速度で廻轉しているから、方位として議論する際の基準となるのは、まずは北極である。前漢以來の緯書には、この北極を廻る北斗の位置を論じたものがあり、北斗の柄（玉衡）が北を指すと冬至になり、癸を指すと小寒になり云々とする。これは、天を極の上からながめた圖であり、子午線をもって基準とするものである。そこでは日没後の北斗を問題にしている。天の動きは我々が天を見上げたのと反対になる。漢以後の出土遺物等に見られる占星盤も天の表現の仕方は同様である。しかるに、戰國前期と考えられる湖北省曾侯乙墓出土の漆器の圖では、人が天を見上げた圖を描いている。<sup>(7)</sup>南が上になってもいる。それを蓋の表に描く點は、天を極の上から見ることを知らなかったことを示すがごとくである。

同墓出土の樂鐘銘文によると、絶對音高の理論が當時急速に整えられていったことが想定される。また、春秋戰國時代の樂鐘について、基準器のどこにさらに基準を置いたかを検討すると、銑間徑にそれが求められ、かつ編鐘の一つのセットの中でこの銑間徑を相互に比較すると、三分損益理論の要である $2/3$ 、 $4/3$ を表現し、基準器の銑間徑に使用尺の正數を表現したことが明かとなる。<sup>(8)</sup>その表現の仕方でも春秋後期から急速に尺度を意識するようになる。

こうして三正論の理論的背景に關わる變化をたどってみると、春秋から戰國にかけてという時期が大きな劃期であることは疑うべくもない。

『左傳』には冬至の觀測記録もある（前656年末、前523年末）。しかし、今日的な推算によれば、2、3日ずれている。<sup>(9)</sup>冬至の觀測すらままならぬ時代において冬至月を“正確な”基準とすることは、むずかしいことであろう。

“おおよその”基準ということになれば話は別であるが、後術するように『春

秋』や『左傳』に示された曆日は、後世の四分曆では説明の難しい内容を掲示する。

上記の緯書に示された北斗の位置は示唆的である。というのは、おそらく元々は天は見上げるものに過ぎなかったはずであるため、緯書の上掲説明は圖を裏返しにしておく必要があるが、日没後の北斗の柄が垂直になる頃が今日言うところの立春になるからである。これを過ぎれば春になる。日没後の北斗の柄が垂直になる頃を過ぎれば春という基準なら、かなり原始的な段階から気づかれたであろう。こうした観点から、『春秋』の前1/3の部分の曆日を見れば、冬至月の翌月ないし翌ヶ月が正月とされており、この原始的段階の曆に接續するがごとくである。<sup>(11)</sup>また、『春秋』の曆日と月ずれが指摘される晉國の春秋時代末の出土遺物『侯馬盟書』および同時期と目される温縣出土盟書所載の曆日を検討すると、まさに原始的段階の曆によると見なせる。この觀象授時による原始的曆を今日的に議論する場合は、冬至月を12月とし、(1)冬至がその月の上旬から月半ばないし中旬にある時には翌月を正月とする、(2)同じく月の半ば以降ないし下旬にくるとまだ日没後の北斗の柄が垂直にならないため閏月を設ける、とするとよいようである。<sup>(12)</sup>三正論を用いて説明すれば、冬至が上旬から月半ばないし中旬にある時は殷正(丑月正月)と同じであり、冬至が月半ば以降ないし下旬にくると置閏(丑月)のため夏正(寅月正月)と同じになる、ということになる。おおよその目安であるから、時折上記の基準にはよらぬずれ方を示したであろう。ずれ方の相違が國ごとの月ずれを引き起こす。『春秋』や『左傳』について指摘される國ごとの月ずれはこうして起こる。また、甲骨文や金文<sup>(14)</sup>には「十四月」という記述もある。事例は少数だがまとめて置閏したことを示す。

この想定に、漢初に問題となった曆の制定時期が戦國中期中であるという指摘はうまく接合し、三正論の背景にある諸議論が春秋から戦國にかけて急速に整えられたらしいという想定にも合致する。戦國中期中に制定された曆は、三正論

の先駆ともいうべき理論的背景をもっていたものと考えられる。

この想定は、最近の別の出土例からも補強可能である。湖北省荊門包山二號墓出土楚簡の曆日は、亥月正月である。この種の曆の存在は、湖北省雲夢睡虎地出土秦簡の『日書』<sup>(15)</sup>によっても知られていたが、包山楚簡の出土でいっきに前322年まで遡ることとなった。従來の史料事情からは三正論の成立を戦國末から漢代におく見方もあり得たが、亥月正月曆に後述の顛頊曆を關聯づける時それをもう少し遡る必要が生じた。

しかるに春秋時代の楚では、晉と同様觀象授時の曆を用いていたと想定される<sup>(17)</sup>ので、どこかで轉換したことになる。その轉換の時期は、遅くとも前322年までは遡るわけで、この年次は戦國最初の稱王である齊の威王前328年に近い。

しかもここに注目したいのは、この亥月正月がいわゆる孟冬月に当たり、立冬を意識していると考えられることである。こうした考えは立春を意識した孟夏月を正月とする夏正の存在を前提にしているとした方が理解しやすい。觀象授時曆がとりもなおさず結果的に立春の前後で正月を繰り返すからである。夏正を含む三正論が稱王にからめて議論され形を整えたことがうかがえる。

この亥月正月の存在は、これまでやはり議論のある秦の10月歳首曆（いわゆる顛頊曆、以下これ）にも一定の解明を與える。顛頊曆は類例のない特徴をもち、10月が年頭になる（10月、11月、12月・・・ときて9月で終わる）。しかし、途中で正月があり、これは夏正と同じである。この曆は上記の雲夢秦簡によっても存在が確認されたが、いつまで遡るかにはなお議論がある<sup>(18)</sup>。しかるに10月という名稱が異なるとはいえ同じ亥月を正月とする曆が楚に存在し、遅くとも前322年まで遡れるという點、しかもこの前322年が秦が稱王した前324年のわずか2年後にすぎないという事實は、秦の顛頊曆がその稱王時點まで遡る可能性を高める。こうした觀點から本稿の戦國紀年一覽を管見すれば、秦と他國とに跨る記事のうち、同年に位置づけられる事例に混じって、秦の紀年が一年遅れる事例がいくつか見つかる。これらこそ顛頊曆が戦國以來の秦の



曆であることを裏書きするものであろう（顓頊曆年頭3ヶ月〈10～12月〉が夏正では前年末3ヶ月になる）。ずれる事例として最古のものは前325年（恵文君13）にある（次は前305年の昭襄王2）。稱王の前年であるが、恵文君の年次はその即位に遡って踰年法に改められている（稱王時期を理念の上で遡ったことになる）。

楚の亥月正月曆（建亥曆）と他國の曆との相違がもたらす年次のずれについても2例指摘できる（前322 懷王15・前311 懷王26）。

これら建亥曆・顓頊曆と夏正とのずれの他、觀象授時曆とこれらの曆とのずれも考えられる。夏正以下の曆法計算を附帶する新しい曆が、戦國稱王に関わる點は上述したごとくであるが、稱王にあづからぬ國は、稱元法もそのままであり、おそらく曆も轉換されなかったのではなかろうか。『春秋』の後2/3期に示された曆については別に論ずる必要があるものの（冬至月を意識する、すなわち日没後の北斗の柄が地平上の真北を指すころを始まりとする）、それらはすべて上述の觀象授時曆として議論してよいのではあるまいか。觀象授時曆どうしが月ずれを引き起こす場合もあるが、その他に夏正以下の新曆や『春秋』に示された曆とも月がずれるわけで、それが年末年始にからめば、年次がずれることになる。魯と秦・楚との関わりで、問題のずれが生じている例を指摘することができる（前312 平公12, 前279 頃公2。なお前296 文公7は秦と一致）。

#### 4 おわりに

本稿は、すでに発表した別稿の續編として、若干の補論を展開したものにすぎない。しかし、ここに提示した紀年一覽および『史記』戦國年代檢索表を用いれば、これまで『史記』に矛盾するとして敬遠されてきた『戰國策』の記述のうち、紀年記載を具有するものについて、より確かな年代を知ることができる（一部は表中に補った）。新出史料である『戰國縱橫家書』も同様である。

機会があれば、こうした『史記』以外の諸史料との関わりについても、検討の場をもちたい。

- 1 『史学雑誌』101-8,1992.8
- 2 具体的には、日食の記事を検討するとよくわかる。齊藤國治・小澤賢二『中國古代の天文記録の檢證』（雄山閣，1992.9.20）第Ⅱ章『『春秋』の中の天文記録』を参照されたい。
- 3 藤田勝久氏の一連の業績『『史記』戰國紀年の再検討---睡虎地秦簡『編年記』を手がかりとして---』（『愛媛大學教養部紀要』20-1,1987），『『史記』趙世家の史料的性格』（同22-1,1990）等。
- 4 別に「中國古代の皇帝と曆」と題してまとめている（『MUSEUM KYUSHU』45，博物館等建設推進九州會議，1993）英文譯「The Emperor and the Calender in Ancient china」（『MEMOIRS OF THE RESERCH DEPARTMENT OF THE TOYO BUNKO』1，1993）
- 5 新城新蔵『東洋天文學史研究』（弘文堂，1928.9.1）542～553頁，飯島忠夫『支那曆法起源考（恒星社，1930.1.20，復刊第一書房，1979）244～254頁
- 6 前掲 5 新城書 235～239頁。
- 7 『孝經授神契』（『重修緯書集成』5，明德出版，1973.3.30）
- 8 湖北省博物館編『曾侯乙墓』（中國田野考古報告集・考古學專刊・丁種第37號），稻畑耕一郎「曾侯乙墓の神話世界」（日中國交正常化20周年記念特別展『曾侯乙墓』圖録所収，東京國立博物館，1992）
- 9 「Set-Bells Construction and the Up-and-down Generation Principle」（1988年11月開催の中國古代科學文化國際交流曾侯乙專題（編鐘會議）に中文で提出，後英文提出の際内容を改めた。同會議英文論文集所収，1994.2。別に「編鐘の製作過程と設計理念」（『音響音樂研究會資料』，日本音響學會，1990.9），「曾侯乙編鐘の歴史的意義」（前掲（8）特別展『曾侯乙墓』圖録所収）
- 10 飯島前掲（5）書152～154頁。齊藤・小澤前掲（2）書66～67頁。張培瑜『中国先秦史圖曆表』齊魯出版社，1987.6）所収の「冬至合朔日表」では2日のずれとなっている。
- 11 前掲（5）新城書。314頁以下に示された春秋長歴閏圖表のうち年始早晚圖を参照されたい。なお、この圖は同書における氏の検討どおりだが、同處所載の置閏朔日表の太陽曆日は、書くべき覧が二段ずれている上、置閏年やその前年等でさらに日

干支の月との一ヶ月のずれを示している。

- 12 拙著『春秋晉國侯馬盟書字體通覽』（『東洋文化研究所東洋學文獻センター叢刊』別集15,1988.3.30）1・268頁および「侯馬盟書“𠄎”・“𠄎”の字釋とその關聯問題」（九州大學文學部『史淵』128,1991.2.28）参照。後者において夏正前提の議論をすすめたため説明もごちなかつた（また晉定公の年次も説明を誤った）が、いま觀象授時曆によるとして再吟味すればすっきり説明できる（→注（17））。侯馬盟書の「十有一（二の誤讀）月甲寅朏乙丑」は晉定公17年（前496）「十二月甲寅朏翌日」、溫縣盟書の「十五年十二月乙未朔辛酉」は晉定公「十五年（前498）十二月辛未朔二十七日」となる。
- 13 この想定で、別に西周の曆日を検討している。西周金文中の王の年・月・月相・日干支をすべて満足するものは、これまで並んだためしがない（李仲操『西周年代』＜文物出版社，1991.9＞）では、一見並んだようになっているが、今日の天文學的推算と著しくずれていて月相が合わない。三正を意識した曆として遡るのが誤りの元である。觀象授時の曆によるとして検討すると全て並べることができた。これについては、別に機會を得て論じたい。
- 14 甲骨文として2例（『甲骨續存』上1492＜郭沫若主編『甲骨文合集』8,1981.1＞・『殷虛書契』8-11-3＜『甲骨文合集』7,1980.8＞）、金文として1例（都公諱鼎『金文通釋』＜37-209＞、ただし摹本）知られる。
- 15 湖北省荊沙鐵路考古隊『包山楚墓』（文物出版社，1991.10）
- 16 『睡虎地秦墓竹簡』（同整理小組編，文物出版社，1990.9）
- 17 吉本道雅氏は「左氏探源序說」（『東方學』81，1991.1）において『春秋』・『左傳』に示される春秋諸國の曆を検討し、三正論の延長上に建亥・建子・建丑・建寅の各曆を議論、多くの貴重なデータを示した。その成果は繼承すべきで、つい最近まで、筆者も吉本氏の所論に據って検討を進めてきた。しかし、現在それらはすべて觀象授時曆として議論すべきであろうと考えている（別に機會を得て論じたい）。
- 18 齊藤國治・小澤賢二『中國古代の天文記録の檢證』（雄山閣，1992.9.20）第二章「『春秋』の中の天文記録」を参照されたい。

## 戦國紀年一覽 凡例

「B.C.」……國ごとに暦の年頭が異なる點は捨象してある。嚴密には、年頭・年末の一部が西暦では前年や後年になるので、記事によってはそれぞれずれる可能性もあるが、月日を特定し得ない例がほとんどなので、そのずれには目をつぶる。場合により、同一記事の年次が國ごとにずれるという表現にせざるを得ない理由である

「竹書紀年」…復元した古本『竹書紀年』のうち、注釋利用の際問題となる晉・魏兩國君主の卒年・立年のみ注記する。これらは、索隱等において兩年として計算された。古本『竹書紀年』の他の關聯記事は、「繫年根據」に示す

「繫年根據」…四者からなる。記事は略記である

- <1> 古本『竹書紀年』の記事で烈公23年までの晉公年次および武侯元年以後の魏君主年次を附帶するもの
- <2> 古本『竹書紀年』の記事を索隱等が解釋して示したもの。魏武侯年次（それ以前の魏宗主も問題となるはずだが、現存史料には見い出せない）ならびに烈公24年以後の晉公年次を附帶するものを含む。「某國某君卒」とのみあったのを注釋者が系譜參照の上讀みとり、踰年法により計算して卒年等年次を示したものと考えている
- <3> 古本『竹書紀年』との矛盾が指摘されていない『史記』所載各國君主卒年次
- <4> 同一記事が複数の國の紀年として記されている場合。六國年表においても同一年とされ、かつ六國年表を利用した轉寫が予想されるものを除く
- <5> 左傳の17-D等は小倉芳彦譯『春秋左氏傳』（岩波文庫、

1989.5.16) に據る

「國名」……以下の記號を定める

+ ……『史記』所載年次として存在しないもの。本紀・世家・  
六國年表のうち、最大のものを念頭に置く（概ね本紀・  
世家）

[ ] ……史料により踰年法年次が問題となる場合、その踰年法年  
次

/ ……崩薨卒，出奔（復位がある場合を除く）

\* ……「繫年根據」に扱うもの

その他，で覽を圍ったものは，同一記事が複数の國の紀  
年として確認し得る場合である

東洋文化研究所紀要 第123冊

西暦	竹書紀年	繫年根拠	周	晉	魏	趙	韓
479		周本紀敬王42[以後264・255まで周本紀年次で可]崩。越王句踐1は越世家の内容からすると春秋・左傳定14・4(481)→本年は3年	敬王42/ 元王1	定公34		簡子	この頃 簡子
478		左傳哀17-F衛莊公奔立公子起	元王2	定公35		簡子	
477		秦公卒→444。左傳哀18-C衛君起奔齊衛侯輒復立	元王3	定公36		簡子	
476	素隱解釋 兩年、 定公37 出公1	晉世家定公37卒	元王4	定公37* / 出公1		簡子	
475			元王5	出公2		簡子	
474			元王6	出公3		簡子	
473			元王7	出公4		簡子	
472		周本紀元王8[-→479]崩	元王8* / 貞定王1	出公5		簡子	
471			貞定王2	出公6	この頃襄子	簡子	
470		左傳哀25-A衛侯輒奔宋	貞定王3	出公7		簡子	
469		左傳哀26-B宋景公卒 左傳哀26-A・C衛立悼公(出公復歸を預言→ 465・455)	貞定王4	出公8		簡子	
468		左傳哀27(踰年法年次)魯哀公奔	貞定王5	出公9		簡子	
467		燕世家獻公28卒,越世家素隱引竹書紀年晉出公 10年11月句踐卒次鹿郢立	貞定王6	出公10*		簡子	
466		趙世家晉出公11知伯伐鄭(鄭世家聲公36同)	貞定王7	出公11*		簡子	
465		衛世家悼公5卒(衛世家素隱引竹書紀年悼公4卒 于越<踰年法解釋>,左傳哀26-C出公記事)	貞定王8	出公12		簡子	
464			貞定王9	出公13		簡子	
463			貞定王10	出公14		簡子	
462			貞定王11	出公15		簡子	この頃 莊子
461		越世家素隱引竹書紀年鹿郢6(踰年法解釋→467, 越世家鮑與をこの後に挿入→467・456)	貞定王12	出公16		簡子	

戰國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中山
聲公23	平公3	成子	景公39	悼公14	勾踐3*	獻公16	惠王11	哀公17 [16*]	莊公2・出 公15	
聲公24	平公4		景公40	悼公15	+勾踐4	獻公17	惠王12	哀公18 [17*]	莊公3* /君起1** 出公16	
聲公25	平公5		景公41	+悼公16/ 厲共公1	+勾踐5	獻公18	惠王13	哀公19 [18*]	君起2* /出公17 (15)復1	
聲公26	平公6		景公42	厲共公2	+勾踐6	獻公19	惠王14	哀公20 [19]	出公18 (16)復2	
聲公27	平公7		景公43	厲共公3	+勾踐7	獻公20	惠王15	哀公21 [20]	出公19 (17)復3	
聲公28	平公8		景公44	厲共公4	+勾踐8	獻公21	惠王16	哀公22 [21]	出公20 (18)復4	
聲公29	平公9		景公45	厲共公5	+勾踐9	獻公22	惠王17	哀公23 [22]	出公21 (19)復5	
聲公30	平公10		景公46	厲共公6	+勾踐10	獻公23	惠王18	哀公24 [23]	+出公22 (20)復6	
聲公31	平公11		景公47	厲共公7	+勾踐11	獻公24	惠王19	哀公25 [24]	+出公23 (21)復7	
聲公32	平公12		景公48	厲共公8	+勾踐12	獻公25	惠王20	哀公26 [25]	+出公24 (22)復8	
聲公33	平公13		景公49* /昭公1	厲共公9	+勾踐13	獻公26	惠王21	哀公27 [26*]	+出公25 */悼公 1*	
聲公34	平公14		昭公2	厲共公10	+勾踐14	獻公27	惠王22	+哀公28 [27*] /悼公1	悼公2・ 出公26	
聲公35	平公15		昭公3	厲共公11	+勾踐15* /鹿郢1	獻公28* / 孝公1	惠王23	悼公2	悼公3・ 出公27	
聲公36*	平公16		昭公4	厲共公12	+鹿郢2	孝公2	惠王24	悼公3	悼公4・ 出公28	
聲公37	平公17		昭公5	厲共公13	+鹿郢3	孝公3	惠王25	悼公4	悼公5* /出公29 (23)再復 1	
+聲公38	平公18		昭公6	厲共公14	+鹿郢4	孝公4	惠王26	悼公5	+出公30 (24)再復 2	
+聲公39	平公19		昭公7	厲共公15	+鹿郢5	孝公5	惠王27	悼公6	+出公31 (25)再復 3	
+聲公40	平公20		昭公8	厲共公16	+鹿郢6	孝公6	惠王28	悼公7	+出公32 (26)再復 4	
+聲公41	平公21		昭公9	厲共公17	+鹿郢7* /颯與1	孝公7	惠王29	悼公8	+出公33 (27)再復 5	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
460		鄭世家聲公37卒(聲公1春秋定9が起點,下は共公3<451>を定點とみなす,聲公37卒と哀公8卒のうち六國韓表鄭紀年は哀公8卒に合わせる<聲公38卒>→聲公42卒,削った5年間は哀公~康公5代の稱元法誤解によるだぶり)	貞定王13	出公17		簡子	
459			貞定王14	+出公18		簡子	
458			貞定王15	+出公19		簡子/ 襄子1	
457		齊世家平公25卒(→春秋哀14弑其君王)	貞定王16	+出公20		襄子2	
456		越不壽1(索隱踰年法解釋として447から遡る,454兩年→447→414)	貞定王17	+出公21		襄子3	
455		趙世家襄子立4知伯與趙韓魏盡分其范中行故地(ここまでが本年,以下次年→414獻公13城平邑との關聯,六國表も454・453の兩年とする)晉出公奔齊,衛世家出公立21卒(出奔時の合計10年に,再復後11年を合計か)	貞定王18	+出公22		襄子4*	
454	索隱解釋 兩年, 出公23 敬公1	晉世家素隱引竹書紀年出公23奔立昭公之孫是爲敬公(趙世家襄子立4<→455,おそらく翌年>出公奔齊<齊から楚への出奔か>,魏世家魏桓子韓康子趙襄子共伐滅知伯,韓世家同).	貞定王19	+出公23* /敬哀公1	桓子*	襄子5*	康子*
453		鄭世家哀公8卒(→460),燕世家孝公15卒	貞定王20	敬哀公2	桓子	襄子6	康子
452			貞定王21	敬哀公3	桓子	襄子7	康子
451		晉世家哀公4殺知伯(燕世家素隱引竹書紀年智伯滅在成公?<踰年法解釋,代次より敬公=哀公=敬哀公>,趙世家三月丙戌(西曆451.4.8,觀象授時曆)滅知氏,鄭世家共公3<六國韓表鄭紀年とずれるので正>滅知伯,魏世家魏桓子韓康子趙襄子共伐滅知伯,韓世家同),田世家襄子既相齊宣公三晉殺知伯	貞定王22	敬哀公4*	桓子	襄子8*	康子
450			貞定王23	敬哀公5	桓子	襄子9	康子
449			貞定王24	敬哀公6	桓子	襄子10	康子
448			貞定王25	敬哀公7	桓子	襄子11	康子
447		越世家素隱引竹書紀年不壽立10見殺(索隱踰年法解釋として414から遡る,434・417兩年,不壽の年次も索隱踰年法解釋→456),越世家家王不壽卒王翁立	貞定王26	敬哀公8	桓子	襄子12	康子
446			貞定王27	敬哀公9	桓子	襄子13	康子
445		周本紀定王28崩,哀王立三月所殺,思王立五月所殺考王立	貞定王28* /哀王1/ 思王1/ 考王1	敬哀公10	桓子	襄子14	康子
444		秦本紀厲共公34日食[西曆前444.10.24],厲共公卒	考王2	敬哀公11	桓子	襄子15	康子



戰國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中山
+ 聲公42 * / 哀公1	平公22		昭公10	厲共公18	+ 颯與2	孝公8	惠王30	悼公9	+ 出公34 (28)再復6	
哀公2	平公23		昭公11	厲共公19	+ 颯與3	孝公9	惠王31	悼公10	+ 出公35 (29)再復7	
哀公3	平公24		昭公12	厲共公20	+ 颯與4	孝公10	惠王32	悼公11	+ 出公36 (30)再復8	
哀公4	平公25 * / 宣公1		昭公13	厲共公21	+ 颯與5	孝公11	惠王33	悼公12	+ 出公37 (31)再復9	
哀公5	宣公2		昭公14	厲共公22	+ 颯與6 / 不壽1 *	孝公12	惠王34	悼公13	+ 出公38 (32)再復10	
哀公6	宣公3		昭公15	厲共公23	+ 不壽2	孝公13	惠王35	悼公14	+ 出公39 (33)再復11 * / 敬公1	
哀公7	宣公4		昭公16	厲共公24	+ 不壽3	孝公14	惠王36	悼公15	敬公2	
哀公8 * / 共公1	宣公5		昭公17	厲共公25	+ 不壽4	孝公15 * / 成公1	惠王37	悼公16	敬公3	
共公2	宣公6		昭公18	厲共公26	+ 不壽5	成公2	惠王38	悼公17	敬公4	
共公3 *	宣公7	襄子 *	昭公19	厲共公27	+ 不壽6	成公3 *	惠王39	悼公18	敬公5	
共公4	宣公8		昭公20	厲共公28	+ 不壽7	成公4	惠王40	悼公19	敬公6	
共公5	宣公9		昭公21	厲共公29	+ 不壽8	成公5	惠王41	悼公20	敬公7	
共公6	宣公10		昭公22	厲共公30	+ 不壽9	成公6	惠王42	悼公21	敬公8	
共公7	宣公11		昭公23	厲共公31	+ 不壽10 * / 朱勾1	成公7	惠王43	悼公22	敬公9	
共公8	宣公12		昭公24	厲共公32	+ 朱勾2	成公8	惠王44	悼公23	敬公10	
共公9	宣公13		昭公25	厲共公33	+ 朱勾3	成公9	惠王45	悼公24	敬公11	
共公10	宣公14		昭公26	厲共公34 * /	+ 朱勾4	成公10	惠王46	悼公25	敬公12	

東洋文化研究所紀要 第123册

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
443		田世家索隱引竹書紀年齊宣公15(驗年稱元解釋, 454兩年→457)田莊子卒, 明年悼子立	考王3	敬哀公12	桓子	襄子16	康子
442		魏→395, 田悼子→443	考王4	敬哀公13	桓子/文子1	襄子17	康子
441			考王5	敬哀公14	文子2	襄子18	康子
440			考王6	敬哀公15	文子3	襄子19	康子
439			考王7	敬哀公16	文子4	襄子20	康子
438		燕世家成公16卒.	考王8	敬哀公17	文子5	襄子21	康子
437		晉世家索隱引竹書紀年魏文侯初立在敬公18, 衛世家敬公19卒.	考王9	敬哀公18*	文子6稱侯[1*]	襄子22	康子
436		六國秦表躁公8日月食(日食西曆前436.5.31)	考王10	+敬哀公19	文侯7[2]	襄子23	康子
435			考王11	+敬哀公20	文侯8[3]	襄子24	康子
434	索隱解釋 兩年, 敬公21 幽公1	晉敬哀公卒←417*407	考王12	+敬哀公21 */幽公1	文侯9[4]	襄子25	康子
433		楚世家惠王57卒	考王13	幽公2	文侯10[5]	襄子26	康子
432		魯世家悼公37卒, 衛世家昭公6所弒	考王14	幽公3	文侯11[6]	襄子27	康子
431		周本紀考王15(→479)崩	考王15*/ 威烈王1	幽公4	文侯12[7]	襄子28	康子
430		秦本紀躁公14卒(→436日食)	威烈王2	幽公5	文侯13[8]	襄子29	康子
429			威烈王3	幽公6	文侯14[9]	襄子30	康子
428			威烈王4	幽公7	文侯15[10]	襄子31	康子
427		秦本紀懷公4自殺	威烈王5	幽公8	文侯16[11]	襄子32	康子
426		趙世家襄子33卒桓子自立1卒迎立獻侯	威烈王6	幽公9	文侯17[12]	襄子33* / 桓子1* / 獻侯1*	康子
425			威烈王7	幽公10	文侯18[13]	獻侯2	康子
424			威烈王8	幽公11	文侯19[14]	獻侯3	康子
423		鄭世家共公31卒幽公1卒, 宋世家昭公47卒	威烈王9	幽公12	文侯20[15]	獻侯4	康子/武子1
422		秦本紀靈公6晉築小梁(魏世家文侯6<16を10年短縮>城小梁), 衛世家懷公11所弒	威烈王10	幽公13	文侯21[16*]	獻侯5	武子2
421			威烈王11	幽公14	文侯22[17]	獻侯6	武子3
420			威烈王12	幽公15	文侯23[18]	獻侯7	武子4
419			威烈王13	幽公16	文侯24[19]	獻侯8	武子5
418			威烈王14	幽公17	文侯25[20]	獻侯9	武子6
417	索隱解釋 兩年, 幽公18 烈公1	晉世家幽公18卒, 趙世家獻侯10中山武公初立	威烈王15	幽公18*/ 烈公1	文侯26[21]	獻侯10*	武子7

戰國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
共公11	宣公15*	莊子卒*/	昭公27	躁公1	+朱勾5	成公11	惠王47	悼公26	敬公13	
共公12	宣公16	+悼子1*	昭公28	躁公2	+朱勾6	成公12	惠王48	悼公27	敬公14	
共公13	宣公17	+悼子2	昭公29	躁公3	+朱勾7	成公13	惠王49	悼公28	敬公15	
共公14	宣公18	+悼子3	昭公30	躁公4	+朱勾8	成公14	惠王50	悼公29	敬公16	
共公15	宣公19	+悼子4	昭公31	躁公5	+朱勾9	成公15	惠王51	悼公30	敬公17	
共公16	宣公20	+悼子5	昭公32	躁公6	+朱勾10	成公16*/ 湣公<文公 >1	惠王52	悼公31	敬公18	
共公17	宣公21	+悼子6	昭公33	躁公7	+朱勾11	湣公2	惠王53	悼公32	敬公19* /昭公1	
共公18	宣公22	+悼子7	昭公34	躁公8*	+朱勾12	湣公3	惠王54	悼公33	昭公2	
共公19	宣公23	+悼子8	昭公35	躁公9	+朱勾13	湣公4	惠王55	悼公34	昭公3	
共公20	宣公24	+悼子9	昭公36	躁公10	+朱勾14	湣公5	惠王56	悼公35	昭公4	
共公21	宣公25	+悼子10	昭公37	躁公11	+朱勾15	湣公6	惠王57* /簡王1	悼公36	昭公5	
共公22	宣公26	+悼子11	昭公38	躁公12	+朱勾16	湣公7	簡王2	悼公37* /元公1	昭公6* /懷公1	
共公23	宣公27	+悼子12	昭公39	躁公13	+朱勾17	湣公8	簡王3	元公2	懷公2	
共公24	宣公28	+悼子13	昭公40	躁公14*/ 懷公1	+朱勾18	湣公9	簡王4	元公3	懷公3	
共公25	宣公29	+悼子14	昭公41	懷公2	+朱勾19	湣公10	簡王5	元公4	懷公4	
共公26	宣公30	+悼子15	昭公42	懷公3	+朱勾20	湣公11	簡王6	元公5	懷公5	
共公27	宣公31	+悼子16	昭公43	懷公4*/ 靈公1	+朱勾21	湣公12	簡王7	元公6	懷公6	
共公28	宣公32	+悼子17	昭公44	靈公2	+朱勾22	湣公13	簡王8	元公7	懷公7	
共公29	宣公33	+悼子18	昭公45	靈公3	+朱勾23	湣公14	簡王9	元公8	懷公8	
共公30	宣公34	+悼子19	昭公46	靈公4	+朱勾24	湣公15	簡王10	元公9	懷公9	
共公31* /幽公1* /繆公1	宣公35	+悼子20	昭公47* /悼公1	靈公5	+朱勾25	湣公16	簡王11	元公10	懷公10	
繆公2	宣公36	+悼子21	悼公2	靈公6	+朱勾26	湣公17	簡王12	元公11	懷公11* /愼公1	
繆公3	宣公37	+悼子22	悼公3	靈公7	+朱勾27	湣公18	簡王13	元公12	愼公2	
繆公4	宣公38	+悼子23	悼公4	靈公8	+朱勾28	湣公19	簡王14	元公13	愼公3	
繆公5	宣公39	+悼子24	悼公5	靈公9	+朱勾29	湣公20	簡王15	元公14	愼公4	
繆公6	宣公40	+悼子25	悼公6	靈公10	+朱勾30	湣公21	簡王16	元公15	愼公5	
繆公7	宣公41	+悼子26	悼公7	靈公11	+朱勾31	湣公22	簡王17	元公16	愼愼公6	+文公/ 武公1*

東洋文化研究所紀要 第123冊

西暦	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
416		始皇本紀索隱引秦本紀靈公12卒(現行本秦本紀13年城籀姑靈公卒)・燕世家索隱引竹書紀年文公24卒(踰年法解釋,434・417各兩年→438)	威烈王16	烈公2	文侯27[22]	獻侯11	武子8
415			威烈王17	烈公3	文侯28[23]	獻侯12	武子9
414		河水注等引竹書紀年晉烈公4趙城平邑(趙世家獻公13同)・越世家索隱引竹書紀年朱勾35滅郟(實際年次が34となるのは索隱踰年法解釋,434・417兩年→447,沂水注引竹書紀年晉烈公4同)。	威烈王18	烈公4*	文侯29[24]	獻侯13*	武子10
413			威烈王19	烈公5	文侯30[25]	獻侯14	武子11
412		六國秦表簡公5日食〔西曆前412.8.3〕・魯世家元公21卒・越世家索隱引竹書紀年朱勾37(踰年法解釋,434・417各兩年→447・414)卒・越世家王翁卒王翁立	威烈王20	烈公6	文侯31[26]	獻侯15	武子12
411			威烈王21	烈公7	文侯32[27]	+ 獻侯16	武子13
410		楚世家簡王24卒	威烈王22	烈公8	文侯33[28]	+ 獻侯17	武子14
409			威烈王23	烈公9	文侯34[29]	+ 獻侯18	武子15
408		周本紀威烈王24(→479)崩・趙世家烈侯1魏文侯伐中山使太子擊守之趙獻侯卒-395・韓世家武子16卒	威烈王24* /安王1	烈公10	文侯35[30]	+ 獻侯19 * / 烈侯1*	武子16* / 景侯1
407		瓠水注引竹書紀年晉烈公11田悼子卒・田世家索隱引竹書紀年宣公51公孫會叛(瓠水注引晉烈公11同)・田世家索隱引竹書紀年宣公51年12月薨・秦本紀索隱引竹書紀年簡公9(踰年法解釋→415)卒	安王2	烈公11*	文侯36[31]	烈侯2	景侯2
406		晉康公→407・宋世家索隱引竹書紀年悼公18卒(踰年法解釋,417索隱解釋兩年)	安王3	烈公12	文侯37[32]	烈侯3	景侯3
405		楚世家聲王6卒	安王4	烈公13	文侯38[33]	烈侯4	景侯4
404			安王5	烈公14	+ 文侯39[34]	烈侯5	景侯5
403		燕世家索隱引竹書紀年簡公13(踰年法解釋→416)而三晉命邑爲諸侯	安王6	烈公15	+ 文侯40[35]	烈侯6*	景侯6
402			安王7	烈公16	+ 文侯41[36]	烈侯7	景侯7
401		趙世家烈侯6同内容	安王8	烈公17	+ 文侯42[37]	烈侯8	景侯8
400		韓世家景侯9卒	安王9	烈公18	+ 文侯43[38]	烈侯9	景侯9*
399			安王10	烈公19	+ 文侯44[39]	烈侯10	烈侯2
398			安王11	烈公20	+ 文侯45[40]	烈侯11	烈侯3
397		鄭世家繻公27卒	安王12	烈公21	+ 文侯46[41]	烈侯12	烈侯4
396			安王13	烈公22	+ 文侯47[42]	烈侯13	烈侯5
395	索隱解釋 兩年 烈公23 武侯1	魏世家索隱引竹書紀年文侯50(踰年法解釋,434・417各兩年→442)卒(魏世家文侯38卒<10年短縮→48>)・魏世家索隱引竹書紀年武侯1當趙烈侯14<踰年法解釋,395兩年→408>・趙世家敬侯1魏文侯卒)・秦本紀索隱引竹書紀年簡公卒次敬公立12(踰年法解釋→407)卒惠公立・趙世家烈侯卒・武公13卒・敬侯1武公子朝作亂は武公卒(→408)13武公子朝作亂の誤であろう	安王14	烈公23	+ 文侯48* [43] / 武侯1	烈侯14* / 敬侯1*	烈侯6
394			安王15	烈公24	武侯2	敬侯2	烈侯7
393		六國秦表惠公3日食→336	安王16	烈公25	武侯3	敬侯3	烈侯8

戰國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
繻公8	宣公42	+悼子27	悼公8	靈公12 * / 簡公1	+朱勾32	湣公23 * / 簡釐公1	簡王18	元公17	愼公7	+武公2
繻公9	宣公43	+悼子28	悼公9	簡公2	+朱勾33	簡釐公2	簡王19	元公18	愼愼愼公	+武公3
繻公10	宣公44	+悼子29	悼公10	簡公3	+朱勾34 *	簡釐公3	簡王20	元公19	愼公9	+武公4
繻公11	宣公45	+悼子30	悼公11	簡公4	+朱勾35	簡釐公4	簡王21	元公20	愼公10	+武公5
繻公12	宣公46	+悼子31	悼公12	簡公5 *	+朱勾36 * /驛1	簡釐公5	簡王22	元公21 * /穆公1	愼公11	+武公6
繻公13	宣公47	+悼子32	悼公13	簡公6	+驛2	簡釐公6	簡王23	穆公2	愼公12	+武公7
繻公14	宣公48	+悼子33	悼公14	簡公7	+驛3	簡釐公7	簡王24 * /聲王1	穆公3	愼公13	+武公8
繻公15	宣公49	+悼子34	悼公15	簡公8	+驛4	簡釐公8	聲王2	穆公4	愼公14	+武公9
繻公16	宣公50	+悼子35	悼公16	簡公9	+驛5	簡釐公9	聲王3	穆公5	愼公15	+武公10 魏伐之太子擊守之
繻公17	宣公51 * /康公1 *	+悼子36 * /田侯和1	悼公17	簡公10 * / +敬公1	+驛6	簡釐公10	聲王4	穆公6	愼愼公16	
繻公18	康公2	田侯和2	悼公18 * /休公1	+敬公2	+驛7	簡釐公11	聲王5	穆公7	愼公17	
繻公19	康公3	+田侯和3	休公2	+敬公3	+驛8	簡釐公12	聲王6 * /悼王1	穆公8	愼公18	
繻公20	康公4	+田侯和4	休公3	+敬公4	+驛9	簡釐公13	悼王2	穆公9	愼公19	
繻公21	康公5	+田侯和5	休公4	+敬公5	+驛10	簡釐公14	悼王3	穆公10	愼公20	
繻公22	康公6	+田侯和6	休公5	+敬公6	+驛11	簡釐公15	悼王4	穆公11	愼公21	
繻公23	康公7	+田侯和7	休公6	+敬公7	+驛12	簡釐公16	悼王5	穆公12	愼公22	
繻公24	康公8	+田侯和8	休公7	+敬公8	+驛13	簡釐公17	悼王6	穆公13	愼公23	
繻公25	康公9	+田侯和9	休公8	+敬公9	+驛14	簡釐公18	悼王7	穆公14	愼公24	
繻公26	康公10	+田侯和10	休公9	+敬公10	+驛15	簡釐公19	悼王8	穆公15	愼公25	
繻公27 * /君乙1	康公11	+田侯和11	休公10	+敬公11	+驛16	簡釐公20	悼王9	穆公16	愼公26	
君乙2	康公12	+田侯和12	休公11	+敬公12	+驛17	簡釐公21	悼王10	穆公17	愼公27	
君乙3 / 君陽1	康公13	+田侯和13	休公12	+敬公13 * /惠公1	+驛18	簡釐公22	悼王11	穆公18	愼公28	武公卒13 子朝作亂 (桓公復 國この頃) *
君陽2	康公14	+田侯和14	休公13	惠公2	+驛19	簡釐公23	悼王12	穆公19	愼公29	
君陽3	康公15	+田侯和15	休公14	惠公3	+驛20	簡釐公24	悼王13	穆公20	愼公30	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
392			安王17	烈公26	武侯4	敬侯4	烈侯9
391			安王18	烈公27	武侯5	敬侯5	烈侯10
390			安王19	+烈公28	武侯6	敬侯6	烈侯11
389		晉烈公卒←370,晉世家索隱引竹書紀年以孝公爲桓公田世家康公19田和立爲齊侯	安王20	+烈公29* 孝桓公1	武侯7	敬侯7	烈侯12
388		韓世家烈侯13卒.	安王21	孝桓公2	武侯8	敬侯8	烈侯13* 文侯1
387			安王22	孝桓公3	武侯9	敬侯9	文侯2
386		田世家索隱引竹書紀年齊康公22(踰年法解釋,395兩年→407宣公卒)田侯刻立(田世家齊侯太公和立2和卒),趙世家敬侯10興中山戰于房子,趙世家索隱等引世本中山武侯居顯桓公從靈壽	安王23	孝桓公4	武侯10	敬侯10*	文侯3
385		秦本紀惠公13卒(敬公13卒を誤入か).楚世家悼王21卒	安王24	孝桓公5	武侯11	敬侯11	文侯4
384		宋世家休公23卒	安王25	孝桓公6	武侯12	敬侯12	文侯5
383		周本紀安王26[→479]崩,趙世家武侯13晉獻公縣櫟陽(秦本紀獻公2城櫟陽)	安王26* 烈王1	孝桓公7	武侯13*	+敬侯13	文侯6
382		宋世家辟公3卒	烈王2	孝桓公8	武侯14	+敬侯14	文侯7
381		衛世家慎公42卒	烈王3	孝桓公9	武侯15	+敬侯15	文侯8
380		魯世家穆公33卒	烈王4	孝桓公10	武侯16	+敬侯16	文侯9
379		韓世家文侯10卒	烈王5	孝桓公11	+武侯17	+敬侯17	文侯10* 哀侯1
378			烈王6	孝桓公12	+武侯18	+敬侯18	哀侯2
377		越世家索隱引竹書紀年駢36(踰年法解釋,395兩年→412)太子諸咎弑君其君駢10月殺諸咎立錯枝	烈王7	孝桓公13	+武侯19	+敬侯19	哀侯3
376		田世家索隱引竹書紀年(385の)後10年齊田午弑其君及孺子喜而爲公(索隱引春秋後傳田午弑田侯及其孺子喜而兼齊是爲齊侯),越世家索隱引竹書紀年立錯枝爲君明年(→377)立無余之,(越絶書外傳記地傳句踐之子<子孫>與夷時霸與夷子子翁時霸(吳越春秋興夷即位一年卒→364・356)	烈王8	孝桓公14	+武侯20	+敬侯20	哀侯4
375		韓世家索隱引竹書紀年魏武侯21韓滅鄭(鄭世家君乙<陽の誤か,鄭君陽と鄭君乙は兩者だろう,參見徐廣注>21同,韓世家哀侯2<5の誤,二と五の字形>同),楚世家肅王11卒	烈王9	孝桓公15	+武侯21*	+敬侯21	哀侯5*
374		周本紀烈王10(→479)崩,晉世家索隱引竹書紀年韓哀公侯趙敬公並桓公15(踰年法解釋→389)卒(韓世家索隱引竹書紀年魏武侯22晉桓公邑哀侯于鄭韓山堅賊其君哀侯而立韓若山(韓世家哀侯6卒懿侯立,六國韓莊侯立<しかし共懿侯と別人>,韓山堅が莊侯,韓若山が共懿侯と見なしておく),趙世家敬侯12<10年短縮→22>卒)	烈王10* 顯王1	孝桓公16*	+武侯22*	+敬侯* 成侯1	哀侯6* 莊侯1* 共懿侯1*
373			顯王2	孝桓公17	+武侯23	成侯2	共懿侯2

戦國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中山
君陽4	康公16	+田侯和16	休公15	惠公4	+翳21	簡釐公25	悼王14	穆公21	愼公31	
君陽5	康公17	+田侯和17	休公16	惠公5	+翳22	簡釐公26	悼王15	穆公22	愼公32	
君陽6	康公18	+田侯和18	休公17	惠公6	+翳23	簡釐公27	悼王16	穆公23	愼公33	
君陽7	康公19 *	+田侯和19 * 稱侯	休公18	惠公7	+翳24	簡釐公28	悼王17	穆公24	愼公34	
君陽8	康公20	+田侯和20	休公19	惠公8	+翳25	簡釐公29	悼王18	穆公25	愼公35	
君陽9	康公21	+田侯和21	休公20	惠公9	+翳26	簡釐公30	悼王19	穆公26	愼公36	
君陽10	康公22 *	+田侯和22 * / +田侯 刻1 *	休公21	惠公10	+翳27	+簡釐公31	悼王20	穆公27	愼公37	桓公 * すでに復國
君陽11	康公23	+田侯刻2	休公22	惠公11 / 出子1	+翳28	+簡釐公32	悼王21 * / 肅王1	穆公28	愼公38	
君陽12	康公24	+田侯刻3	休公23 * / 辟公1	出子2 / 獻公1	+翳29	+簡釐公33	肅王2	穆公29	愼公39	
君陽13	康公25	+田侯刻4	辟公2	獻公2 *	+翳30	+簡釐公34	肅王3	穆公30	愼公40	
君陽14	康公26	+田侯刻5	辟公3 * / 剔成1	獻公3	+翳31	+簡釐公35	肅王4	穆公31	愼公41	
君陽15	康公27	+田侯刻6	辟公→剔成2	獻公4	+翳32	+簡釐公36	肅王5	穆公32	愼公42 * / 聲公1	
君陽16	+康公28	+田侯刻7	辟公→剔成3	獻公5	+翳33	+簡釐公37	肅王6	穆公33 * / 共公1	聲公2	
君陽17	+康公29	+田侯刻8	辟公→剔成4	獻公6	+翳34	+簡釐公38	肅王7	共公2	聲公3	
君陽18	+康公30	+田侯刻9	辟公→剔成5	獻公7	+翳35	+簡釐公39	肅王8	共公3	聲公4	
君陽19	+康公31	+田侯刻10	辟公→剔成6	獻公8	+翳36 * / + 諸咎 1 * / + 孚錯枝1	+簡釐公40	肅王9	共公4	聲公5	
君陽20	+康公32	+田侯刻11 * / 桓侯(公)1 *	辟公→剔成7	獻公9	+無余之1 (莽女・子翁*)	+簡釐公41	肅王10	共公5	聲公6	
君陽21 * / 韓滅之	+康公33	桓侯2	辟公→剔成8	獻公10	+無余之2	+簡釐公42	肅王11 * / 宣王1	共公6	聲公7	
	+康公34	桓侯3	辟公→剔成9	獻公11	+無余之3	+簡釐公43	宣王2	共公7	聲公8	
	+康公35	桓侯4	辟公→剔成10	獻公12	+無余之4	+簡釐公44	宣王3	共公8	聲公9	

こ  
の  
頃  
桓  
公

東洋文化研究所紀要 第123冊

西暦	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
372		趙世家成侯3伐衛取鄆邑七十三(翌371田世家桓公6救衛はこれに對應するものであろう)燕世家索隱引竹書紀年簡公45(踰年法解釋→395は兩年)	顯王3	+孝桓公18	+武侯24	成侯3*	共懿侯3
371		衛世家聲公11卒.田齊→372	顯王4	+孝桓公19	+武侯25	成侯4	共懿侯4
370	武侯26	魏世家索隱引竹書紀年武侯26卒(魏世家武侯16卒<10年短縮→26>、晉世家索隱引竹書紀年魏武侯以桓公19<踰年法解釋→389>卒)、魏世家惠王立韓懿侯與趙成侯伐魏	顯王5	+孝桓公20*	+武侯26*/ 惠成王1 未称王	成侯*5	共懿侯*5
369	惠成王1	晉世家索隱引竹書紀年孝公20(踰年法解釋→389.澗水注引同魏惠成王1同)韓共侯趙成侯遷桓公於屯留.沁水注引竹書紀年梁惠成王1趙成侯韓懿侯若伐我莒	顯王6	+孝桓公21* *在屯留	惠成王2[1*]	成侯*6	共懿侯*6
368			顯王7	+孝桓公22	惠成王3[2]	成侯7	共懿侯7
367			顯王8	+孝桓公23	惠成王4[3]	成侯8	共懿侯8
366			顯王9	+孝桓公24	惠成王5[4]	成侯9	共懿侯9
365			顯王10	+孝桓公25	惠成王6[5]	成侯10	共懿侯10
364		秦本紀獻公21與晉戰石門(趙世家成侯11秦攻魏救之石阿).趙世家索隱引竹書紀年無余之12(踰年法解釋→376)弟忠弒其君奔安(=無余之)次無顛立.越絕書外傳記地傳子翁子不陽時霸(→376・356)	顯王11	+孝桓公26	惠成王7[6]	成侯11*	共懿侯11
363		《金文》陳侯午敦住十又四年(田侯はすでに諸侯.假に康公26卒とし次代齊公14のこととしても桓侯8で田世家未收年次).韓世家懿侯12卒	顯王12	+孝桓公27	惠成王8[7]	成侯12	共懿侯12* /昭釐侯1
362		秦本紀獻公23伐魏虜其將公孫穰(趙世家成侯13同.魏世家惠成王9同).太平御覽163州郡部引竹書紀年梁惠成王9晉取泓氏(晉の存在→374)	顯王13	+孝桓公28*	惠成王9*[8]	成侯13*	昭釐侯2
361		秦本紀獻公24卒.澗水注引竹書紀年梁惠成王9王會鄭釐侯于巫沙.衛世家成侯11公孫缺入秦(商君列傳公叔穰既死聞秦孝公賢西入秦.秦本紀獻公23<前年>虜其將公叔穰)	顯王14	+孝桓公29	惠成王10[9*]	成侯14	昭釐侯*3
360		燕世家桓公11(13の誤りであろう→332)卒	顯王15	+孝桓公30	惠成王11[10]	成侯15	昭釐侯4
359		趙世家成侯16與韓魏分晉封晉君以端氏.魯世家共公22卒	顯王16	+孝桓公31* *在端氏	惠成王12[11]	成侯16*	昭釐侯5
358		田世家索隱引竹書紀年惠王13(點校本12)黨齊桓公18(踰年法解釋→376)	顯王17	+孝桓公32	惠成王13[12]*	成侯17	昭釐侯6
357		田世家索隱引竹書紀年始威王見(355年のことであろう)則桓公19年(踰年法解釋→376)而卒	顯王18	+孝桓公33	惠成王14[13*]	成侯18	昭釐侯7



戦國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
	+康公36	桓侯5	辟公→剔成11	獻公13	+無余之5	簡懿公45 * 孝桓公1	宣王4	共公9	聲公10	こ の 頃 桓 公
	+康公37	桓侯6 *	辟公→剔成12	獻公14	+無余之6	孝桓公2	宣王5	共公10	聲公11 * 成公1	
	+康公38	+桓侯7	辟公→剔成13	獻公15	+無余之7	孝桓公3	宣王6	共公11	成公2	
	+康公39	+桓侯8	剔成14	獻公16	+無余之8	孝桓公4	宣王7	共公12	成公3	
	+康公40	+桓侯9	剔成15	獻公17	+無余之9	孝桓公5	宣王8	共公13	成公4	
	+康公41	+桓侯10	剔成16	獻公18	+無余之10	孝桓公6	宣王9	共公14	成公5	
	+康公42	+桓侯11	剔成17	獻公19	+無余之11	孝桓公7	宣王10	共公15	成公6	
	+康公43	+桓侯12	剔成18	獻公20	+無余之12	孝桓公8	宣王11	共公16	成公7	
	+康公44	+桓侯13	剔成19	獻公21 *	+無余之13 */+無顧 (不揚*)1	孝桓公9	宣王12	共公17	成公8	
	+康公45	+桓侯14 *	剔成20	獻公22	+無顧2	孝桓公10	宣王13	共公18	成公9	
	+康公46	+桓侯15	剔成21	獻公23 *	+無顧3	孝桓公11	宣王14	共公19	成公10	
	+康公47	+桓侯16	剔成22	孝公1 * 獻公24 * /	+無顧4	+孝桓公12	宣王15	共公20	成公11 *	
	+康公48	+桓侯17	剔成23	孝公2	+無顧5	+孝桓公13 */文公1	宣王16	共公21	成公12	
	+康公49	+桓侯18	剔成24	孝公3	+無顧6	文公2	宣王17	共(恭)公 22 * / 康 公1	成公13	
	+康公50	+桓侯19 *	剔成25	孝公4	+無顧7	文公3	宣王18	康公2	成公14	
	+康公51	+桓侯20 *	剔成26	孝公5	+無顧8	文公4	宣王19	康公3	成公15	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
356		《金文》陳侯因竹敦正六月癸未20.魏世家惠成王15魯衛宋鄭君來朝(魏世家索隱引竹書紀年惠成王14魯恭侯宋桓侯衛成侯鄭釐侯<昭釐侯>來朝).田成家索隱引竹書紀年**則桓公19年(陰年法解釋→375,實は20)而卒.田世家威王因齊立是歲故齊康公卒.越世家索隱引竹書紀年無頤8(陰年解釋→364)薨.越絕書外傳記地傳不揚子無疆時霸(→376・364)	顯王19	+孝桓公34	惠成王15* [14*]	成侯19	昭釐侯8*
355			顯王20	+孝桓公35	惠成王16[15]	成侯20	昭釐侯9
354		魏世家惠成王17鄆邯鄲(趙世家成侯21同).韓世家昭侯10韓姬弒其君悼公(韓が擁立した晉公か→359)	顯王21	+孝桓公36 悼公*/	惠成王17*[16]	成侯21*	昭釐侯10*
353		魏世家惠成王18拔邯鄲(趙世家成侯22同).渠水注引竹書紀年梁惠成王17鄭釐侯來朝.孫子列傳索隱等引竹書紀年惠成王17齊田忌敗梁於桂陵(趙世家成侯22齊敗魏於桂陵.魏世家惠成王18同)	顯王22	+孝桓公37	惠成王18* [17*]	成侯22*	昭釐侯* 11
352		孫子列傳引竹書紀年梁惠成王18以韓師敗諸侯師于襄陵(魏世家惠王19諸侯圍我襄陵)	顯王23	+孝桓公38	惠成王19* [18*]	成侯23	昭釐侯12
351		晉世家孝公17卒(孝桓公は21年以上→369,靜公2年卒の解釋→350).魯世家康公9卒	顯王24	+孝桓公39* /靜公1	惠成王20[19]	成侯24	昭釐侯13
350		趙世家肅侯1奪晉君端氏徙屯留(→359.靜公2徙屯留と見なしておく<晉世家靜公2絶不祀が六國魏表晉紀年の基準だろう>.魏がこの時新晉君を擁立<→354韓>したとすると稱王時點で17年<晉世家が孝公卒年とするもの>となる.354所弒の悼公が桓公<悼桓公>とすると,孝公を別に當てねばならない.これが魏擁立の晉君の可能性も出る.その際靜公は本年5年となる<二と五の字形>).趙世家成侯25卒	顯王25	靜公2* 在屯留	惠成王21[20]	成侯25* /肅侯1	昭釐侯14
349			顯王26	+靜公3	惠成王22[21]	肅侯2	昭釐侯15*
348			顯王27	+靜公4	惠成王23[22]	肅侯3	昭釐侯16
347			顯王28	+靜公5	惠成王24[23]	肅侯4	昭釐侯17
346		楚世家宣王30卒.越世家索隱引竹書紀年無頤薨後10楚伐徐州(越世家楚威王伐齊大敗越王無疆の威王が合致.田世家宣王<威王の誤>10楚圍我徐州).越絶書外傳記地傳無疆之子之侯竊自立君長之侯子尊時君長尊子親失衆楚伐之走南山	顯王29	+靜公6	惠成王25[24]	肅侯5	昭釐侯18
345			顯王30	+靜公7	惠成王26[25]	肅侯6	昭釐侯19
344		《金文》商鞅量18年**冬12月乙酉22(觀象授時曆か)	顯王31	+靜公8	惠成王27[26]	肅侯7	昭釐侯20

戦國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中山
	+康公 52 * / +幽公1	+桓侯(公) 21 * / 田侯因齊1 *	剔成27 * (桓侯)	孝公6	+無疆9 * /無疆1	文公5	宣王20	康公4	成公16	この頃桓公
	+幽公2	田侯因齊2 [威王1]	剔成28	孝公7	+無疆2	文公6	宣王21	康公5	成公17	
	+幽公3	田侯因齊3 [威王2]	剔成29	孝公8	+無疆3	文公7	宣王22	康公6	成公18	
	+幽公4	田侯因齊4 [威王3]	剔成30	孝公9	+無疆4	文公8	宣王23	康公7	成公19	
	+幽公5	田侯因齊5 [威王4]	剔成31	孝公10	+無疆5	文公9	宣王24	康公8	成公20	
	+幽公6	田侯因齊6 [威王5]	剔成32	孝公11	+無疆6	文公10	宣王25	康公9 * /景公1	成公21	
	+幽公7	田侯因齊7 [威王6]	剔成33	孝公12	+無疆7	文公11	宣王26	景公2	成公22	
	+幽公8	田侯因齊8 [威王7]	剔成34	孝公13	+無疆8	文公12	宣王27	景公3	成公23	
	+幽公9	田侯因齊9 [威王8]	剔成35	孝公14	+無疆9	文公13	宣王28	景公4	成公24	
	+幽公10	田侯因齊10 [威王9]	剔成36	孝公15	+無疆10	文公14	宣王29	景公5	成公25	
	+幽公11	田侯因齊11 [威王10 *]	剔成37	孝公16	+無疆11 * +之侯1 * 楚伐徐州 *	文公15	宣王30 * / 威王1 *	景公6	成公26	
	+幽公12	田侯因齊12 [威王11]	剔成38	孝公17		文公16	威王2	景公7	成公27	
	+幽公13	田侯因齊13 [威王12]	剔成39	孝公18 *		文公17	威王3	景公8	成公28	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
343		孫子列傳索隱引竹書紀年惠成王27年12月齊田盼敗梁於馬陵(魏世家・孟嘗君列傳索隱引惠成王28は翌年に續くと誤解か或いは紀年と世家の1年ぶつづれを勘案,田世家索隱引齊威王14<→356の誤解>同,齊威王が稱王前であることは齊策一南梁之難に齊因起兵擊魏大破之馬韓魏之君因田嬰北面而朝“田侯”が示す),衛世家成公29卒	顯王32	+ 靜公9	惠成王28 [27*]	肅侯8	昭釐侯21
342		宋世家別成(索隱引竹書紀年作桓侯)41卒	顯王33	+ 靜公10	惠成王29 [28]	肅侯9	昭釐侯22
341		秦→343,魏世家索隱引竹書紀年梁惠成王29年五月齊田盼伐我東鄆(史記はこれを343馬陵之戰と混同<秦本紀孝公21齊救魏馬陵>)	顯王34	+ 靜公11	惠成王30 [29*]	肅侯10	昭釐侯23
340		趙世家肅侯11秦伐魏虜公子卬(魏世家惠成王31同),濁漳水注引竹書紀年梁惠成王30秦封衛鞅于鄆改名曰商(秦本紀孝公22同内容)	顯王35	+ 靜公12	惠成王31 * [30*]	肅侯11 *	昭釐侯24
339		田侯因齊18(この年次まで存在→田世家桓公6卒と誤解<十八と六の字形→356>)	顯王36	+ 靜公13	惠成王32 [31]	肅侯12	昭釐侯25
338		魏世家索隱引竹書紀年齊幽公18年(險年法解釋→356)而威王立(稱王のはず,前年までは齊侯因齊,田世家索隱引竹書紀年に343を威王14とするので齊幽公と田侯因齊は別人,田世家に康公卒の事として呂氏遂絶其祀田氏卒有齊國爲齊威王というのを參照<康公は幽公を誤ったもの>),秦本紀孝公24卒	顯王37	+ 靜公14	惠成王33 [32]	肅侯13	昭釐侯26
337			顯王38	+ 靜公15	惠成王34 [33]	肅侯14	+ 昭釐侯27
336		六國秦表惠公3日食(393惠公3についての注記とするのは誤,實は惠文君,西曆前336.7.28),楚世家威王11卒,衛世家平侯8卒	顯王39	+ 靜公16	惠成王35 [34]	肅侯15	+ 昭釐侯28
335			顯王40	+ 靜公17	惠成王36 [35]	肅侯16	+ 昭釐侯29
334		春秋經傳集解後序等引竹書紀年惠成王36改元稱1年(この時稱王,秦本紀惠文君4齊魏爲王<齊は誤>),晉公→350	顯王41	+ 靜公18	惠成王37 [36*] 魏稱王(晉公17?)	肅侯17	+ 昭釐侯30
333		韓世家索隱引竹書紀年鄭昭侯武薨次威侯立(→326)	顯王42	+ 靜公19	惠成王後元2	肅侯18	+ 昭釐侯31* / 威侯1*
332		燕世家文公29卒	顯王43	+ 靜公20	惠成王後元3	肅侯19	威侯2 [1]
331			顯王44	+ 靜公21	惠成王後元4	肅侯20	威侯3 [2]
330		秦本紀惠文君8魏納河西地(魏世家襄王<惠成王後元の誤>5予秦河西之地)	顯王45	+ 靜公22	惠成王後元5	肅侯21	威侯4 [3]
329			顯王46	+ 靜公23	惠成王後元6	肅侯22	威侯5 [4]
328		趙世家肅侯23韓舉與齊魏戰死于桑丘(田世家宣王<威王後元を誤る>11與魏伐趙趙決河水灌齊魏兵罷)	顯王47	+ 靜公24	惠成王後元7	肅侯23 *	威侯6 [5]

戦國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中山
	+幽公14	田侯因齊14 * [威王13]	剔成40	孝公19		文公18	威王4	景公9	成公29 * /平侯1	
	+幽公15	田侯因齊15 [威王14]	剔成41 * /公偃1	孝公20		文公19	威王5	景公10	平侯2	
	+幽公16	田侯因齊16 [威王15]	公偃2	孝公21 *		文公20	威王6	景公11	平侯3	
	+幽公17	田侯因齊17 [威王16]	公偃3	孝公22 *		文公21	威王7	景公12	平侯4	
	+幽公18	田侯因齊18 * [威王17]	公偃4	孝公23		文公22	威王8	景公13	平侯5	
	+幽公19 *	威王[18] 稱王後元1	公偃5	孝公24 * / 惠文君1 未稱王 (惠公)	こ の 頃 之 侯	文公23	威王9	景公14	平侯6	こ の 頃 成 公
		威王[19] 後元2	公偃6	惠文君2[1]		文公24	威王10	景公15	平侯7	
		威王[20] 後元3	公偃7	惠文君3 * [2]		文公25	威王11 * /懷王1	景公16	平侯8 * /孝襄侯 (嗣君)1	
		威王[21] 後元4	公偃8	惠文君4[3]		文公26	懷王2	景公17	孝襄侯2	
		威王[22] 後元5	公偃9	惠文君5[4 *]		文公27	懷王3	景公18	孝襄侯3	
		威王[23] 後元6	公偃10	惠文君6[5]		文公28	懷王4	景公19	孝襄侯4	
		威王[24] 後元7	公偃11	惠文君7[6]		文公29 * / 易王1 未稱王	懷王5	景公20	孝襄侯5	
		威王[25] 後元8	+公偃12	惠文君8[7]		易王2[1]	懷王6	景公21	孝襄侯6	
		威王[26] 後元9	+公偃13	惠文君9[8 *]		易王3[2]	懷王7	景公22	孝襄侯7	
		威王[27] 後元10	+公偃14	惠文君10[9 ]		易王4[3]	懷王8	景公23	孝襄侯8	
		威王[28] 後元11 *	+公偃15	惠文君11 [10]		易王5[4]	懷王9	景公24	孝襄侯9	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
327		周本紀顯王48(→479)崩	顯王48* / 慎靚王1	+ 靜公25	惠成王後元8	肅侯24	威侯7[6]
326		韓世家索隱引竹書紀年威侯7年(隴年法解釋→333)5月梁惠王會威侯10月鄭宣王朝梁(後元を建てず稱王を1年に遡ったか、秦本紀惠文君13韓爲王は顯項曆翌年頭、韓世家宣惠王11君號爲王は7の誤<十一と七の字形>)	慎靚王2	+ 靜公26 韓稱王	惠成王後元9	+ 肅侯25	威侯8[7] 10月稱王 宣惠王7*
325		秦本紀惠文君13年4月戊午(西曆前325.5.8,前年は不合),又→326	慎靚王3	+ 靜公27 趙武靈王立	惠成王後元10	+ 肅侯26	宣惠王8
324		秦世家惠文王1(前年稱王とするのは漢の明年改元による誤解,秦國隴年稱元の最初顯項曆10月). 趙武靈王1(趙國隴年稱元の最初夏正月)	慎靚王4	+ 靜公28 趙稱王	惠成王後元11	武靈王1	宣惠王9
323		魯世家景公29卒,魏世家襄王<惠成王後元を誤る>12楚敗我襄陵(包山楚簡敗晉師於襄陵之歲は翌年322,楚建亥曆翌年頭3ヶ月,魏曆夏正では本年末3ヶ月)中山策中山興燕趙爲王,同策犀首立五王而中山後持	慎靚王5		惠成王後元12*	武靈王2	宣惠王10
322		周本紀慎靚王6(→479)崩,楚→323,宋世家君偃11(21の誤)自立爲王	慎靚王6* / 王赧1		惠成王後元13*	武靈王3	宣惠王11
321			王赧2		惠成王後元14	武靈王4	宣惠王12
320		孟嘗君列傳索隱引竹書紀年後元15齊威王薨(田世家威王36年卒,同宣王19卒は威王後元19を誤る→328参照),燕世家易王立12卒	王赧3		惠成王後元15*	武靈王5	宣惠王13
319		魏世家集解等引竹書紀年惠成王後元16卒(魏世家襄王<後元を誤解>16卒)	王赧4		惠成王後元16* /	武靈王6	宣惠王14
318		秦本紀惠文王7韓趙魏燕齊帥匈奴共攻秦(317關聯,317では楚が加入し齊がない)	王赧5		襄哀王1	武靈王7	宣惠王15
317		趙世家武靈王8韓擊秦不勝而去(燕策一燕王噲既立燕噲3與楚三晉攻秦不勝而還)	王赧6		襄哀王2	武靈王8*	宣惠王16
316			王赧7		襄哀王3	武靈王9	宣惠王17
315		趙世家武靈王10齊破燕燕相子之爲君君反爲臣(燕策一燕王噲既立子之3燕國大亂,將軍市被太子平謀,燕王噲死齊大勝燕子之亡<314>2年<313>立公子平是爲燕昭王). 中山王罍墓方鼎等子之事件に編及	王赧8		襄哀王4	武靈王10*	宣惠王18
314		趙世家武靈王11召公子職於韓立以爲燕王使樂池送之,燕→315	王赧9		襄哀王5	武靈王11*	宣惠王19
313		燕→315	王赧10		襄哀王6	武靈王12	宣惠王20
312		韓世家集解引竹書紀年楚景翠圍雍氏韓宣王卒秦助韓共敗楚屈丐又曰齊宋圍煮棗(秦本紀惠文王後元13楚圍雍氏,韓世家宣惠王21與秦攻楚敗楚將屈丐是歲宣惠王卒),魯→311	王赧11		襄哀王7	武靈王13	宣惠王21* /
311		秦本紀惠王14卒(魯世家平公12同は前年末,秦顯項曆では本年頭,楚世家懷王26秦惠王死武王立)	王赧12		襄哀王8	武靈王14	襄王1
310			王赧13		襄哀王9	武靈王15	襄王2
309			王赧14		襄哀王10	武靈王16	襄王3

戦國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
		威王[29] 後元12	+公偃16	惠文君12[11]		易王6[5]	懷王10	景公25	孝襄侯10	
		威王[30] 後元13	+公偃17	惠文君13[12]		易王7[6]	懷王11	景公26	孝襄侯11	
		威王[31] 後元14	+公偃18	惠文君14[13*]		易王8[7]	懷王12	景公27	孝襄侯12	
		威王[32] 後元15	+公偃19	惠文王稱王*後元1		易王9[8]	懷王13	景公28	孝襄侯13	
		威王[33] 後元16	+公偃20	惠文王後元2		易王10[9] 稱王9	懷王14	景公29* /平公1	孝襄侯14	この頃稱王*
		威王[34] 後元17	+公偃21 稱王康王21	惠文王後元3	こ の 頃 尊	易王[10]	懷王15*	平公2	孝襄侯15	
		威王[35] 後元18	康王22	惠文王後元4		易王[11]	懷王16	平公3	孝襄侯16	
		威王[36*] 後元19*/	康王23	惠文王後元5		易王[12]* /	懷王17	平公4	孝襄侯17	
		宣湣王1	康王24	惠文王後元6		王噲1	懷王18	平公5	孝襄侯18	
		宣湣王2	康王25	惠文王後元7		王噲2	懷王19	平公6	孝襄侯19	
		宣湣王3	康王26	惠文王後元8		王噲3	懷王20	平公7	孝襄侯20	
		宣湣王4	康王27	惠文王後元9		王噲4*子之2	懷王21	平公8	孝襄侯21	
		宣湣王5	康王28	惠文王後元10		王噲5* /子之3*(王1)	懷王22	平公9	孝襄侯22	王罍
		宣湣王6	康王29	惠文王後元11		子之4*(王2) /燕王職1*	懷王23	平公10	孝襄侯23	
		宣湣王7	康王30	惠文王後元12		燕王職2/ 昭王立*	懷王24	平公11	孝襄侯24	
		宣湣王8	康王31	惠文王後元13*		昭王1	懷王25	平公12*	孝襄侯25	
		宣湣王9	康王32	惠文王後元14* /武王立*		昭王2	懷王26*	平公13	孝襄侯26	
		宣湣王10	康王33	武王1		昭王3	懷王27	平公14	孝襄侯27	
		宣湣王11	康王34	武王2		昭王4	懷王28	平公15	孝襄侯28	

東洋文化研究所紀要 第123册

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
308			王赧15		襄哀王11	武靈王17	襄王4
307		汾水注引竹書紀年襄王12秦公孫愛帥伐我圍皮氏,秦武王4年8月死(趙世家武靈王18秦武王死)	王赧16		襄哀王12	武靈王18*	襄王5
306		汾水注引竹書紀年襄王13城皮氏(秦簡編年記昭王2<305顯項曆年頭>攻皮氏)	王赧17		襄哀王13*	武靈王19	襄王6
305		秦→306	王赧18		襄哀王14	武靈王20	襄王7
304			王赧19		襄哀王15	武靈王21	襄王8
303		魏世家哀王16秦拔我蒲反陽晉封陵(秦本紀昭襄王4取蒲反,秦簡編年記昭王4攻封陵)	王赧20		襄哀王16*	武靈王22	襄王9
302		魯世家平公22卒	王赧21		襄哀王17	武靈王23	襄王10
301		魏世家哀王18興秦伐楚(秦本紀昭襄王6庶長奭伐楚)	王赧22		襄哀王18*	武靈王24	襄王11
300			王赧23		襄哀王19	武靈王25	襄王12
299		秦→300,秦本紀昭襄王8殺楚唐昧(楚世家懷王28<10年短縮→38>同條),趙世家武靈王26攻中山擄地北至燕代(秦本紀昭襄王3趙破中山其君<中山王好盜毒作好盜亡死齊>)	王赧24		襄哀王20	武靈王26*	襄王13
298		秦本紀昭襄王9秦攻楚取八城(楚世家懷王29<10年短縮→39>秦大破楚),趙世家武靈王27年5月戊申(西曆前288.4.14<5月朔>,趙曆夏正,前年不合)立王子何以爲王(讓位改元,立年稱元)	王赧25		襄哀王21	武靈王27* / 惠文王1*	襄王14
297		秦本紀昭襄王10楚懷王入朝秦留之(楚世家懷王30<10年短縮→40>秦留懷王秦)	王赧26		襄哀王22	惠文王2	襄王15
296		魏世家哀王23卒,趙世家惠文王3滅中山遷其王(太平寰宇記卷61引史記作君尚)於膚施,韓世家襄王16卒,秦本紀昭襄王11楚懷王死(魯世家文公7楚懷王死於秦)	王赧27		襄哀王23* /	惠文王3*	襄王16* /
295		衛世家嗣君42卒	王赧28		昭王1	惠文王4	釐王1
294			王赧29		昭王2	惠文王5	釐王2
293		韓世家釐王3公孫喜率周魏攻秦(秦本紀昭襄王14攻韓魏於伊闕)	王赧30		昭王3	惠文王6	釐王3*
292			王赧31		昭王4	惠文王7	釐王4
291			王赧32		昭王5	惠文王8	釐王5
290			王赧33		昭王6	惠文王9	釐王6
289			王赧34		昭王7	惠文王10	釐王7
288			王赧35		昭王8	惠文王11	釐王8
287			王赧36		昭王9	惠文王12	釐王9
286		宋世家王偃47<57>的誤>所殺(魏世家昭王10宋王偃死我温)	王赧37		昭王10	惠文王13	釐王10
285			王赧38		昭王11	惠文王14	釐王11
284		秦本紀昭襄王王偃23與三晉燕伐齊破之(齊襄王立→280)	王赧39		昭王12	惠文王15	釐王12
283			王赧40		昭王13	惠文王16	釐王13



戦國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
		宣湣王12	康王35	武王3		昭王5	懷王29	平公16	孝襄侯29	
		宣湣王13	康王36	武王4 * /		昭王6	懷王30	平公17	孝襄侯30	
		宣湣王14	康王37	昭襄王1		昭王7	+ 懷王31	平公18	孝襄侯31	
		宣湣王15	康王38	昭襄王2 *		昭王8	+ 懷王32	平公19	孝襄侯32	
		宣湣王16	康王39	昭襄王3		昭王9	+ 懷王33	平公20	孝襄侯33	
		宣湣王17	康王40	昭襄王4 *		昭王10	+ 懷王34	平公21	孝襄侯34	
		宣湣王18	康王41	昭襄王5		昭王11	+ 懷王35	平公22 * / 文公1	孝襄侯35	
		宣湣王19	康王42	昭襄王6 *		昭王12	+ 懷王36	文公2	孝襄侯36	
		宣湣王20	康王43	昭襄王7		昭王13	+ 懷王37	文公3	孝襄侯37	
		宣湣王21	康王44	昭襄王8 *		昭王14	+ 懷王38	文公4	孝襄侯38	王紆盜 * 1 /
		宣湣王22	康王45	昭襄王9 *		昭王15	+ 懷王39	文公5	孝襄侯39	王尚1
		宣湣王23	康王46	昭襄王10 *		昭王16	+ 懷王40 *	文公6	孝襄侯40	王尚2
		宣湣王24	康王47	昭襄王11 *		昭王17	+ 懷王41 * / 頃襄王1	文公7 *	孝襄侯41	王尚3 * / 趙滅之
		宣湣王25	+ 康王48	昭襄王12		昭王18	頃襄王2	文公8	孝襄侯42 * / 懷君	
		宣湣王26	+ 康王49	昭襄王13		昭王19	頃襄王3	文公9	懷君2	
		宣湣王27	+ 康王50	昭襄王14 *		昭王20	頃襄王4	文公10	懷君3	
		宣湣王28	+ 康王51	昭襄王15		昭王21	頃襄王5	文公11	懷君4	
		宣湣王29	+ 康王52	昭襄王16		昭王22	頃襄王6	文公12	懷君5	
		宣湣王30	+ 康王53	昭襄王17		昭王23	頃襄王7	文公13	懷君6	
		宣湣王31	+ 康王54	昭襄王18		昭王24	頃襄王8	文公14	懷君7	
		宣湣王32	+ 康王55	昭襄王19		昭王25	頃襄王9	文公15	懷君8	
		宣湣王33	+ 康王56	昭襄王20		昭王26	頃襄王10	文公16	懷君9	
		宣緡王34	+ 康王57 * /	昭襄王21		昭王27	頃襄王11	文公17	懷君10	
		宣湣王35		昭襄王22		昭王28	頃襄王12	文公18	懷君11	
		宣湣王36		昭襄王23		昭王29	頃襄王13	文公19	懷君12	
		襄王立 *								
		襄王1(宣湣王37)		昭襄王24		昭王30	頃襄王14	文公20	懷君13	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
282			王赧41		昭王14	惠文王17	釐王14
281		魯世家文公23卒	王赧42		昭王15	惠文王18	釐王15
280		田世家襄王在莒5年・・入臨淄(宣湮王之死をここに確認すれば通年40,田世家湮王40卒,六國齊表はこの40を前284年のところに配列).魯世家文公23卒,燕世家昭王33卒(燕策一燕昭王死惠王立・・田單復齊)	王赧43		昭王16	惠文王19	釐王16
279		魯→278	王赧44		昭王17	惠文王20	釐王17
278		秦本紀昭襄王29白起取郢(魯世家頃公2同は前年末,秦頌項曆では本年頭),秦本紀昭襄王29周君來(周本紀王赧45周君之秦)	王赧45*		昭王18	惠文王21	釐王18
277		魏世家昭王19卒,秦策四頃襄王二十一年に滅宋記事<この年以後>	隱王赧46		昭王19*/	惠文王22	釐王19
276			隱王赧47		安釐王1	惠文王23	釐王20
275			隱王赧48		安釐王2	惠文王24	釐王21
274		趙世家惠文王25秦將白起破我華陽(秦本紀昭襄王33擊華陽破之)	隱王赧49		安釐王3	惠文王25*	釐王22
273		韓世家釐王23卒	隱王赧50		安釐王4	惠文王26	釐王23*/
272			隱王赧51		安釐王5	惠文王27	桓惠王1
271		趙世家惠文王28燕將成安君公孫操弑其君王(燕世家惠王7<9の誤,七と九の字形>卒)	隱王赧52		安釐王6	惠文王28*	桓惠王2
270		趙世家惠文王29秦韓相攻而圍閼與(秦本紀昭襄王38攻趙閼與は頌項曆翌年頭3ヶ月,趙曆夏正では本年末3ヶ月).秦簡編年記昭襄王37□冠剛(田世家襄王14秦擊我剛壽,秦本紀昭襄王36同は六國表における誤記か)	隱王赧53		安釐王7	惠文王29*	桓惠王3
269		→270	隱王赧54		安釐王8	惠文王30	桓惠王4
268		魏世家安釐王9秦拔我懷(秦簡編年記昭王39攻懷)	隱王赧55		安釐王9*	惠文王31	桓惠王5
267			隱王赧56		安釐王10	惠文王32	桓惠王6
266		魏世家安釐王11秦拔我鄆丘(秦本紀昭襄王41攻魏取刑丘懷<懷は268昭襄王39が混入→268>,秦簡編年記昭王41攻刑丘).趙世家惠文王33卒	隱王赧57		安釐王11*	惠文王33*/	桓惠王7
265		田世家襄王19卒,衛世家懷君31卒	隱王赧58		安釐王12	孝成王1	桓惠王8
264		周本紀王赧59(→479・279)秦攻西周,西周君奔秦,周君王赧卒.韓世家桓惠王9秦拔我陘城汾旁(秦本紀昭襄王43攻韓拔九城)	隱王赧59/西周滅亡*		安釐王13	孝成王2	桓惠王9*
263		韓世家桓惠王10上黨郡守降(趙世家孝成王4趙遂發兵取上黨は翌年)			安釐王14	孝成王3	桓惠王10*
262		趙→263・260			安釐王15	*孝成王	桓惠王11
261		楚世家頃襄王36卒			安釐王16	孝成王5	桓惠王12
260		秦簡編年記昭王47攻趙長平(趙世家孝成王4<262>廉頗將軍軍長平,秦本紀昭襄王47白起破趙於長平は次年までのことを述べる→259)			安釐王17	孝成王6	桓惠王13

戦國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
		襄王2(宣 湣王38)		昭襄王25		昭王31	頃襄王15	文公21	懷君14	
		襄王3(宣 湣王39)		昭襄王26		昭王32	頃襄王16	文公22	懷君15	
		襄王4*(宣 湣王40*)		昭襄王27		昭王33*/	頃襄王17	文公23* /頃公1	懷君16	
		襄王5		昭襄王28		惠王1	頃襄王18	頃公2*	懷君17	
		襄王6		昭襄王29*		惠王2	頃襄王19	頃公3	懷君18	
		襄王7	この後楚 魏滅之*	昭襄王30		惠王3	頃襄王20 *	頃公4	懷君19	
		襄王8		昭襄王31		惠王4	頃襄王21	頃公5	懷君20	
		襄王9		昭襄王32		惠王5	頃襄王22	頃公6	懷君21	
		襄王10		昭襄王33*		惠王6	頃襄王23	頃公7	懷君22	
		襄王11		昭襄王34		惠王7	頃襄王24	頃公8	懷君23	
		襄王12		昭襄王35		+ 惠王8	頃襄王25	頃公9	懷君24	
		襄王13		昭襄王36	こ の 頃 親	+ 惠王9* /	頃襄王26	頃公10	懷君25	
		襄王14*		昭襄王37*		武成王1	頃襄王27	頃公11	懷君26	
		襄王15		昭襄王38*		武成王2	頃襄王28	頃公12	懷君27	
		襄王16		昭襄王39*		武成王3	頃襄王29	頃公13	懷君28	
		襄王17		昭襄王40		武成王4	頃襄王30	頃公14	懷君29	
		襄王18		昭襄王41*		武成王5	頃襄王31	頃公15	懷君30	
		襄王19*/		昭襄王42		武成王6	頃襄王32	頃公16	懷君31* /元君1	
		王建1		昭襄王43*		武成王7	頃襄王33	頃公17	元君2	
		王建2		昭襄王44		武成王8	頃襄王34	頃公18	元君3	
		王建3		昭襄王45		武成王9	頃襄王35	頃公19	元君4	
		王建4		昭襄王46		武成王10	頃襄王36 */考烈 王1	頃公20	元君5	
		王建5		昭襄王47*		武成王11	考烈王2	頃公21	元君6	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
259		趙世家孝成王7秦人圍趙括趙括以軍降卒四十餘萬皆阬之(廉頗列佯同韓世家桓惠王14同→260に關聯)			安釐王18	孝成王7 *	桓惠王14 *
258		趙世家孝成王8秦圍邯鄲乃解(秦本紀昭襄王50年10月攻邯鄲不拔去は秦頡頏曆では翌年,趙曆夏正では本年)			安釐王19	孝成王8 *	桓惠王15
257		秦→258,魯世家頃公24楚滅魯(春申君列傳春申君相楚8爲楚北伐滅魯,この頃滅越か→346<越絶書楚考烈王并越於@邪>),燕世家武成王14卒			安釐王20	孝成王9	桓惠王16
256		越→346(越絶書楚考烈王并越於@邪)			安釐王21	孝成王10 *	桓惠王17
255		周本紀周民遂東亡後7(10の誤り七と十)歳(→264)滅東周東西周皆入于秦,秦本紀昭襄王52周初亡(周民東亡は周本紀配列ミスから六國表經由で本年へ,趙世家孝成王10秦拔西周<東周の誤>は前年<周が觀象授時曆使用ならその本年正月,秦頡頏曆本年2月,趙曆夏正前年11月,魯と同様周正に移行していればその本年正・2月,秦頡頏曆本年頭11・12月,趙曆夏正前年末11・12月>),燕世家孝王3(2の誤であろう)卒	東周滅亡*		安釐王22	孝成王11	桓惠王18
254					安釐王23	孝成王12	桓惠王19
253					安釐王24	孝成王13	桓惠王20
252					安釐王25	孝成王14	桓惠王21
251		秦本紀昭襄王56卒			安釐王26	孝成王15	桓惠王22
250					安釐王27	孝成王16	桓惠王23
249					安釐王28	孝成王17	桓惠王24
248		秦本紀莊襄王3年4月日食(西曆前248.4.24),秦本紀莊襄王3攻趙榆次新城猛孟取三十七城(趙世家孝成王18秦拔我榆次三十七城)			安釐王29	孝成王18 *	桓惠王25
247		秦本紀莊襄王4年5月丙午王卒,同攻上黨初置太原郡(韓世家桓惠王26秦拔我上黨)			安釐王30	孝成王19	桓惠王26 *
246		孝成王20秦拔我晉陽(始皇本紀1晉陽反將軍蒙「敖馬」擊之)			安釐王31	孝成王20 *	桓惠王27
245		趙世家孝成王21卒			安釐王32	孝成王21 */	桓惠王28
244					安釐王33	悼襄王1	桓惠王29
243		魏世家安釐王34卒			安釐王34*/	悼襄王2	桓惠王30
242		始皇本紀5攻魏初置東郡(衛世家元君14<10年短縮→24>秦拔魏東地初置東郡<更徙衛野王は翌年→始皇本紀6>)			景湣王1	悼襄王3	桓惠王31
241		衛世家元君25卒(始皇本紀6技術迫東郡其君角率其支屬徙居野王阻其山以保魏之河内)			景湣王2	悼襄王4	桓惠王32
240					景湣王3	悼襄王5	桓惠王33

戦国紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
		王建6		昭襄王48		武成王12	考烈王3	頃公22	元君7	
		王建7		昭襄王49		武成王13	考烈王4	頃公23	元君8	
		王建8		昭襄王50 *	この頃滅亡 *	武成王14 * ／	考烈王5	頃公24 * ／楚滅之	元君9	
		王建9		昭襄王51		孝王1	考烈王6		元君10	
		王建10		昭襄王52 *		孝王2 * ／	考烈王7		元君11	
		王建11		昭襄王53		王喜1	考烈王8		元君12	
		王建12		昭襄王54		王喜2	考烈王9		元君13	
		王建13		昭襄王55		王喜3	考烈王10		元君14	
		王建14		昭襄王56 * ／孝文王立 即死／		王喜4	考烈王11		元君15	
		王建15		莊襄王1(秦 簡編年記孝 文王1)		王喜5	考烈王12		元君16	
		王建16		莊襄王2(莊 襄王1)		王喜6	考烈王13		元君17	
		王建17		莊襄王3 * (莊襄王2)		王喜7	考烈王14		元君18	
		王建18		莊襄王4 * (莊襄王3)		王喜8	考烈王15		元君19	
		王建19		始皇帝1 * 未稱皇帝		王喜9	考烈王16		元君20	
		王建20		始皇帝2		王喜10	考烈王17		元君21	
		王建21		始皇帝3		王喜11	考烈王18		元君22	
		王建22		始皇帝4		王喜12	考烈王19		元君23	
		王建23		始皇帝5 *			王喜13	考烈王20		元君24 *
		王建24		始皇帝6 *		王喜14	考烈王21		元君25 * ／ 君角1	
		王建25		始皇帝7		王喜15	考烈王22		元君23	

東洋文化研究所紀要 第123冊

西曆	竹書紀年	繫年根據	周	晉	魏	趙	韓
239		韓世家桓惠王34卒			景湣王4	悼襄王6	桓惠王34 * /
238					景湣王5	悼襄王7	王安1
237		楚世家考烈王25卒			景湣王6	悼襄王8	王安2
236		趙世家悼襄王9卒			景湣王7	悼襄王9 * /	王安3
235					景湣王8	幽繆王1	王安4
234					景湣王9	幽繆王2	王安5
233					景湣王10	幽繆王3	王安6
232					景湣王11	幽繆王4	王安7
231					景湣王12	幽繆王5	王安8
230		韓世家王安9秦虜之韓遂滅			景湣王13	幽繆王6	王安9 * /秦滅之
229		趙世家幽繆王7以王遷降(始皇本紀19得趙王は顛項曆翌年頭10月,趙曆夏正本年10月<→幽繆王8年10月邯鄲爲秦は7年の誤であろう>)			景湣王14	幽繆王7 * /	
228		魏世家景湣王15卒,秦→229,楚世家幽王10卒哀王2月餘(2年の誤,或いは年末から年頭)所殺王負芻立			景湣王15 * /	代王嘉1	
227		楚王負芻→228			王假1	代王嘉2	
226					王假2	代王嘉3	
225		魏世家王假3秦虜之滅魏			王假3 * / 秦滅之	代王嘉4	
224						代王嘉5	
223		始皇本紀24王翳蒙武破楚(楚世家王負芻5同,昌平君立翌年死が始皇本紀でだぶる,昌平君は越君であらう→222)				代王嘉6	
222		始皇本紀25虜代王嘉,降越君,得燕王喜(燕世家王喜33虜燕王喜)				代王嘉7 * / 秦滅之	
221		田世家王建44降(始皇本紀26得齊王建),衛世家君角21爲庶人					

戰國紀年再構成に関する試論

鄭	齊	田 齊	宋	秦	越	燕	楚	魯	衛	中 山
		王建26		始皇帝8		王喜16	考烈王23		君角3	
		王建27		始皇帝9		王喜17	考烈王24		君角4	
		王建28		始皇帝10		王喜18	考烈王25 * / 幽王1		君角5	
		王建29		始皇帝11		王喜19	幽王2		君角6	
		王建30		始皇帝12		王喜20	幽王3		君角7	
		王建31		始皇帝13		王喜21	幽王4		君角8	
		王建32		始皇帝14		王喜22	幽王5		君角9	
		王建33		始皇帝15		王喜23	幽王6		君角10	
		王建34		始皇帝16		王喜24	幽王7		君角11	
		王建35		始皇帝17		王喜25	幽王8		君角12	
		王建36		始皇帝18		王喜26	幽王9		君角13	
		王建37		始皇帝19 *		王喜27	幽王10 * / 哀王1 *		君角14	
		王建38		始皇帝20		王喜28	哀王2 * / 王負芻1		君角15	
		王建39		始皇帝21		王喜29	王負芻2		君角16	
		王建40		始皇帝22		王喜30	王負芻3		君角17	
		王建41		始皇帝23		王喜31	王負芻4		君角18	
		王建42		始皇帝24 *		王喜32	王負芻5 * / 昌平君1		君角19	
		王建43		始皇帝25 *		王喜33 * / 秦滅之	昌平君2 * / 秦降 越君 (昌 平君)		君角20	
		王建44 * / 秦滅之		始皇帝26 稱皇帝					君角21 * / 秦滅之	

## 『史記』戦國年代検索表 凡例

- 「點校本」……中華書局點校本（評點本）の頁數
- 「卷名」……略名もある
- 「年次」……『史記』に記される年次。（ ）内は、六國年表による轉寫などにより本来の年次ではないと想定される場合について、その誤った過程を示す
- 「實年次」……「年次」が誤っている場合、本来どこに位置づけるべきであったかを示す。年次がずれない場合は「同左」とする
- 「記事略」……『史記』所載の記事を略文で示す
- 「B.C.」……戦國紀年一覽に示したもの。國ごとにずれる場合もある（年頭のずれ）
- 「從來」……從來六國年表・十二諸侯年表によって知り得た西曆紀元前年代。本論戦國紀年一覽に等しい場合は「同左」とする
- 「備考」……417等三桁の數値は、西曆紀元前。左傳の17-D等は小倉芳彦譯『春秋左氏傳』（岩波文庫。1989.5.16）に據る



戦國紀年再構成に関する試論

點校本	巻名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
157	周本紀	敬王41(←十二陳表)	敬王43	楚滅陳	478	同左	左傳哀17
157	周本紀	敬王41(←十二表←春秋・左傳哀16)	敬王42	孔子卒	479	同左	
157	周本紀	敬王42	同左	敬王崩元王仁立	479	同左	
157	周本紀	元王8	同左	元王崩定王介立	472	475	
158	周本紀	定王16(←六國魏表←晉世家哀4)	定王22	三晉滅知伯	451	453	貞定王
158	周本紀	定王28	同左	定王崩哀王去疾立、哀王所思王叔殺、思王為考王所殺	445	441	貞定王
158	周本紀	考王15	同左	考王崩威烈王午立	431	426	西周公・東周公に關する追述記事有り
159	周本紀	威烈王24	同左	威烈王崩安王驪立	408	402	
159	周本紀	安王26崩	同左	安王崩烈王喜立	383	376	
159	周本紀	烈王2(←六國表←秦本紀獻公11)	烈王10	太史儵見秦獻公	374	同左	
160	周本紀	烈王10崩	同左	烈王崩顯王儵立	374	369	六國表烈王7崩
160	周本紀	顯王5(←六國表←秦本紀獻公21)	顯王11	賀秦獻公	364	同左	
160	周本紀	顯王9(←六國表←秦本紀孝公2)	顯王15	致文武詐於秦孝	360	同左	秦本紀孝公2天子致詐“文武”は周本紀に示された解釋
160	周本紀	顯王25(←顯王26致伯前年)	顯王31	秦會諸侯於周	344	同左	
160	周本紀	顯王26(←六國表←秦本紀孝公19)	顯王32	致伯於秦孝公	343	同左	
160	周本紀	顯王33(←六國表←秦本紀惠文君2)	顯王39	賀秦惠王	336	同左	惠文君2は踰年稱元
160	周本紀	顯王35(←六國表←秦本紀惠文君4)	顯王41	致文武詐於秦惠王	334	同左	惠文君4は踰年稱元
160	周本紀	顯王44(←六國表←秦本紀惠文後元元年の前年)	慎靚王4	秦惠王稱王	324	同左	司馬遷は稱王して踰年し稱元したと考えた
160	周本紀	顯王48	同左	顯王崩慎靚王定立	327	321	
160	周本紀	慎靚王6	同左	慎靚王崩赧王延立	322	315	徙都西周の“徙”は行文
161	周本紀	王赧8(←六國表←秦本紀武王4)	王赧16	秦攻宜陽	307	同左	
164	周本紀	王赧34	同左	蘇秦謂周君、秦破韓魏秦師武北取趙、蘭離石者皆白起也	289	281	西周策蘇厲謂周君に同内容記事。“敗韓魏殺犀武攻趙蘭離石者皆白起也”と同策別文に“秦攻魏將犀武軍於伊闕”とある。内容は秦本紀昭襄王14(293)左更白起攻韓魏於伊闕に關聯、秦本紀昭襄王17(290)周君來朝にも關わろう
166	周本紀	王赧42(←六國表←魏世家安釐王4)	王赧50	秦破華陽約	273	同左	秦本紀昭襄王32(275)～34に錯簡があることについては、秦本紀昭襄王32の備考参照。ただし秦本紀當該部分の方が魏世家安釐王當該部分よりも詳しいことから、周本紀本條がこの秦本紀の方に據っているとすると、錯簡はこの轉寫の後に發生したことになる
167	周本紀	王赧45	同左	周君之秦	278	270	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
168	周本紀	王赧58	同左	三晉距秦	265	257	周赧の名があるので滅亡以前だろう
168	周本紀	王赧59(←六國表←秦本紀昭襄王51)	西周滅亡後	秦取韓陽城負黍	256	同左	
168	周本紀	王赧59	同左	秦攻西周,周君卒	264	256	
169	周本紀	後七[十の誤]歳	西周滅亡10年目	滅東周	255	249	秦莊襄王とあるは昭襄王の誤り,七歳は十歳の誤り
198	秦本紀	悼公13(←十二表←左傳哀17)	悼公15	楚滅陳	478	同左	
198	秦本紀	悼公14(←十二表)	悼公16	公卒	477	同左	
198	秦本紀	悼公12(←十二表←春秋・左傳哀16)	悼公14	孔子卒	479	同左	
199	秦本紀	厲共公2	同左	蜀人來賂	476	475	
199	秦本紀	厲共公16	同左	壘河旁,伐大荔	462	461	
199	秦本紀	厲共公21	同左	初縣頻陽,晉取武成	457	456	
199	秦本紀	厲共公24(←六國表[魏]←晉世家哀公4)	厲共公27	晉亂殺智伯	451	453	
199	秦本紀	厲共公25	同左	智開來奔	453	452	出公奔走(454)のあおりで出奔(453).六國表では智伯滅亡(451を453とする)の翌年とする(452)
199	秦本紀	厲共公33	同左	虜義渠王	445	444	
199	秦本紀	厲共公34	同左	日食,厲共公卒	444	443	日食西曆444.10.24. 躒公立は翌年→436日食.
199	秦本紀	厲共公34	躒公1	躒公立	443	同	199
199	秦本紀	躒公2	同左	南鄭叛	442	441	
199	秦本紀	躒公13	同左	義渠來伐	431	430	
199	秦本紀	躒公14	同左	躒公卒,懷公立	430	429	立弟懷公
199	秦本紀	懷公4	同左	懷公自殺,靈公立	427	425	立太子昭子之子爲靈公
200	秦本紀	靈公6	同左	晉築少梁,伐之	422	419	
200	秦本紀	靈公13(←十二或いは在三を十三と誤解もしくは10卒を13卒にスライド)	靈公12,或10,或3	城籍姑	416, 418, 425	415	六國表靈公10卒,實は12卒で13なし
200	秦本紀	靈公13(←六國表)	靈公12	靈公卒,簡公立	416	415	次代簡公5日食は前411より前412が適切,始皇本紀秦隱引本紀に靈公12卒とある.
200	秦本紀	簡公6	同左	令史初帶劍,涇洛,城重泉	411	409	始皇本紀簡公7百姓初帶劍
200	秦本紀	簡公16	簡公10	簡公卒	407	400	秦本紀秦隱引竹書紀年簡公9(踰年法解釋→10)卒次敬公立.秦本紀簡公卒,惠公立(敬公在位は削除)
200	秦本紀	簡公16	簡公10	惠公立	407	400	秦本紀秦隱引竹書紀年敬公立12(踰年法解釋→13)卒,惠公立
200	秦本紀	惠公12(←10年増←惠公2)	惠公2	出子生	394	388	“十二”は“在二”.出子生を出子立,惠公卒後1立とする可能性は追わないこととする
200	秦本紀	惠公13(←10年増←惠公3)	惠公3	伐蜀	393	384	“十三”は“在三”

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
200	秦本紀	惠公13(←六國表)	惠公11	惠公卒出子立	385	387	
200	秦本紀	出子2	同左	迎獻公於河西立之殺出子	384	385	
201	秦本紀	獻公1	同左	止從死	384	384	
201	秦本紀	獻公2	同左	城櫟陽	383	383	
201	秦本紀	獻公4	同左	孝公生	381	同左	正月庚寅(西曆前381.2.4. 觀象授時曆)
201	秦本紀	獻公11	同左	周太子從見公	374	同左	
201	秦本紀	獻公16	同左	桃冬花	369	同左	
201	秦本紀	獻公18	同左	雨金櫟陽	367	同左	
201	秦本紀	獻公21	同左	與晉戰於右門	364	同左	
201	秦本紀	獻公23	同左	與魏晉戰於少梁	362	同左	
201	秦本紀	獻公24	同左	獻公卒孝公立	361	362	六國表獻公23卒
202	秦本紀	孝公1	同左	東圍陝城西斬戎之獮王,衛鞅見公	361	同左	齊威・燕悼・韓哀は六國年表より転寫,これら諸君主以下も司馬遷の判断か
203	秦本紀	孝公2	同左	天子致胙	360	同左	
203	秦本紀	孝公3	同左	用衛鞅變法	359	同左	
203	秦本紀	孝公7(←魏世家惠王16)	同左	與魏惠王會杜平	355	同左	魏は木稱王
203	秦本紀	孝公10	同左	衛鞅爲大良造圍魏安邑	352	同左	
203	秦本紀	孝公12	同左	徙都咸陽	350	同左	并諸小郷聚集爲大縣縣一令四十一縣爲田開阡陌東地渡洛
203	秦本紀	孝公14	同左	初爲賦	348	同左	
203	秦本紀	孝公19	同左	天子致伯	343	同左	
203	秦本紀	孝公20	同左	諸侯畢賀,使公子少官率帥會諸侯逢澤朝天子	342	同左	
204	秦本紀	孝公21(←備考)	孝公19	齊敗魏馬陵	343	341	魏世家索隱引竹書紀年によって知られる梁惠成王29(341,秦孝公21)齊伐我東鄙と混同,六國表に位置づけられる
204	秦本紀	孝公22	同左	衛鞅伐魏,封鞅爲列侯號商君	340	同左	
204	秦本紀	孝公24	同左	與晉戰雁門,公卒	338	同左	子惠文君立
205	秦本紀	惠文君1	同左	楚韓趙蜀人來朝	337	同左	以下踰年法年次
205	秦本紀	惠文君2	同左	天子賀	336	同左	
205	秦本紀	惠文君3	同左	王冠	335	同左	
205	秦本紀	惠文君4	同左	天子致文武胙	334	同左	
205	秦本紀	惠文君4	同左	齊魏爲王	334	同左	齊はすでに稱王(338),惠文君踰年元年前に稱王は認められないということだろう
205	秦本紀	惠文君5	同左	犀首爲大良造	333	同左	
205	秦本紀	惠文君6	同左	魏納陰晉更名寧秦	332	同左	
205	秦本紀	惠文君7	同左	與魏戰虜龍賈斬首八萬	331	同左	
206	秦本紀	惠文君8	同左	魏納河西之地	330	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
206	秦本紀	惠文君9	同左	取汾陰皮氏,與魏王會應,閻焦	329	同左	
206	秦本紀	惠文君10	同左	張儀相秦魏納上郡15縣	328	同左	
206	秦本紀	惠文君11	同左	縣義渠歸魏焦曲沃,更名少梁曰夏陽	327	同左	
206	秦本紀	惠文君12	同左	初臘	326	同左	
206	秦本紀	惠文君13	同左	秦君爲王韓亦爲王,取陝與魏	325	同左	秦王13年4月戊午(西曆前325.5.9),韓は前年にすでに稱王,點校本誤植魏王
207	秦本紀	惠文王1	同左	更改元年	324	同左	惠文君14になる年を惠文王1にした(正月改元)
207	秦本紀	惠文王2	同左	張儀與齊楚大臣會齧桑	323	同左	
207	秦本紀	惠文王3	同左	韓魏太子來朝,張儀相魏	322	同左	
207	秦本紀	惠文王5	同左	王游至北河	320	同左	
207	秦本紀	惠文王7	同左	樂池相秦,韓趙魏燕齊帥匈奴共攻秦,秦虜申差敗趙公子渴韓太子奭斬首八萬二千	318	同左	
207	秦本紀	惠文王8	同左	張儀復相魏	317	同左	
207	秦本紀	惠文王9	同左	司馬錯伐蜀滅之,取趙中都西陽	316	同左	
207	秦本紀	惠文王10	同左	韓太子蒼來質,取韓石章,敗趙將泥	315	同左	
207	秦本紀	惠文王11	同左	穉里疾降魏焦,敗韓雁門斬首萬,將犀首走,公子通封於蜀,燕君讓其臣子之	314	同左	
207	秦本紀	惠文王12	同左	王與梁王會臨晉,庶長疾攻趙虜趙將莊,張儀相楚	313	同左	
207	秦本紀	惠文王13	同左	庶長章擊楚於丹陽虜其將屈匄斬首八萬,攻楚漢中置漢中郡,楚圍雍氏,使庶長疾助韓而東攻齊,助魏攻燕	312	同左	
207	秦本紀	惠文王14	同左	伐楚取召陵,丹犁臣,蜀相壯殺蜀侯來降	311	同左	
209	秦本紀	惠文王14	同左	惠文王卒武王立	311	同左	韓魏齊楚越(一作趙)皆賓從
209	秦本紀	武王1	同左	與魏惠王會臨晉,誅蜀相壯,張儀魏章之魏,伐義渠丹犁	310	同左	

戰國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
209	秦本紀	武王2	同左	初置丞相, 樛里疾甘茂左右丞相, 張儀死	309	同左	
209	秦本紀	武王3	同左	與韓襄王會臨晉外, 南公揚卒, 樛里疾相韓, 使甘茂庶長封伐宜陽	308	同左	
209	秦本紀	武王4	同左	拔宜陽斬首六萬, 城武遂, 魏太子來朝, 力士至大官	307	同左	
209	秦本紀	武王4	同左	武王死昭襄王立	307	同左	
210	秦本紀	昭襄王1	同左	嚴君疾爲相, 甘茂出之魏	306	同左	
210	秦本紀	昭襄王2	同左	彗星見, 庶長壯等爲逆所誅, 悼武王后出歸魏	305	同左	
210	秦本紀	昭襄王3	同左	王冠, 與楚王會黃壤與楚上庸	304	同左	
210	秦本紀	昭襄王4	同左	取蒲阪, 彗星見	303	同左	
210	秦本紀	昭襄王5	同左	魏王來朝應亭, 復與魏	302	同左	
210	秦本紀	昭襄王6	同左	蜀侯禪反司馬錯定蜀, 庶長奐伐楚斬首二萬, 涇陽君質於齊, 日食晝晦	301	同左	
210	秦本紀	昭襄王7	同左	拔新城, 樛里子卒	300	同左	
210	秦本紀	昭襄王8	同左	將軍卬戎攻楚取新市, 齊魏韓攻楚方城取唐昧, 趙攻中山, 魏公子勁韓公子長諸侯	299	同左	
210	秦本紀	昭襄王9	同左	孟嘗君薛文來相秦, 奐攻楚殺景快	298	同左	
210	秦本紀	昭襄王10	同左	楚懷王入朝秦秦留之, 薛文以金受免, 樓緩爲丞相	297	同左	
210	秦本紀	昭襄王11	同左	齊韓魏趙宋中山五國共攻秦, 秦與韓魏河北及封陵和, 彗星見, 楚懷王走趙趙不受, 還之秦即死歸葬	296	同左	
210	秦本紀	昭襄王12	同左	樓緩免, 魏冉爲相, 予楚粟五萬石	295	同左	
212	秦本紀	昭襄王13	同左	向壽伐韓取武始, 左更白起攻新城, 五大夫禮出亡奔魏, 任鄙爲漢中守	294	同左	
212	秦本紀	昭襄王14	同左	左更白起攻韓魏於伊闕, 虜公孫喜斬首二十四萬	293	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
212	秦本紀	昭襄王15	同左	大良造白起攻魏取垣復予之,攻楚取宛	292	同左	
212	秦本紀	昭襄王16	同左	左更錯取帛及鄧,冉免,封公子市宛公子付帛鄧,魏冉陶爲諸侯	291	同左	
212	秦本紀	昭襄王17	同左	城陽君入朝,及東周君來朝,秦以垣爲蒲阪皮氏,王之宜陽	290	同左	
212	秦本紀	昭襄王18	同左	錯攻垣河雍決橋取之	289	同左	
212	秦本紀	昭襄王19	同左	王爲西帝齊爲東帝皆復去之,呂禮來自歸,任鄙卒	288	同左	
212	秦本紀	昭襄王19	同左	齊破宋宋王在魏死温	288	同左	魏世家昭王10(286)齊滅宋(所謂滅亡)宋王死我温,288に亡命し286死去
212	秦本紀	昭襄王20	同左	王之漢中又之上郡北河	287	同左	
212	秦本紀	昭襄王21	同左	錯攻魏河内魏獻安邑秦出其人募徙河東賜爵赦罪人遷之,涇陽君封宛	286	同左	
212	秦本紀	昭襄王22	同左	蒙武伐齊河東爲九縣,與楚王會宛,與趙王會中陽	285	同左	
212	秦本紀	昭襄王23	同左	尉繚離與三晉燕伐齊破之濟西,王與魏王會宜陽,與韓王會新城	284	同左	
212	秦本紀	昭襄王24	同左	與楚王會郟又會濮,秦取魏安城至大梁燕趙救之,魏冉免相	283	同左	
213	秦本紀	昭襄王25	同左	拔趙二城,與韓王會新城,與魏王會新明邑	282	同左	
213	秦本紀	昭襄王26	同左	赦罪人遷之濮,侯冉復相	281	同左	
213	秦本紀	昭襄王27	同左	錯攻楚,赦罪人遷之南陽,白起攻趙取代光狼城,又司馬錯發離西因蜀攻楚黔中拔之	280	同左	
213	秦本紀	昭襄王28	同左	大良造白起攻楚取郟鄧赦罪人遷之	279	同左	

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
213	秦本紀	昭襄王29	同左	大良造白起攻楚取郢爲南郡楚王走,周君來,王與楚王會襄陵,白起爲武安君	278	同左	
213	秦本紀	昭襄王30	同左	蜀守若伐楚取巫郡及江南爲黔中郡	277	同左	
213	秦本紀	昭襄王31	同左	白起伐魏,楚人反我江南	276	同左	
213	秦本紀	昭襄王32	同左	相穰侯攻魏至大梁	275	同左	以下昭襄王34まで錯簡がある(誤りがあるとする見解は梁玉繩)魏世家安釐王2・3・4との對比で判明 秦本紀の錯簡であることは、魏世家の事件配列の方が意味が通ずること、他、秦簡編年記昭襄王34攻華陽を秦本紀が33に配していることでも明らか。全文錯簡を正すと以下の通り(◇内は筆者補入、◇内が補正した錯簡部分)。 32年相穰侯攻魏至大梁、<移動→33>、33年客卿竈攻齊取剛壽予穰侯、<32→破暴、嵩斬首四萬、嵩走魏入三縣、和>、<移動→34>、34年秦與魏《戰》、<33→擊芒卯華陽破之、斬首十五萬、魏入南陽以和>、《與》韓上庸地爲一郡、南唐免臣遷居之
213	秦本紀	昭襄王32	同左	見昭襄王32備考	275	同左	
213	秦本紀	昭襄王33	同左	見昭襄王32備考	274	同左	
213	秦本紀	昭襄王34	同左	見昭襄王32備考	273	同左	
213	秦本紀	昭襄王35	同左	佐韓魏楚伐燕,初置南陽郡	272	同左	
213	秦本紀	昭襄王36	昭襄王37	客卿竈攻齊取剛壽予穰侯	270	271	秦簡編年記37
213	秦本紀	昭襄王38	同左	中更胡攻趙閼與不能取	269	同左	
213	秦本紀	昭襄王40	同左	悼太子死魏歸葬芷陽	267	同左	
213	秦本紀	昭襄王41	同左	攻魏取刑丘懷	266	同左	
213	秦本紀	昭襄王42	同左	安國君爲太子,十月宣太后薨葬芷陽鄠山,九月穰侯出之陶	265	同左	十月、九月の順は顛項啓
213	秦本紀	昭襄王43	同左	武安君白起攻韓拔九城斬首五萬	264	同左	
213	秦本紀	昭襄王44	同左	攻韓南取之	263	同左	
213	秦本紀	昭襄王45	同左	五大夫賁攻韓取十城,葉陽君捏出之國未至而死	262	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
213	秦本紀	昭襄王47	同左	秦攻韓上黨上黨降趙秦因攻趙趙發兵擊秦,武安君白起大破趙於長平	260	同左	四十餘萬盡殺之
213	秦本紀	昭襄王48	同左	十月韓獻垣雍,秦軍分爲三軍,武安君歸,王貳將伐趙皮牢拔之,司馬梗北定太原盡有韓上黨,正月平罷復守上黨,其十月五大夫陵攻趙邯鄲	259	同左	十月,正月の順は顛項曆,其十月は挿入を示すか
214	秦本紀	昭襄王49	同左	正月陵戰不善王貳代將,其十月將軍張唐攻魏,斬陵	258	同左	其十月は挿入を示すか
214	秦本紀	昭襄王50	同左	武安君白起有罪爲士伍遷陰密,張唐攻鄭拔之,十二月益發卒軍汾城旁,武安君白起有罪死,貳攻邯鄲不拔去,攻晉斬首六千晉楚流死河二萬人,攻汾城,從唐拔寧新中更名安陽,初作河橋	257	同左	218
218	秦本紀	昭襄王51	同左	將軍繆攻韓取陽城負黍斬首四萬,攻趙取二十餘縣斬首九萬	256	同左	
218	秦本紀	昭襄王51	同左	西周君背秦	256	同左	西周君は東周君の誤り,西周と東周の取り違え
218	秦本紀	昭襄王52	同左	初周亡九鼎入秦	256	同左	周民東亡は西周と東周の取り違えによる誤り
218	秦本紀	昭襄王53	同左	天下來寶魏後伐魏取吳城,韓王入朝,魏委國聽令	254	同左	
218	秦本紀	昭襄王54	同左	王郊見上帝於雍	253	同左	
218	秦本紀	昭襄王56	同左	秋昭襄王卒	251	同左	子孝文王立,秦簡編年記後九月昭死(顛項曆閏月)
219	秦本紀	孝文王1	同左	除喪十月(九月の誤り)己亥即位三日辛丑卒	251	250	秦簡編年記に立即死とある。己亥,辛丑は後9月(10月に誤る)ゆえ踰年前に死亡,ただし後にその元年を独立か(莊襄王卒年につき秦簡編年記が3年,秦本紀が4年と作るのはそのためだろう),莊襄王4の5月丙午が前247でしか有り得ない(翌年は始皇帝踰年即位の年)ことも関係



戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
219	秦本紀	莊襄王1	同左	大赦罪人、蒙鶖攻韓韓獻成臯、秦界至大梁初置三川郡	250	249	秦簡編年記に孝文王1とする年
219	秦本紀	莊襄王1(←六國表←昭襄王52滅東周を滅西周と取り違えその7年後	昭襄王52	使相國呂不韋誅東周君不絶其祀以陽人地賜周君	255	249	呂不韋列傳に據れば彼が丞相となったのは莊襄王元年なので、彼は関わっていないかもしれない
219	秦本紀	莊襄王2	同左	蒙鶖攻趙定太原	249	248	秦簡編年記に莊王1とする年
219	秦本紀	莊襄王3	同左	蒙鶖攻趙榆次新城狼孟取二十七城、四月日食	248	247	日食四月朔(西曆前248.4.24)。ただし六國表は248襄王2に同事件を記す
219	秦本紀	莊襄王4	同左	王訖攻上黨初置太原郡、魏相無忌率五國兵擊秦蒙鶖敗、五月丙午莊襄王卒	247	同左	子政立、五月丙午はこの年、ただし六國表は247襄王3に同事件を記す
220	秦本紀	秦王政26	同左	初并天下爲三十六郡號爲始皇帝	221	同左	
220	秦本紀	始皇帝<37>	同左	51年皇帝崩	210	同左	51年は年齢
223	始皇本紀	昭襄王48	同左	始皇生	259	同左	
223	始皇本紀	始皇帝13歳	莊襄王4	莊襄王死、晉陽反	247	同左	六國表莊襄王3(247)
224	始皇本紀	始皇帝1	同左	將軍蒙鶖擊定晉陽	246	同左	
224	始皇本紀	始皇帝2	同左	熊公將卒攻卷斬首三萬	245	同左	
224	始皇本紀	始皇帝3	同左	蒙鶖攻韓取十三城、王訖死、十月將軍蒙鶖攻魏氏鳴有詭、歲大饑	244	同左	十月は七月か→始皇帝4
224	始皇本紀	始皇帝4	同左	拔嗚有詭、三月軍罷、秦質子歸自趙、趙太子嚙出歸國、十月(七月)庚寅蝗從東方來蔽天下、疫百姓內粟千石、拜爵一級	243	同左	十月は七月(庚寅は七月のみ、蝗害は七月)、顛項曆年頭ではない(顛項曆使用を否定しない)
224	始皇本紀	始皇帝5	同左	將軍鶖攻魏定酸、棘燕虛、長平、雍丘、山陽、城皆拔之、取二十城、初置東郡、冬雷	242	同左	
224	始皇本紀	始皇帝6	同左	韓魏趙衛楚共擊秦、取壽陵、拔衛、追東郡、衛君角徙居野王	241	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
224	始皇本紀	始皇帝7	同左	彗星先出東方見北方五月見西方將軍驚死.以攻龍孤慶都還兵攻汲.彗星復見西方夏太后死	240	同左	
224	始皇本紀	始皇帝8	同左	王弟長安君擊趙反死屯留	239	同左	
227	始皇本紀	始皇帝8	同左	嫪毐封爲長信侯	239	同左	
227	始皇本紀	始皇帝9	同左	彗星見或竟天.攻魏垣蒲陽.四月上宿雍.己酉王冠帶劍.長信侯毒作亂.四月寒凍有死者.搆端和攻苻氏.彗星見西方又見北方從斗以兩八十日	238	同左	
227	始皇本紀	始皇帝10	同左	相國呂不韋坐嫪毐免.桓齮爲將軍.齊趙來置酒.秦王迎太后入咸陽	237	同左	
230	始皇本紀	始皇帝10	同左	大索逐客	237	同左	
231	始皇本紀	始皇帝11	同左	王翳桓齮楊端攻鄴取九城	236	同左	
231	始皇本紀	始皇帝12	同左	文信侯不韋死	235	同左	
232	始皇本紀	始皇帝13	同左	桓齮攻趙平陽殺趙將扈輒斬首十萬.王之河南.正月彗星見東方.十月桓齮攻趙	234	同左	十月の記事を六國表は正月の前に置く(顧頡膺の證據).或いは十月は七月の誤り
232	始皇本紀	始皇帝14	同左	攻趙軍於平陽取宜安破之.桓齮定平陽武城.韓非使秦秦用李斯謀留非非死雲陽.韓王請爲臣	233	同左	
232	始皇本紀	始皇帝15	同左	大興兵一軍至太原取狼孟.地動	232	同左	
232	始皇本紀	始皇帝16	同左	九月發卒受地韓南陽假守騰初令男子初年.魏獻地於秦秦置麗邑	231	同左	
232	始皇本紀	始皇帝17	同左	內史騰攻韓得韓王安盡納其地爲潁川郡.地動.華陽太后卒.民大饑	230	同左	
233	始皇本紀	始皇帝18	同左	大興兵攻趙.王翳將上地下井涇.端和將河內.羌瘁伐趙.端和圍邯鄲城	229	同左	

戦國紀年再構成に関する試論

点校本	巻名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
233	始皇本紀	始皇帝19	同左	王翦羌槐定取趙地東陽得趙王,引兵屯中山,秦王之邯鄲還從上郡歸,始皇帝母太后崩,趙公子嘉自立爲代王與燕合兵大饑	228	同左	
233	始皇本紀	始皇帝20	同左	燕太子丹使荊軻刺秦王,王翦辛勝攻燕,燕代發兵,秦破燕易水之西	227	同左	
233	始皇本紀	始皇帝21	同左	王賁攻薊,得太子丹首,燕王東取遼東而王之,王翦謝病老歸,新鄭反,昌平君徙於郢,大雨雪深二尺五寸	226	同左	
234	始皇本紀	始皇帝22	同左	王賁攻魏,王降,盡其地	225	同左	
234	始皇本紀	始皇帝23	同左	復召王翦擊荊取陳以南至平輿	224	同左	
234	始皇本紀	始皇帝23	始皇帝24	虜荊王,荊將項燕立昌平君爲荊王反秦於淮南	223	224	昌平君について解釋を誤る
234	始皇本紀	始皇帝24	同左	王翦蒙武破荊昌平君死項燕遂自殺	223	224	昌平君について解釋を誤る,六國楚表頃襄王4(224)
234	始皇本紀	始皇帝24	始皇帝25	昌平君死	222	223・222	始皇本紀始皇24(223),六國楚表で王負芻5の翌年なら222
234	始皇本紀	始皇帝24	同左	項燕遂自殺	223	224	昌平君を立てた年の死か,六國楚表王負芻4(224)
234	始皇本紀	始皇帝25	同左	大興兵使王賁攻遼東得燕王喜,還攻代虜代王嘉,王翦遂定荊江南地降越君置會稽郡,五月天下大酈	222	同左	越君は淮南の楚昌平君であろう
235	始皇本紀	始皇帝26	同左	使將軍王賁從燕南攻齊得齊王建	221	同左	
287	始皇本紀	悼公15	悼公16,或いは同左	享國十五年	477, 478	477	秦本紀六國表悼公14卒,惠公年未卒につき年始即位か,或いは悼公年未卒か
287	始皇本紀	刺虬公34	同左	享國三十四年	444	443	秦本紀厲共公
287	始皇本紀	刺虬公10	同左	彗星見	468	467	
287	始皇本紀	躒公14	同左	享國十四年	430	429	又作趙公<索隱>
287	始皇本紀	躒公1	同左	彗星見	443	442	刺虬公(厲共公)年未卒につき年始即位
287	始皇本紀	懷公4	同左	享國四年	427	425	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
288	始皇本紀	肅靈公10(←六國表)	肅靈公12	享國十年	416	415	秦本紀靈公13卒,始皇本紀秦隱引紀12卒,六國表靈公10卒
288	始皇本紀	簡公15(←六國表)	簡公10	享國十五年	407	400	竹書紀年簡公九年卒(踰年稱元解釋)
288	始皇本紀	簡公7	同左	百姓初帶劍	410	408	秦本紀簡公6,六國表簡公6(409)
288	始皇本紀	惠公13(←六國表)	惠公11	享國十三年	385	387	敬公13卒を誤入か
288	始皇本紀	出公2	同左(出子2)	享國二年	384	385	
288	始皇本紀	獻公23(←六國表)	獻公24	享國二十三年	361	362	
288	始皇本紀	孝公24	同左	享國二十四年	338	同左	
288	始皇本紀	惠文王27	同左	享國二十七年	311	同左	踰年稱元法により合算,立年稱元法に據れば28年
289	始皇本紀	悼武王4	同左	享國四年	307	同左	
289	始皇本紀	昭襄王56	同左	享國五十六年	251	同左	
289	始皇本紀	孝文王1	同左	享國一年	251	250	踰年稱元前に死去
289	始皇本紀	莊襄王3	同左,或莊襄王4	享國三年	247	同左	
289	始皇本紀	獻公7	同左	初行爲市	378	同左	
289	始皇本紀	獻公10	同左	爲戶籍相伍	375	同左	
289	始皇本紀	孝公16	同左	時桃李冬華	346	同左	
289	始皇本紀	惠文王立	同左	生十六年而立	338	同左	
289	始皇本紀	惠文王立2	同左(立は不要)	初行錢	336	同左	司馬遷は立の用法が必ずしも一定でない
289	始皇本紀	悼武王立	同左	生十九年而立	311	同左	
289	始皇本紀	悼武王立3	同左(立は不要)	渭水赤三日	308	同左	司馬遷は立の用法が必ずしも一定でない
290	始皇本紀	昭襄王立	同左	生十九年而立	307	同左	
290	始皇本紀	昭襄王4	同左	初爲田開阡陌	303	同左	
290	始皇本紀	孝文王立	同左	生五十三年而立	251	同左	
290	始皇本紀	莊襄王立	同左	生三十二年而立	251	250	
290	始皇本紀	莊襄王立2	同左(立は不要)	取太原地	249	248	

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
290	始皇本紀	莊襄王1	同左	大赦	250	249	
290	始皇本紀	莊襄王1(←六國表←昭襄王52滅東周を滅西周と取り違えその7年後)	昭襄王52	使相國呂不韋誅東周君不絶其祀以陽人地賜周君	255	249	
290	始皇本紀	始皇立	同左	生十三而立	247	同左	
290	始皇本紀	(二世までの合計在位)	-----	秦襄公至二世六百一十歳	780-207(-195)		秦本紀自襄公至二世576年,年表561年,私見598年(高祖を含めて610年,惠文王27年,莊襄王3年として)
1475	吳世家	王夫差18(←十二表←左傳哀17-B)	王夫差19	越王句踐敗吳師於笠澤,楚滅陳	478	同左	
1475	吳世家	王夫差18(←十二表←左傳哀17-D)	王夫差19	楚滅陳	478	同左	十二表陳表479
1475	吳世家	王夫差20(←十二表←左傳哀19-A)	王夫差22	越王句踐復伐吳	475	476	左傳哀19-A越人侵楚以誤吳也,翌年左傳哀20-C越聞越將圍吳
1475	吳世家	王夫差21(←十二表←左傳哀20-C)	王夫差22	越圍吳	475	同左	
1475	吳世家	王夫差23(←十二表←左傳哀22-B)	王夫差24	越滅吳	473	同左	
1512	齊世家	平公8(←十二表齊平公4の4年後←左傳哀22-Bは哀18の4年後)	平公9	越滅吳	473	同左	
1512	齊世家	平公25	同左	平公卒宣公積立	457	456	
1512	齊世家	宣公51	同左	宣公卒康公貸立	407	405	竹書紀年によれば12月卒,康公は翌年即位であろう
1512	齊世家	康公2(←六國表←趙世家烈侯6)	康公4	韓魏趙列爲諸侯	403	同左	
1512	齊世家	康公19	同左	田和始爲諸侯	389	386	
1512	齊世家	康公26(←六國齊←表齊威王1<踰年稱元>の前年)	康公52	康公卒	356	379	
1512	齊世家	康公26(←六國齊←齊滅王1<稱元稱元>の前年)	幽公19	呂氏遂絶其祀,田氏卒有齊國爲齊威王疆於天下	338	379	竹書紀年に見える幽公は姜齊最後の君主であろう
1545	魯世家	哀公16(←春秋・左傳哀16-3)	哀公17	孔子卒	479	同左	
1545	魯世家	哀公22(←左傳哀22-B)	哀公23	越王句踐滅吳王夫差	473	同左	西曆→六國楚表
1545	魯世家	哀公27(←左傳哀27-B)	哀公28	季康子卒	468	同左	從來西曆は十二表と六國楚表の頭を接合
1545	魯世家	哀公27(←左傳哀27-D)	哀公28	哀公患三桓,哀公如暉氏奔于衛如鄒如越復歸卒于有山氏	468	同左	從來西曆は十二表と六國楚表の頭を接合,左傳復歸せず,左傳國人施公孫有山氏
1545	魯世家	哀公27	哀公28	哀公卒悼公寧立	468	468	從來西曆→六國楚表魯紀年
1546	魯世家	悼公之時	同左?	三桓勝	468-432	468-429	從來西曆→六國楚表魯紀年

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1546	魯世家	悼公13(←六國楚表魯悼公13與智伯分范中行地と混同)	悼公18	三晉滅智伯	451	454・453	六國魏韓趙表453,同楚表魯紀年454(分范中行地)
1546	魯世家	悼公37	同左	悼公卒元公嘉立	432	429	從來西曆→六國楚表魯紀年
1546	魯世家	元公21	同左	元公卒穆公顯立	412	408	從來西曆→六國楚表魯紀年
1546	魯世家	穆公33	同左	穆公卒共公奮立	380	377	從來西曆→六國楚表魯紀年,ただし穆公31(踰年)卒とする
1546	魯世家	共公22	同左	共公卒康公屯立	359	353	從來西曆→六國楚表魯紀年,ただし共公24(踰年)卒とする
1546	魯世家	康公9	同左	康公卒景公圉立	351	344	從來西曆→六國楚表魯紀年
1546	魯世家	景公29	同左	景公卒平公叔立	323	315	從來西曆→六國楚表魯紀年
1546	魯世家	平公之時	景公之時	六國稱王	351-323	344-315	從來西曆→六國楚表魯紀年
1546	魯世家	平公12	同左	秦惠王卒	312	303	從來西曆→六國楚表魯紀年303は同一記事六國秦表311と合わず,312は魯曆の年末で311は秦頡頏曆年頭
1546	魯世家	平公22	同左	平公卒文公賈立	302	296	從來西曆→六國楚表魯紀年,ただし平公19(踰年)卒とする
1546	魯世家	文公7	同左	楚懷王死于秦	296	289	從來西曆→六國楚表魯紀年289は同一記事六國楚表296と合わず
1546	魯世家	文公23	同左	文公卒頃公躒立	280	273	從來西曆→六國楚表魯紀年
1546	魯世家	頃公2	同左	秦拔楚郢楚頃王東徙于陳	279	271	從來西曆→六國楚表魯紀年271は同一記事六國秦表278と合わず,279は魯曆の年末で278は秦頡頏曆年頭
1546	魯世家	頃公19	同左	楚伐我取徐州	262	255	從來西曆→六國楚表魯紀年,ただし頃公18(踰年)とする
1546	魯世家	頃公24	同左	楚考烈王滅魯	257	249	從來西曆→六國楚表魯紀年
1553	燕世家	獻公14(←十二表←春秋・左傳哀16-3)	獻公16	孔子卒	479	同左	
1553	燕世家	獻公28	同左	獻公卒孝公立	467	465	
1553	燕世家	孝公12(←六國燕表←六國魏表晉紀年←晉世家哀公4)	成公3	韓魏趙滅知伯	451	453	索隱解釋踰年年次で成公2(451)
1554	燕世家	孝公15	同左	孝公卒成公立	453	450	
1554	燕世家	成公16	同左	成公卒湣公立	436	434	竹書紀年湣公作文公,系本作閔公
1554	燕世家	湣公31(←六國燕表)	湣公23	湣公卒釐公立	414	403	從來西曆→六國燕表,燕世家索引竹書紀年文公24卒(踰年法解釋,434・417各兩年)
1554	燕世家	釐公30	同左	伐敗齊于林營	385	373	
1554	燕世家	釐公30(←六國燕表)	簡釐公45	釐公卒桓公立	370	373	
1554	燕世家	桓公11	同左	桓公卒文公立	360	362	
1554	燕世家	桓公11(←六國燕表←六國秦表)	桓公10	秦獻公卒	361	360	秦本紀獻公24卒,秦表23卒
1554	燕世家	文公19(←六國表←田世家威王36)	易王12	齊威王卒	320	343	
1554	燕世家	文公29	同左	文公卒易王立	332	333	

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
1554	燕世家	易王初立	易王1(立)	齊宣王因燕伐我取	332	333	
1554	燕世家	易王10	同左(立 年)	燕君爲王,蘇秦奔 齊	323	同左	
1554	燕世家	易王12	同左	易王卒燕噲立	320	321	
1555	燕世家	燕噲	王噲立~ 3	齊人殺蘇秦	320- 317	320- 318	蘇秦列傳齊宣王(實は威王)卒 噲王立燕易王卒蘇秦死,燕策一 燕王噲既立
1555	燕世家	燕噲3	同左	與楚三晉攻秦	317	318	燕策一燕王既立
1556	燕世家	子之3	同左(王 噲6)	國大亂,君噲死子 之亡	314	同左	六國燕表は王噲5(316)讓國と する,實際は王噲3(317)讓國で 翌年が子之1
1557	燕世家	昭王立	同左	立昭王平	313	同左	趙世家武靈王11(314)召公子 職於燕以爲燕王,燕策一燕王噲 既立・燕王噲死齊大勝子之亡 (314)2年(313)立公子平是燕 昭王
1558	燕世家	昭王28(←六國表←秦本紀昭襄 王23)	昭王29	與秦楚二晉合謀以 伐齊滑王出亡	284	同左	
1558	燕世家	昭王33	同左	昭王卒惠王立	280	279	
1558	燕世家	惠王	惠王立	田單復故城	280	279	齊世家襄王在莒五年(280← 284)
1558	燕世家	惠王7	惠王9	惠王卒武成王立	271	272	
1558	燕世家	惠王7(←六國表←秦本紀昭襄王 35)	惠王8	韓魏楚共伐燕	272	同左	
1559	燕世家	武成王7	同左	齊田單伐我拔中陽	264	265	
1559	燕世家	武成王13	同左	秦破趙於長平	258	259	秦本紀昭襄王47(260)と同年, 六國燕表のずれ
1559	燕世家	武成王14	同左	武成王卒孝王立	257	258	
1559	燕世家	孝王1(←六國表←秦本紀昭襄王 50)	孝王立	秦圍邯鄲者解去	267	同左	趙世家孝成王8は趙曆夏正前 年,本來はこれに合って267
1559	燕世家	孝王3	孝王2	孝王卒今王喜立	256	255	
1559	燕世家	今王喜4	同左	秦昭王卒	251	同左	秦本紀昭襄王56同
1559	燕世家	今王喜4	同左	破栗腹破卿秦	251	同左	趙世家孝成王15同,燕策三燕王 喜使栗腹以百金爲趙孝成王壽 は遇慶秦,樂間入趙に作る,趙 世家は虜卿秦樂間に作る
1560	燕世家	今王喜6(←六國表で7年後←周 本紀赧王59年)	王喜1	秦滅東周	255	249	秦本紀昭襄王52周民東亡を起 點にすれば六國表上で7年目
1560	燕世家	今王喜6(←六國表秦孝文王1< 莊襄王本紀と1年ずれ>←秦本 紀莊襄王1)	王喜5	置三川郡	250	同左	
1560	燕世家	今王喜7	同左	秦拔趙榆次三十七 城置大原郡	248	同左	秦本紀では249莊襄王2定大原, 248莊襄王3取三十七城
1560	燕世家	今王喜9	同左	秦王政初即位	246	同左	始皇本紀1同
1560	燕世家	今王喜10	同左	趙使廉頗將攻繁陽 拔之,趙孝成王卒 悼襄王立,樂乘走 廉破奔	245	同左	趙世家孝成王21同

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1560	燕世家	今王喜12	同左	趙使李牧攻燕拔武遂方城,劇辛奔燕,	243	同左	
1560	燕世家	今王喜19	同左	秦拔趙之鄴九城,趙悼襄王卒	236	同左	趙世家悼襄王9同
1560	燕世家	今王喜23	同左	太子丹質於秦亡歸燕	232	同左	
1561	燕世家	今王喜25	同左	秦虜韓王安置潁川郡	230	同左	始皇本紀17同
1561	燕世家	今王喜27	同左	秦虜趙王遷滅趙,趙公子嘉自立爲代王	228	同左	始皇本紀19同
1561	燕世家	今王喜	王喜28	荊軻襲刺秦王	227	同左	始皇本紀20(227)
1561	燕世家	今王喜29	同左	秦攻拔我薊,燕王徙遼東	226	同左	始皇本紀21同
1561	燕世家	今王喜30	同左	秦滅魏	225	同左	始皇本紀22同
1561	燕世家	今王喜33	同左	秦拔遼東滅燕虜代王嘉	223	同左	始皇本紀25同
1569	蔡世家	成侯13(←十二表←左傳哀17-D)	成侯14	楚滅陳	478	同左	
1569		成侯19	同左	成侯卒聲侯產立	473	472	
1569	蔡世家	聲侯15	同左	聲侯卒元侯立	459	457	從來→六國楚表蔡紀年
1569	蔡世家	元侯6	元侯9	元侯卒侯齊立	451	451	從來→六國楚表蔡紀年.滅蔡後陳滅'33'年から2年削られていることを知り,滅陳が成侯13→14となっていて1年ずれるので元侯9,九と六の字形類似
1569	蔡世家	侯齊4	同左	楚惠王滅蔡	448	447	從來→六國楚表蔡紀年
1583	陳世家	湑公23(←十二表←左傳哀16-C)	湑公24	楚白公勝子西子綦襲惠王葉公敗之	479	同左	
1583	陳世家	湑公24	湑公25	楚惠王殺陳湑公,孔子卒	478	479	左傳哀17-Dから十二表により湑公24.一方この年が25にならないので23(五と三の字形類似)とし孔子卒を付加→十二表との矛盾は解決せず
1584	紀世家	湑公15	湑公10	楚惠王滅陳	478	472	春秋哀8-6(487)冬12月杞伯過卒を起點にすれば,478は10年(十五の五が衍字).從來により躰年法を用いれば15年は472
1584	紀世家	湑公16	同左	湑公卒哀公闕路立	472	473	從來→春秋哀8-6(487)冬12月杞伯過卒起點
1584	紀世家	哀公立10	哀公10	哀公卒出公敫立	463	461	從來→春秋哀8-6(487)冬12月杞伯過卒起點
1584	紀世家	出公12	同左	出公卒簡公春立	452	449	從來→春秋哀8-6(487)冬12月杞伯過卒起點
1584	紀世家	簡公立1	簡公1	→出公復歸か	452	449	從來→春秋哀8-6(487)冬12月杞伯過卒起點



## 戦國紀年再構成に関する試論

点校本	巻名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
1584	紀世家	簡公立1	出公復7	楚惠王滅紀	446	449	従来→春秋哀8-6(487)冬12月紀伯過卒起點,楚惠王44(→楚世家)でも446.出公という名は出奔した君主を示すらしい(衛世家等参照)
1599	衛世家	出公12(←15を吳讀<五と二の字形>)	出公15	出公奔莊公蒯聵立	479	481	左傳哀15-C(480)12月(衛では翌年頭だろう),十二表(481)
1602	衛世家	莊公1	同左	欲盡誅大臣群臣欲作亂乃止	480	同左	
1602	衛世家	莊公2	同左	魯孔丘卒	479	同左	
1602	衛世家	莊公3(←十二表←左傳哀17-F)	同左	莊公奔公子斑師立所虜,君起立	478	同左	
1603	衛世家	君起1(←十二表←左傳哀18-C)	君起2	君起奔齊出公歸立	477	同左	
1603	衛世家	出公立21	出公39(再復11,在國33)	出公卒悼公黔立	455	470 456	従来→六國魏表衛紀年・衛世家出公12奔在外4復21卒は成侯11公孫鞅入秦および左傳に矛盾.左傳哀26-Cに出公復歸の預言
1603	衛世家	悼公5	同左	悼公卒敬公弗立	465	451	従来→六國魏表衛紀年.左傳哀26(469)立悼公,衛世家索隱引竹書紀年悼公4卒(讎年法解釋)
1603	衛世家	敬公19	同左	敬公卒昭公糾立	437	432	従来→六國魏表衛紀年
1603	衛世家	昭公6	同左	昭公弑懷公亶立	432	427	従来→六國魏表衛紀年
1603	衛世家	懷公11	同左	懷公弑慎公黶立	422	415	従来→六國魏表衛紀年懷公12卒
1603	衛世家	慎公42	同左	慎公卒聲公訓立	381	373	従来→六國魏表衛紀年
1603	衛世家	聲公11	同左	聲公卒成侯遫立	371	362	従来→六國魏表衛紀年
1604	衛世家	成侯11	同左	公孫鞅入秦	361	351	従来→六國魏表衛紀年成侯11(これ以前に商鞅の秦における活躍が見られるのと矛盾).商君列傳公叔既死公孫鞅聞秦孝公賢入秦,秦本紀獻公23虜魏將公孫痤
1604	衛世家	成侯29	同左	成侯卒嗣君立	343	325	従来→六國魏表衛紀年成侯37卒
1604	衛世家	嗣君5	同左(孝襄侯5)	更貶號曰君獨有濮陽	332	320	従来→六國魏表衛紀年,衛世家索隱引竹書紀年は嗣君を孝襄公とする
1604	衛世家	嗣君42	同左(孝襄侯42)	嗣君卒懷君立	295	283	従来→六國魏表衛紀年
1604	衛世家	懷君31	同左	朝魏魏囚殺懷君立元君	265	253	従来→六國魏表衛紀年懷君30卒
1604	衛世家	元君14	元君24・25	秦拔魏東地初置東郡,更徙衛野王縣而并濮陽爲東郡	242・41	同左	従来→六國魏表衛紀年元君11-12(14ではない)
1604	衛世家	元君15	同左	元君卒君角立	241	230	従来→六國魏表衛紀年元君23卒
1604	衛世家	君角9	君角21	秦并天下	221	同左	従来→六國魏表衛紀年

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1604	衛世家	君角21	同左	二世廢君角爲庶人衛絶記	221	209	二世は誤り、從來→六國魏表衛紀年と秦表
1631	宋世家	景公37(←十二表←陳世家湣公23)	景公40	楚惠王滅陳	478	479	左傳哀17・D(478)
1631	宋世家	景公37(←十二表)	景公37, 39	葵感守心	481, 479	480	481守角, 479守氏
1631	宋世家	景公64(前284齊一時滅亡から測って計算, 春秋昭25<517>元公卒景公立)	景公49	景公卒昭公特立	469	451	從來→六國齊表宋紀年景公66, →王偃47備考 左傳哀26宋景公卒
1631	宋世家	昭公47	同左	昭公卒悼公購由立	423	403	從來→六國齊表宋紀年昭公48
1631	宋世家	悼公8	悼公18	悼公卒休公田立	406	396	從來→六國齊表宋紀年悼公7, 宋世家索隱引竹書紀年悼公18卒(踰年法解釋, 417兩年)
1631	宋世家	休公23	同左	休公卒辟公辟兵立	384	373	從來→六國齊表宋紀年, 宋世家索隱引竹書紀年作桓侯暨兵
1632	宋世家	辟公3	同左	辟公卒剔成立	382	370	從來→六國齊表宋紀年
1632	宋世家	剔成41	同左	剔成卒君偃立	342	329	從來→六國齊表宋紀年
1632	宋世家	君偃11(←君偃21を10年短縮)	君偃21	自立爲王	322	318	從來→六國齊表宋紀年
1632	宋世家	王偃47(←王偃57を10年短縮)	王偃57	齊湣王與魏楚伐宋殺王偃	286	同左	從來→六國齊表宋紀年王偃43, 王偃43は284齊一時滅亡を王偃45として計算, 284を王偃47とし踰年法により宋世家所載君主卒を使って計算する(春秋昭25<517>まで)と景公64卒(宋世家)が, また284を王偃45とすると景公66卒(六國齊表宋紀年)が得られる
1632	宋世家	王偃47(←王偃57減として10年短縮)	?	滅宋	277以後	286	從來→六國齊表宋紀年王偃43, 秦策四頃襄王十年(277)に陳に遷都(278)後の状況として故宋必盡とあるのでこの時點でなお宋は存続
1685	晉世家	定公37	同左	定公卒出公整立	476	475	從來→六國魏表晉紀年
1685	晉世家	出公17(←趙世家襄子立襄子4~の襄子4が脱落)	出公23	知伯與趙韓魏共分范中行地以爲邑, 出公奔齊哀公驕立	454	457	從來→六國魏表晉紀年出公18, 或曰20(趙世家出公17襄子立襄子4同條, 總20)
1686	晉世家	哀公4	同左(敬哀公4)	趙韓魏殺知伯	451	453	從來→六國魏表晉紀年, 晉世家索隱引竹書紀年作敬公, 索隱に「此乃出公22」とあるのは出公17の4年後という判断
1686	晉世家	哀公18	敬哀公21	哀公卒幽公柳立	434	438	從來→六國魏表晉紀年哀公19
1687	晉世家	幽公15(1年後←幽公14文侯立と踰年即位とで混亂←六國魏表幽公14←魏文侯48卒を10年短縮38卒)	敬哀公18	魏文侯初立	437	424	從來→六國魏表晉紀年幽公14, 或いは晉世家哀公18卒を六國魏表で哀公19卒とする(問題の1年ずれ)ことと關聯か
1687	晉世家	幽公18	同左	盜殺幽公烈公止	417	420	從來→六國魏表晉紀年

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
1687	晉世家	烈公19(←九と七の取り換え←烈侯17←六國魏表←趙世家烈侯6)	烈公15	周威烈王賜趙韓魏皆命爲諸侯	403	同左	従来→六國魏表晉紀年烈侯17(烈侯19は401)
1687	晉世家	烈公27	烈公29	烈公卒孝公順立	389	393	従来→六國魏表晉紀年
1687	晉世家	孝公9	烈公23	魏武侯初立、魏邯鄲不勝而歸	395	386	従来→六國魏表晉紀年孝公7
1687	晉世家	孝公17(←静公27趙武靈王立から誤入か<10年短縮>)	孝桓公39	孝公卒静公立	351	378	従来→六國魏表晉紀年孝公15、趙肅侯1と静公2とが同年(350)→静公2絶不祀を魏恵成王1稱王(と解釋)時點の趙成侯・韓莊公侯の前代に→趙成侯1の前年に静公2(六國魏表晉紀年)→孝公15卒、27をこれに近づけて17とする
1687	晉世家	静公立	孝桓公35	齊威王元年	355	378	従来→六國魏表晉紀年孝公15
1687	晉世家	静公2	→備考	魏武侯韓哀侯趙敬侯滅晉三分其地	備考	376	従来→六國魏表晉紀年、魏武韓哀趙敬が重なるのは379-374、ただし晉世家引竹書紀年によれば孝桓公は21年(369)まで存在するので、これらの君主名は史記の解釋に過ぎない、同竹書紀年(369)趙成侯韓共侯遷桓公於屯留と趙世家肅侯1(350)奪晉君端氏徙処屯留を混同し後者を前者に沿って誤配、趙肅侯1は成侯立とされた(→六國魏表・同表晉紀年・趙表)。
1719	楚世家	恵王16(←十二表六國表←左傳哀22-B)	恵王17	越滅吳	473	同左	
1719	楚世家	恵王42	同左	楚滅蔡	448	447	六國楚表蔡紀年は元侯9卒を3年短縮
1719	楚世家	恵王44	同左	楚滅杞	446	445	
1719	楚世家	恵王57	同左	恵王卒簡王中立	433	432	
1719	楚世家	簡王1	同左	北伐滅莒	433	431	
1719	楚世家	簡王8(←六國表←魏文侯1)	悼王3	魏文侯韓武子趙桓子始烈爲諸侯	403	424	従来→魏文侯1に合わせた。
1720	楚世家	簡王24	同左	簡王卒聲王當立	410	408	
1720	楚世家	聲王6	同左	盜殺聲王悼王熊疑立	405	402	
1720	楚世家	悼王2	同左	三晉來伐楚至乘丘而還	404	400	
1720	楚世家	悼王4	同左	楚伐周鄭殺子陽	402	398	
1720	楚世家	悼王9	同左	伐韓取負黍	397	393	
1720	楚世家	悼王11	同左	三晉伐楚敗我大梁榆關楚厚賂秦與之平	395	391	
1720	楚世家	悼王21	同左	悼王卒肅王臧立	385	381	
1720	楚世家	肅王4	同左	蜀伐楚取茲方	382	377	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1720	楚世家	肅王10	同左	魏取我魯陽	376	371	
1720	楚世家	肅王11	同左	肅王卒宣王熊良夫立	375	370	
1720	楚世家	宣王6(←六國表←秦本紀獻公21)	宣王12	周天子賀秦獻公	364	同左	
1720	楚世家	宣王30(←六國表←秦本紀孝公22)	威王7	秦封封衛鞅於商	340	同左	商君列傳引竹書紀年魏惠成王30(340)封商鞅
1720	楚世家	宣王30	同左	宣王卒威王熊商立	346	340	
1721	楚世家	威王6(←六國表←秦本紀惠文君4)	懷王3	周顯王致文武詐於秦惠王	334	同左	
1721	楚世家	威王7(←六國表←田世家宣王10←宣王と誤解←齊威王10)	威王1	齊田嬰欺楚威王伐齊敗之徐州	346	333	
1721	楚世家	威王11	同左	威王卒懷王熊槐立	336	329	
1721	楚世家	威王11(←六國表←魏世家襄王6←後元年間を襄王在位と誤解←魏惠成王後元6)	懷王8	魏伐楚取陘山	329	同左	魏世家襄王6(329)魏伐楚敗之陘山の方が文意通ず(秦策四楚魏戰於陘山)
1721	楚世家	懷王1(←六國表←秦本紀惠文君10)	懷王9	張儀始相秦惠王	328	同左	
1721	楚世家	懷王4(←六國表←秦本紀惠文君13←稱王は後元年の前年と誤解)	懷王13	秦惠王初稱王	324	325	稱王と後元改元は同時(秦國踰年稱元の最初)
1721	楚世家	懷王6(←六國表←魏世家襄王12←後元年間を襄王在位と誤解←魏惠成王後元12)	懷王15	楚使柱國昭陽將兵而攻魏破之於襄陵	322	323	魏曆(夏正)では323年末、楚建亥曆では322年頭(←包山楚簡)
1722	楚世家	懷王6(←六國表←燕王噲1に合わせる)	懷王11・14	燕韓君初稱王	326・323	320	韓は326,燕は323
1722	楚世家	懷王11(←六國表←秦本紀惠文王7)	懷王19	蘇秦約從山東六國共攻秦楚懷王爲從長	318	同左	六國は秦本紀では韓趙魏燕齊匈奴なので‘山東’は衍字
1723	楚世家	懷王12(←六國表←魏世家哀王2・趙世家武靈王9)	懷王20	齊湣王伐敗趙魏軍秦亦伐敗韓與齊爪爭長	317	同左	魏世家哀王2齊敗我觀津,趙世家武靈王9與韓魏共擊秦秦敗我齊敗我觀津
1723	楚世家	懷王16(←六國表←秦本紀惠王12張儀相楚)	懷王24	秦欲伐齊,楚懷王置相置於張儀	313	同左	
1723	楚世家	懷王17(←六國表←秦本紀惠王13)	懷王25	與秦戰丹陽秦大敗我	312	同左	
1724	楚世家	懷王18(←六國表←秦本紀惠王13置漢中郡の翌年と判断)	懷王26	秦分漢中之半以和楚	311	同左	
1725	楚世家	懷王26	同左	齊湣王惡楚之與秦合	311	20年として309	18・24兩年に挟まれるので20年(六を衍字)とする解釋があるが誤り
1725	楚世家	懷王26	懷王31以後	楚王業已欲和於秦	306以後	20年として309	秦拔宜陽(307魏世家武王4)・秦復歸韓武遂(306韓世家襄王6)が會話中にある(→徐廣注).前段懷王26とは別記事,本來紀年を缺く

戰國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
1727	楚世家	懷王25(←六國表←秦本紀昭襄王3)	懷王33	懷王入與秦昭王盟	304	同左	秦本紀昭襄王3與楚王會黃棘與楚上庸
1727	楚世家	懷王26(←懷王36を10年短縮)	懷王36	齊韓魏共伐楚 楚使太子入質於秦而請救	301	303	
1727	楚世家	懷王27(←懷王37を10年短縮)	懷王37	楚太子亡歸	300	302	
1727	楚世家	懷王28(←懷王38を10年短縮)	懷王38	秦乃與齊韓魏共伐楚殺楚將唐昧	299	301・299	秦本紀昭襄王8(299)取唐昧 魏世家・韓世家は楚懷王29を転寫(301)
1727	楚世家	懷王29(←懷王39を10年短縮)	懷王39	秦大破楚殺景缺	298	300	秦本紀昭襄王9(298)殺景缺
1727	楚世家	懷王30(←懷王40を10年短縮)	懷王40	秦復伐楚取八城 會秦昭王 秦留懷王	297	299	秦復伐楚取八城は前年の事を誤入
1728	楚世家	懷王	懷王41	立頃襄王横	296	298	秦本紀昭襄王11(296)懷王即死歸葬
1729	楚世家	頃襄王1(←六國表←秦本紀昭襄王9)	懷王39	大敗楚軍	298	同左	秦本紀昭襄王9(298)攻楚取八城
1729	楚世家	頃襄王2(←六國表←秦本紀昭襄王10)	懷王40	楚懷王亡逃歸秦覺之遂復之秦	297	同左	
1729	楚世家	頃襄王3(←六國表←秦本紀昭襄王11)	頃襄王1	懷王卒于秦秦歸其喪于楚	296	同左	
1729	楚世家	頃襄王6(←六國表←秦本紀昭襄王14)	頃襄王4	秦使白起伐韓於伊闕	293	同左	
1729	楚世家	頃襄王11(←六國表←秦本紀昭襄王19)	頃襄王9	齊秦各自稱帝月餘復歸帝爲王	288	同左	
1729	楚世家	頃襄王14(←六國表←秦本紀昭襄王22)	頃襄王12	頃襄王與秦昭王會于宛結和親	285	同左	
1729	楚世家	頃襄王15(←六國表←秦本紀昭襄王23)	頃襄王13	楚王與秦三晉共伐齊取淮北	284	同左	秦本紀には取淮北なし
1730	楚世家	頃襄王16(←六國表←秦本紀昭襄王24)	頃襄王14	與秦昭王好會於郢其秋復會穰	283	同左	
1730	楚世家	頃襄王18	同左	頃襄王問 秦來伐楚	279	281	會話中に楚之故地漢中析郢・右臂傳楚郢鄢とある→秦本紀昭襄王27(280)拔楚黔中の後で同28(279)取郢鄢の前
1735	楚世家	頃襄王19(←六國表←秦本紀昭襄王27)	頃襄王17	秦伐楚 與漢北地予秦	280	同左	秦本紀昭襄王27拔楚黔中
1735	楚世家	頃襄王20(←六國表←秦本紀昭襄王28)	頃襄王18	秦白起拔我西陵	279	同左	秦本紀昭襄王28取郢鄢
1735	楚世家	頃襄王21(←六國表←秦本紀昭襄王29)	頃襄王19	秦白起拔我郢	278	同左	
1735	楚世家	頃襄王22(←六國表←秦本紀昭襄王30)	頃襄王20	秦拔我巫黔中郡	277	同左	
1735	楚世家	頃襄王23(←六國表←秦本紀昭襄王31)	頃襄王21	襄王收東地兵復西取秦所拔我江旁十五邑以爲郡距秦	276	同左	秦本紀昭襄王31楚人反我江南
1735	楚世家	頃襄王27	同左	助三晉伐燕	270	272	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1735	楚世家	頃襄王36	同左	頃襄王卒考烈王熊元立	261	263	
1735	楚世家	考烈王	頃襄王33	春申君爲令尹	264	262	六國楚表262(頃襄王1)春申君列傳相楚8年滅魯(257→264)
1735	楚世家	頃襄王27	同左	助三晉伐燕	270	272	
1736	楚世家	考烈王1	同左	納州于秦以平	261	262	
1736	楚世家	考烈王6(←六國表←秦本紀昭襄王50年10月)	考烈王5	秦圍邯鄲景陽救趙	257	同左	趙世家孝成王8(258)秦圍邯鄲は趙曆夏正、秦頌項曆・楚建亥曆では257年頭
1736	楚世家	考烈王7	同左	至新中新兵去	255	256	
1736	楚世家	考烈王16(←六國表表莊襄王3←秦本紀莊襄王4)	考烈王15	秦莊襄王卒王趙政立	247	同左	
1736	楚世家	考烈王22(←六國表←始皇本紀6)	考烈王21	與諸侯共伐秦不利而去	241	同左	
1736	楚世家	考烈王22	同左	東徙都壽春命日郢	240	241	
1736	楚世家	考烈王25	同左	考烈王卒幽王悍立、殺春申君	237	238	
1736	楚世家	幽王3	同左	秦魏伐楚	235	同左	
1736	楚世家	幽王3(←六國表←始皇本紀12)	同左	秦相呂不韋卒	235	同左	
1736	楚世家	幽王9	同左	秦滅韓	229	230	韓世家王安9(230)秦滅之は韓曆夏正年未、楚建亥曆では翌年229頭→始皇本紀17(230)に攻韓の後に滅韓が續くが、滅韓は楚と同じく翌年頭であろう
1736	楚世家	幽王10	同左	幽王卒哀王猶立2月餘所殺、王負芻立	228	同左	哀王猶立2月餘は2年餘の誤、或いは年未～年頭
1736	楚世家	幽王10(←六國表←始皇本紀19)	同左	秦虜趙王遷	228	同左	
1736	楚世家	王負芻1(←六國表←始皇本紀20)	同左	燕太子丹使荊軻刺秦王	227	227	
1736	楚世家	王負芻2	同左	秦大破楚軍	226	同左	
1736	楚世家	王負芻3(←六國表←始皇本紀22)	同左	秦滅魏	225	同左	
1737	楚世家	王負芻4	同左	秦將王翳破我軍於斷	224	同左	始皇本紀23(223)王翳擊荆は同内容だが、昌平君の解釋を誤る
1737	楚世家	王負芻5	同左	秦將王翳蒙武破楚	223	同左	始皇本紀24(223)王翳蒙武攻荆は同内容だが、昌平君については解釋を誤りずれる(昭襄王25<222>に見える越君が昌平君であろう)、項燕自殺はずれずこの年

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1737	越世家	王負芻4	昌平君1	殺項燕	223	224	始皇本紀24(223)項燕自殺はこの年(ただし昌平君を立てた年に戦死,翌年昌平君が所虜死といのを王負芻5所虜の前年に誤ったもの),六國楚表は越世家王負芻4を寫し實を失う
1745	越世家	句踐	句踐7	其後4年越復伐呉	475	同左	左傳哀20-C
1745	越世家	句踐	句踐9	因圍之3年呉師敗	473	同左	左傳哀22-B
1745	越世家	句踐	句踐9~10?	與齊晉諸侯會於徐州致貢於周周元王賜句踐胙	473~472?	同左	周元王在位479~472.この間左傳に左記の記載なし
1747	越世家	句踐	句踐15	句踐卒	467	?	越世家索隱引竹書紀年晉出公10年11月於粵子句踐卒是姦執
1747	越世家	王麴與	王麴與1	王麴與立	461	?	越世家索隱引竹書紀年次鹿郢立6年卒(467-461)の後に王麴與立を考える(朱勾年次から遡って生じる空白に挿入)
1747	越世家	王麴與	王麴與6	王麴與卒王不壽立	456	?	越世家索隱引竹書紀→
1747	越世家	王不壽	王不壽10	王不壽卒王翁立	447	?	越世家索隱引竹書紀不壽立10所殺(踰年法解釋,454兩年)
1747	越世家	王翁	王翁(朱勾)36	王翁卒王翳立	412	?	越世家索隱引竹書紀朱勾37卒(踰年法解釋,434・417兩年)
1747	越世家	王翳	王翳36	王翳卒	377	?	越世家索隱引竹書紀36年7月所弑(踰年法解釋,395兩年)
1747	越世家	王之侯	王之侯1	王之侯立	?	?	王之侯を誰に比定するか,決め手に缺ける.下記越絶書・呉越春秋に記載される之侯とすれば,代次の混亂が著しい
1747	越世家	王之侯	王之侯?	王之侯卒	?	?	王翳の後については,越世家索隱引竹書紀年に7月其君翳,10月殺諸咎,立乎錯枝爲君,明年立初無余之,12年弑其君莽安次無頡立,無頡8薨とある(略)
1747	越世家	王無疆	王無疆11	起師伐齊,遂伐楚	346	備考	從來は周顯王46(徐廣,六國表323),楚懷王23以前(黃以周,六國表306以前)等楚懷王の時と讀み替える見解の他,六國表楚威王在位中の伐徐州(威王7闢齊于徐州,六國表333)から始めて議論されてきた(前年の334とする).越世家索隱引竹書紀年無頡薨後10年(346)楚伐徐州が問題の伐徐州と判斷する.無疆を無頡の次とする

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1747	越世家	不明	備考	越以此散諸族子爭立或爲王或爲君			“濱於江南海上服朝於楚”は越世家の解釋。しかし河水注引竹書紀年に魏襄王7(312)越王使公師隅來獻とあり、齊策五蘇子說閔王曰に趙氏兼中山(297)・宋越專用其兵、楚策一張儀爲楚破從連橫に黔中巫郡非王之有已(280以後)・且大王嘗與吳(吳に居在する越)人五戰三戰而亡之とあるので、江南の本據は破られ、かつ魏に遣使できる位置に勢力を保つ、越絶書吳地傳に楚考烈王并越於瑯邪後40余年秦并楚がこれを示そう。越絶書外傳記地傳と吳越春秋に越の世系が示され(名に異同あり代次同じ)、無疆の名がある。越世家秦隱引竹書紀年による世系で彼の三代前の孚錯枝の在位2年が、吳越春秋にいう無疆の三代前の興夷の在位に等しい。これから以下の系譜が想定できる。孚錯枝(興夷<越絶>興夷)-諸無餘之(王翁)-無頤(不揚)-無疆-之侯-尊-親。この系譜は上記の滅越記事に矛盾しない
1775	鄭世家	聲公22(←十二表←陳湑公25を23と誤讀<五と三の字形>)	聲公24	楚惠王滅陳	478	同左	十二陳表は湑公25滅を23滅と誤る、左傳哀17-D
1775	鄭世家	聲公22(←十二表←春秋・左傳哀16-3)	聲公23	孔子卒	479	同左	
1775	鄭世家	聲公36	同左	晉知伯伐鄭取九邑	466	464	從來→六國韓表鄭紀年聲公37、趙世家晉出公11は同内容だが取九邑なし
1776	鄭世家	聲公37	聲公42	聲公卒哀公易立	460	463	從來→六國韓表鄭紀年聲公38
1776	鄭世家	哀公8	同左	哀公所弑共公丑立	453	454	從來→六國韓表鄭紀年
1776	鄭世家	共公3	同左	三晉滅知伯	451	452	從來→六國韓表鄭紀年、趙魏表等453
1776	鄭世家	共公31	同左	共公卒幽公已立	423	424	從來→六國韓表鄭紀年
1776	鄭世家	幽公1	同左	韓武子伐鄭殺幽公、繆公貽立	423	同左	從來→六國韓表鄭紀年
1776	鄭世家	繆公15	同左	韓景侯伐鄭取雍丘、鄭城京	409	408	從來→六國韓表鄭紀年、韓景侯は韓武子の誤、韓世家景侯1同條の方が元の可能性もあるが、鄭世家のみに鄭城京の記事があるのでこちらを採用
1776	鄭世家	繆公16	同左	鄭伐韓敗於負黍	408	407	從來→六國韓表鄭紀年、→繆公15、景侯即位時か
1776	鄭世家	繆公20(←六國韓表鄭紀年←趙世家烈侯6)	幽公23	韓魏趙烈爲諸侯	401	403	從來→六國韓表鄭紀年、



戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1776	鄭世家	繻公23	同左	鄭簡韓之陽翟	401	400	從來→六國韓表鄭紀年
1776	鄭世家	繻公25	同左	鄭君殺其相子陽	399	398	從來→六國韓表鄭紀年
1776	鄭世家	繻公27	同左	幽公所弑君乙立	397	396	從來→六國韓表鄭紀年。徐廣によれば幽公弟乙陽。鄭君陽、康公乙が鄭君乙について問題となる。史記に“立”を言う時は要注意なのでここは鄭滅亡年次21を重視し康公乙(鄭君乙)と鄭君陽の兩者とみなす
1776	鄭世家	鄭君乙2	同左(康公2)	鄭負黍反復歸韓	396	395	從來→六國韓表鄭紀年。康公乙は3年卒か
1776	鄭世家	鄭君乙11(←六國韓表鄭紀年←韓世家文侯2)	鄭君陽9	韓伐鄭取陽城	387	385	從來→六國韓表鄭紀年
1776	鄭世家	鄭君乙21	鄭君陽21	韓哀侯滅鄭	375	同左	從來→六國韓表鄭紀年、ただし配列は21年だが説明に20年とある
1793	趙世家	晉出公11	同左	知伯伐鄭、趙簡子疾	466	464	從來→六國魏表晉紀年
1793	趙世家	晉出公17(←六國表←襄子4を踰年法年次として前宗主簡子卒に遡る)	晉出公19	簡子卒襄子母即立	457	458	從來→六國魏表晉紀年。六國表所示の襄子1は踰年法年次
1793	趙世家	襄子1	晉出公2	越圍御襄子降喪食	475	474・457	左傳哀20・C(475)の趙孟を襄子と誤る(實は簡子)。この時に問題となっている喪は前年卒の晉定公のもの。從來西曆は定公卒に合わせれば474、襄子1なら458。襄子繼位の次第はそのまま襄子
1794	趙世家	襄子4	同左	分苑中行故地	455	454	從來→六國趙表は分苑中行故地を襄子4
1974	趙世家	襄子4	襄子5	出公出奔	454		殺知伯を翌年とする。
1974	趙世家	襄子4	襄子8	三月丙戌滅知伯	451		三月丙戌は觀象授時曆で451に合致(西曆451.4.8)
1794	趙世家	襄子33	同左	襄子卒桓子自立迎立獻侯浹	426	425・424	從來→襄子卒(425)、桓子卒(424)
1797	趙世家	獻侯10	同左	中山武公初立	417	414	
1797	趙世家	獻侯13	同左	城平邑	414	411	河水注等引竹書紀年晉烈公4趙城平邑
1797	趙世家	獻侯15	獻侯19	獻侯卒烈侯籍立	408	409	
1797	趙世家	烈侯1	同左	魏文侯伐中山	408	同左	
1797	趙世家	烈侯6	同左	韓魏趙爲諸侯	403	同左	
1798	趙世家	烈侯9	同左	烈侯卒武公立、敬侯立	395	399・386	武公立は中山武公を誤入、實は敬侯立。從來西曆武公立(399)、敬侯立(386)
1798	趙世家	敬侯1	同左	魏文侯卒	395	387	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1798	趙世家	敬侯1	同左	武公子朝作亂,趙初都邯鄲	395	386	武公は中山武公か、烈侯9武公13卒は武公卒13(→烈侯1<408>)であろう、世本に言う桓公復國が關聯か
1798	趙世家	敬侯2	同左	敗齊于靈丘	394	385	
1798	趙世家	敬侯3	同左	救魏于廩丘大敗齊人	393	384	
1798	趙世家	敬侯4	同左	魏敗我免臺築剛平以犯衛	392	383	
1798	趙世家	敬侯5	同左	齊魏爲衛攻趙取我剛平	391	382	
1798	趙世家	敬侯6	同左	借兵於楚伐魏取棘蒲	390	381	
1798	趙世家	敬侯8	同左	伐魏黃城	388	379	
1798	趙世家	敬侯9	同左	伐齊齊伐燕趙救燕	387	378	
1798	趙世家	敬侯10	同左	與中山戰于房子	386	377	
1799	趙世家	敬侯11(←趙表←六國魏表晉紀年←晉世家靜公2)	肅侯17	韓魏趙共滅晉	334	376	
1799	趙世家	敬侯11	同左	伐中山戰中人	385	376	この時までには中山は復國(→烈侯1<408>)
1799	趙世家	敬侯12	敬侯22	敬侯卒成侯稱立	374	375	
1799	趙世家	成侯1	同左	公子勝爲亂	374	同左	
1799	趙世家	成侯2	同左	六月雨雪	373	同左	
1799	趙世家	成侯3	同左	大戊午爲相伐衛	372	同左	
1799	趙世家	成侯4	同左	與秦戰高安敗之	371	同左	
1799	趙世家	成侯5	同左	伐齊于鄆,魏敗我懷攻鄭,敗之以與韓,韓與我長子	370	同左	
1799	趙世家	成侯6	同左	中山築長城,伐魏敗濠澤圍魏惠王	369	同左	
1799	趙世家	成侯7	同左	侵齊至長城,與韓攻周	368	同左	
1799	趙世家	成侯8	同左	與韓分周爲兩	367	同左	
1799	趙世家	成侯9	同左	與齊戰阿下	366	同左	
1799	趙世家	成侯10	同左	攻衛取甄	365	同左	
1799	趙世家	成侯11	同左	秦攻魏,趙救之石阿	364	同左	
1799	趙世家	成侯12	同左	秦攻魏少梁	363	同左	
1799	趙世家	成侯13	同左	秦庶長國伐魏少梁虜其太子痤,魏敗我滄取皮牟,成侯與韓昭侯遇當	362	同左	
1800	趙世家	成侯14	同左	與韓攻秦	361	同左	
1800	趙世家	成侯15	同左	助魏攻齊	360	同左	

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
1801	趙世家	成侯16	同左	與韓魏分晉封晉君以端氏	359	同左	分晉とあるから晉公を魏とは別に立てた可能性もある(ただし後に端氏の晉公を奪う→肅侯1<350>)
1801	趙世家	成侯17	同左	成侯與魏惠王遇葛孽	358	同左	
1801	趙世家	成侯19	同左	與齊宋會平陸,與燕會阿	356	同左	
1801	趙世家	成侯20	同左	魏獻榮椽	355	同左	
1801	趙世家	成侯21	同左	魏圍我邯鄲	354	同左	
1801	趙世家	成侯22	同左	魏圍我邯鄲,齊敗魏於桂陵	353	同左	
1801	趙世家	成侯24	同左	魏歸我邯鄲與魏盟漳水上,秦攻我蘭	351	同左	
1801	趙世家	成侯25	同左	成侯卒肅侯立,公子緜奔韓	350	同左	
1801	趙世家	肅侯1	同左	奪晉君端氏徙処屯留	350	349	屯留は趙の勢力下であったり(→成侯5<370>),韓の勢力下であったり(濁漳水注等引竹書紀年恵成王12<358>鄭取屯留長子)した。端氏は魏邑であろう,この段階でなお晉公が存在
1801	趙世家	肅侯2	同左	與魏惠王過於陰晉,公子范襲邯鄲	349	348	
1801	趙世家	肅侯3	同左	公子范襲邯鄲	348	347	
1802	趙世家	肅侯4	同左	朝天子	347	346	
1802	趙世家	肅侯6	同左	攻齊拔高唐	345	344	
1802	趙世家	肅侯7	同左	公子刻攻魏首垣	344	343	
1802	趙世家	肅侯11	同左	秦孝公使商君伐魏虜公子卬,趙伐魏	340	339	魏表340
1802	趙世家	肅侯12(←六國表←秦孝公24)	肅侯13	秦孝公卒商君死	338	同左	
1802	趙世家	肅侯15	同左	起壽陵	336	335	
1802	趙世家	肅侯15(←六國表←魏恵成王36)	肅侯16	魏恵成王卒	335・319	335	ただし魏恵成王後元年次を襄王年次と誤解,實際の恵成王死去は319
1802	趙世家	肅侯16	同左	肅侯游大陵	335	334	
1802	趙世家	肅侯17	同左	圍魏黃不克築長城	334	333	
1803	趙世家	肅侯18	同左	齊魏伐我我決河水灌之	333	332	
1803	趙世家	肅侯22(←六國表←秦恵文君10)	肅侯21	張儀相秦	328	同左	
1803	趙世家	肅侯22	同左	趙疵與秦戰敗秦殺疵取蘭離石	329	328	
1803	趙世家	肅侯23	同左	韓舉與齊魏戰死于桑丘	328	327	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1803	趙世家	肅侯24	肅侯26	肅侯卒秦楚燕齊魏會葬,武靈王立	325	326	
1803	趙世家	武靈王1	同左	陽文君趙豹相,梁襄王與太子嗣韓宣王與太子倉來朝信宮	324	325	
1803	趙世家	武靈王3	同左	城郟	322	323	
1803	趙世家	武靈王5	同左	娶韓女	320	321	
1804	趙世家	武靈王8	同左	韓擊秦不勝而去	317	318	五國稱王趙獨否は史記の解釋. 燕策一燕王噲既立條に燕王噲3與楚三晉攻秦不勝而還とあるのが同年の記事なので、曰無其實敢処其名乎は“揃いも揃って王とは名ばかりだ”と非難したものだろう。五國は秦を攻めた韓魏齊燕楚のこと、いずれもすでに稱王。趙稱王は武靈王1(324)
1804	趙世家	武靈王9(←六國表←秦本紀7を同8張儀相秦に繋げて8年とする)	武靈王8	與韓魏共擊秦秦敗我斬首八萬二千	317	同左	
1804	趙世家	武靈王9	同左	齊敗我觀澤	316	317	田世家湣王7(313)與宋攻魏を誤解の可能性もある
1804	趙世家	武靈王10(←六國表←秦本紀秦本紀惠文王9)	武靈王9	秦取我中都及西陽	316	同左	
1804	趙世家	武靈王10	同左	齊破燕燕相子之爲臣	315	316	
1804	趙世家	武靈王11	同左	王召公子職於韓立以燕王	314	315	
1804	趙世家	武靈王13(←六國表←秦本紀惠文王12)	武靈王12	秦拔我蘭陽趙莊	313	同左	
1804	趙世家	武靈王13	同左	楚魏王來	312	313	
1804	趙世家	武靈王14	同左	趙何攻魏	311	312	
1804	趙世家	武靈王16	同左	秦惠王女孟姚爲惠后	309	311	秦惠王卒は312武靈王13(魚世家平公12<312>)に同事件あり秦惠文王後元14の前年未,趙曆夏正でも前年312未).誤配
1804	趙世家	武靈王16	同左	王遊大陵	309	310	
1805	趙世家	武靈王17	同左	王出九門爲野臺以	308	309	
1805	趙世家	武靈王18	同左	秦武王與孟說舉龍文亦鼎絕續而死	307	308	秦本紀六國秦表武王4(307)とずれ
1805	趙世家	武靈王19	同左	大朝信宮,略中山之地北至無窮西至河	306	307	
1811	趙世家	武靈王20	同左	略中山之地至寧霞西略胡地至榆中,林胡王獻馬,使樓緩之秦仇液之韓王賁之楚富丁之魏趙爵之齊代相趙固主胡致其兵	305	306	

戰國紀年再構成に關する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1811	趙世家	武靈王21	同左	攻中山	304	305	
1811	趙世家	武靈王23	同左	攻中山	302	303	
1811	趙世家	武靈王25	同左	惠后卒,使周招服 傅王子何	300	301	
1811	趙世家	武靈王26	同左	攻中山攘地北至緣 代西至雲中九原	299	300	
1812	趙世家	武靈王27	同左	五月戊申大朝於東 宮傳國立王子何以 爲王	298	299	西曆前288.4.14(5月朔),前年 (→趙表)は不合
1813	趙世家	惠文王2	同左	主父出代西遇樓煩 王御西河而致其兵	297	同左	
1813	趙世家	惠文王3	同左	滅中山遷其王於膚 施起靈壽	296	同左	
1815	趙世家	惠文王4	同左	朝群臣安陽君來朝, 主父與廢太子章俱 死	295	同左	
1816	趙世家	惠文王5	同左	與燕鄒易	294	同左	
1816	趙世家	惠文王8	同左	城南行唐	291	同左	
1816	趙世家	惠文王9	同左	趙梁將與齊合軍攻 韓至魯關下	290	同左	
1816	趙世家	惠文王10	同左	秦自置爲西帝	289	同左	秦本紀昭襄王19(288)は顯項 曆翌年頭3ヶ月,趙惠文王10は 趙曆夏正年未3ヶ月
1816	趙世家	惠文王11	同左	董叔與魏氏伐宋得 河陽於魏,秦取梗 陽	288	同左	秦本紀昭襄王19(288)は顯項 曆翌年頭3ヶ月,趙惠文王10は 趙曆夏正年未3ヶ月
1816	趙世家	惠文王12	同左	趙梁將攻齊	287	同左	
1816	趙世家	惠文王13	同左	韓徐爲將攻齊,公 主死	286	同左	
1816	趙世家	惠文王14	同左	相國樂毅將趙秦韓 魏燕攻齊取靈丘與 秦中陽	285	同左	
1816	趙世家	惠文王15	同左	燕昭王來見趙與韓 魏秦共擊齊齊王敗 走燕獨深入取臨菑	284	同左	
1817	趙世家	惠文王16	同左	秦復與數擊齊,王 與燕王遇,廉頗將 攻齊昔陽取之	283	同左	
1820	趙世家	惠文王17	同左	樂毅將趙師攻魏伯 陽,伐趙拔兩城	282	同左	
1820	趙世家	惠文王18	同左	秦拔我石城,王再 之衛東陽決河水伐 魏氏,大潦漳水出, 魏月來相趙	281	同左	
1820	趙世家	惠文王19	同左	秦取我二城,趙與 魏伯陽,趙奢攻齊 麥丘取之	280	同左	
1820	趙世家	惠文王20	同左	廉頗將攻齊,王與 秦昭王遇西河外	279	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1821	趙世家	惠文王21	同左	趙徙漳水武平西	278	同左	
1821	趙世家	惠文王22	同左	大疫置公子丹爲太子	277	同左	
1821	趙世家	惠文王23	同左	樓昌將攻魏幾不能取,十二月廉頗將攻幾取之	276	同左	
1821	趙世家	惠文王24	同左	廉頗將攻魏房子拔之因城而還又攻安陽取之	275	同左	
1821	趙世家	惠文王25	同左	燕周將攻昌城高唐取之與魏共擊秦將白起破我華陽	274	同左	
1821	趙世家	惠文王26	同左	東胡歐代地	273	同左	
1821	趙世家	惠文王27	同左	徙漳水武平南封趙豹爲平陽君河水出大潦	272	同左	
1821	趙世家	惠文王28	同左	藺相如齊至平邑,罷城北九門大城,燕將成安君公孫操弑其君王	271	同左	
1822	趙世家	惠文王29	同左	秦韓相攻而圍關與,趙使趙奢將擊秦大破秦軍關與下賜號爲馬服君	270	同左	
1822	趙世家	惠文王33	同左	惠文王卒	266	同左	
1822	趙世家	孝成王1	同左	秦伐我拔三城	265	同左	
1824	趙世家	孝成王1	同左	齊安平君田單將趙師而攻燕中陽拔之	265	同左	
1824	趙世家	孝成王2	同左	惠文后卒,田單相	264	同左	
1824	趙世家	孝成王4	同左	王夢衣偏袷之衣,韓氏上黨守馮亭使者至,趙遂發兵取上黨廉頗將軍軍長平	262	同左	
1826	趙世家	孝成王7	同左	廉頗免而趙括代將秦人圍趙括軍降卒四十餘萬皆坑之,秦圍邯鄲,封楚春申君	259	同左	秦本紀が昭襄王47~48を47にまとめるのを趙表はそのまま轉寫し孝成王6(260)とする
1827	趙世家	孝成王8	同左	平原君如楚請救楚來救魏公子無忌亦來救秦圍邯鄲乃解	258	同左	
1827	趙世家	孝成王10	同左	燕攻昌壯五月拔之趙樂乘慶舍攻秦信梁軍破之,太子死,秦攻西周拔之徒父祺出	256	同左	
1827	趙世家	孝成王11	同左	城元氏縣上原武陽君鄭安平死取其地	255	同左	

戰國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1827	趙世家	孝成王12	同左	邯鄲冶燒	254	同左	
1827	趙世家	孝成王14	同左	平原君趙勝死	252	同左	
1828	趙世家	孝成王15	同左	封廉頗爲信平君, 燕丞相栗腹將而攻鄆, 卿秦將攻代, 廉頗爲趙將破殺栗腹, 虜卿秦樂間	251	同左	
1828	趙世家	孝成王16	同左	廉頗圍燕以樂乘爲武城君	250	同左	
1828	趙世家	孝成王17	同左	假相大將武襄君攻燕圍其國	249	同左	
1828	趙世家	孝成王18	同左	延陵鈞卒師從相國信平君助魏攻燕, 秦拔我榆次三十七縣	248	同左	
1829	趙世家	孝成王19	同左	趙與燕易土以龍兌汾門臨樂與燕燕以葛武陽平舒與趙	247	同左	
1829	趙世家	孝成王20	同左	秦王政初立, 秦拔我晉陽	246	同左	始皇本紀1(246)晉陽反とある
1829	趙世家	孝成王21	同左	孝成王卒, 廉頗將攻繁陽取之, 使樂乘代之, 廉頗攻樂乘樂乘走, 廉頗亡入魏, 子偃立是爲悼襄王	245	同左	
1830	趙世家	悼襄王1	同左	大備魏欲通平邑中車之道不成	244	同左	
1830	趙世家	悼襄王2	同左	李牧將攻燕拔武遂方城, 秦召春平君因而留之, 城韓舉	243	同左	
1831	趙世家	悼襄王3	同左	龐煖將攻燕禽其將劇辛	242	同左	
1831	趙世家	悼襄王4	同左	龐煖將趙楚魏燕之銳師攻秦崧不拔移攻齊取饒安	241	同左	
1831	趙世家	悼襄王5	同左	傅抵居平邑, 慶舍將東陽河外師守河外師守河梁	240	同左	
1831	趙世家	悼襄王6	同左	封長安君以饒魏與趙鄴	239	同左	
1831	趙世家	悼襄王9	同左	趙攻燕取狸陽城, 秦攻鄴拔之, 悼襄王卒幽繆王遷立	236	同左	
1831	趙世家	幽繆王1	同左	城柏人	235	同左	
1831	趙世家	幽繆王2	同左	秦攻武城扈輒率師救之軍敗死焉	234	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1832	趙世家	幽繆王3	同左	秦攻赤麗宜安李牧率師與戰肥下卻之封牧爲武安君	233	同左	
1832	趙世家	幽繆王4	同左	秦攻番吾李牧與之戰卻之	232	同左	
1832	趙世家	幽繆王5	同左	代地大動自樂徐以西北至平陰	231	同左	
1832	趙世家	幽繆王6	同左	大饑	230	同左	
1832	趙世家	幽繆王7	同左	秦人攻趙趙大將李牧將軍司馬尚擊之李牧誅司馬尚免趙忽及齊聚代之趙忽軍破顔聚亡去以王遷降	229	同左	以王遷降は趙曆夏正本年末始皇本紀19得趙王は顯項曆翌年頭→幽繆王8年10月邯鄲爲秦は秦顯項曆の年月趙曆夏正では7年10月の誤りであろう(秦表からの轉寫)
1833	趙世家	幽繆王8	幽繆王7	十月邯鄲爲秦	229	228	→幽繆王7.六國表の代王の年次は226を元年とする(秦顯項曆との相違を考慮せず)ので1年ぶつずれる
1837	魏世家	魏桓子	同左	與韓康子趙襄子滅知伯	451	453	
1838	魏世家	文侯1(←六國表)	文侯16	秦靈公1	427	424	魏文侯1(文子1)は秦靈公2文侯6(稱侯)は同7與韓武子趙桓子周威烈王は全員が一時には在位しない
1838	魏世家	文侯6(←文侯稱侯16を10年短縮)	文侯21稱侯16	城小梁	422	419	秦本紀靈公6(422魏文侯稱侯16)晉城小梁秦擊之
1838	魏世家	文侯13(←文侯稱侯23を10年短縮)	文侯28稱侯23	使子擊圍繁龐出其民	415	412	文侯6・16條を参照
1838	魏世家	文侯16(←文侯稱侯26を10年短縮)	文侯26	伐秦臨晉元里	412	409	秦本紀簡公6(411)涇洛城重泉に關聯か
1838	魏世家	文侯17(←六國表←趙烈侯1)	文侯35	伐中山守子擊守之	408	同左	
1839	魏世家	文侯22(←六國表←趙世家烈侯6)	文侯40	魏趙韓列爲諸侯	403	同左	
1839	魏世家	文侯24(←文侯34を10年短縮)	文侯34	秦伐我至陽狐	409	401	
1839	魏世家	文侯25(←文侯35を10年短縮)	文侯35	子擊生子啓	408	400	
1841	魏世家	文侯26(←文侯36を10年短縮)	文侯36	魏山崩壅河	407	399	
1841	魏世家	文侯32(←文侯42を10年短縮)	文侯42	伐鄭城酸棘敗秦于注	401	393	
1841	魏世家	文侯35(←文侯45を10年短縮)	文侯45	齊伐取我襄陵	398	390	
1841	魏世家	文侯36(←文侯46を10年短縮)	文侯46	秦侵我隱晉	397	389	
1841	魏世家	文侯38(←文侯48を10年短縮)	文侯48	伐秦敗我武下得其將讖	395	387	
1841	魏世家	文侯38(←文侯48を10年短縮)	文侯48	文侯卒武侯擊立	395	387	
1841	魏世家	武侯1	同左	趙敬侯初立公子朔爲亂奔魏	395	386	



戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1842	魏世家	武侯2(←六國魏表晉紀年←晉孝桓公8)	武侯14	城安邑王垣	382	385	晉本紀孝公8には當該記事はない。六國魏表で晉孝公8は魏武侯2,晉孝公8は實は魏武侯14だが,魏世家秦陰引竹書紀年魏武侯14に城洛陽及安邑王垣とあるので,晉孝公8が何らかの都合で消滅したと見なす
1842	魏世家	武侯7(←六國魏表←六國齊表姜齊康公25←田世家桓公5)	武侯24	伐齊至桑丘	372	380	
1842	魏世家	武侯9	同左	翟敗我于滄,使吳起伐齊	387	378	
1842	魏世家	武侯9(←六國表←田世家威王1)	惠成王15(踰年法14)	齊威王初立	356	378	田侯因齊1立(356),稱王(338)。六國表の解釈は前者
1842	魏世家	武侯11(←六國魏表←六國魏表晉紀年←晉世家靜公2)	惠成王21(踰年法20)	與韓趙三分晉地滅其後	350	376	
1842	魏世家	武侯13	同左	秦獻公縣櫟陽	383	374	
1842	魏世家	武侯15	同左	敗趙北蘭	381	372	
1842	魏世家	武侯16(←六國表←楚世家肅王10)	武侯20	伐楚取魯陽	376	371	取りあえず魏武侯17-26に附帶する事件はないもの(それゆえ趙世家が年次を削除)と見なしておく。楚世家が元なら380→楚肅王6
1842	魏世家	武侯16(←武侯26を10年短縮)	武侯26	武侯卒惠王咎立	370	同左	
1842	魏世家	惠王立	惠成王(侯)1	與公中緩爭爲太子	370	同左	魏世家秦陰引竹書紀年武侯1封公子緩
1843	魏世家	惠王2(←惠王元年を誤る<元と二の字形>)	惠成王(侯)1	魏敗韓于馬陵敗趙于懷	370	369	馬陵・懷兩戰を同年とするのは魏世家のみ。六國表で趙成侯5魏敗我懷とずれる。趙成侯5が正しいとすると,この年(370)は魏惠成王元年・韓共懿侯五年。それぞれ史記が読み替えた(元→二,五→二)とするとつじつまが合う
1844	魏世家	惠王3	同左(惠成王<侯>3・踰年法2)	齊敗我觀	368	同左	河水注引竹書紀年梁惠成王2(踰年法年次)圍觀觀降
1844	魏世家	惠王5	同左(惠成王<侯>5)	與韓會宅陽,城武堵	366	同左	
1844	魏世家	惠王6	同左(惠成王<侯>6)	伐取宋儀臺	365	同左	
1844	魏世家	惠王9	同左(惠成王<侯>9)	伐敗韓于滄,與秦戰少梁虜我將公孫雍取廩	362	同左	趙世家成侯13(262)魏敗我■
1844	魏世家	惠王9(←魏表←六國秦表獻公23)	惠成王10(惠成王<侯>9)	秦獻公卒孝公立	361	362	六國表魏惠王9秦獻公23(362)卒,秦本紀獻公24卒

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1844	魏世家	惠王10	同左(惠成王<侯>9)	趙趙皮牟彗星見	361	362	趙世家成侯13(362)魏取皮牟九と十の字形
1844	魏世家	惠王12	同左(惠成王<侯>12)	星晝墜有聲	360	同左	
1844	魏世家	惠王14	同左(惠成王<侯>14)	與趙會鄙	357	同左	
1844	魏世家	惠王15	同左(惠成王<侯>15(踰年法14))	魯衛宋鄭君來朝	356	同左	魏世家索隱竹書紀年梁惠成王14(踰年法年次)同内容
1844	魏世家	惠王16	同左(惠成王<侯>16)	與秦孝公會社平, 侵宋黃池宋復取之	355	同左	
1845	魏世家	惠王17	同左(惠成王<侯>17)	與秦戰元里, 秦取少梁, 圍趙邯鄲	354	同左	
1845	魏世家	惠王18	同左(惠成王<侯>18・踰年法17)	拔邯鄲, 齊敗魏桂陵	353	同左	孫子列傳索隱等引竹書紀年梁惠成王17(踰年法年次)齊敗梁于桂陵
1845	魏世家	惠王19	同左(惠成王<侯>19・踰年法18)	諸侯圍我襄陵, 築長城塞固陽	352	同左	淮水注引竹書紀年梁惠成王18(踰年法年次)以韓師敗諸侯師于襄陵
1845	魏世家	惠王20	同左(惠成王<侯>20)	歸趙邯鄲與盟	351	同左	
1845	魏世家	惠王21	同左(惠成王<侯>21)	與秦會彤	350	同左	
1845	魏世家	惠王28(←六國表←威王36)	惠成王後元15	齊威王卒	320	343	六國表は齊威王後元を宣王と誤るので, その後元前年を問題とすれば339
1845	魏世家	惠王28	同左(惠成王<侯>28)	中山君相魏	343	同左	408魏滅中山, 395復國の可能性あり. 中山君は趙の北の中山國とは一應切り放して検討す
1845	魏世家	惠王30(←30齊伐魏と28齊伐魏とを混同)	惠成王<侯>28・踰年法27	魏伐趙, 齊敗魏於馬陵, 虜魏太子申	343	341	魏世家索隱引竹書紀年梁惠成王29(踰年法年次)齊田盼伐我東鄆, 孫子列傳索隱引竹書紀年梁惠成王27年(踰年法年次)12月齊田盼敗梁於馬陵(魏世家索隱引同紀年同王28同内容は翌年に續くと判断, もしくは魏世家と竹書紀年との惠成王年次のずれを勘案)
1847	魏世家	惠王31	惠成王<侯>31	秦用公子卬破魏軍	340	同左	秦本紀惠文君7(340)同内容

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
1847	魏世家	惠王31(←秦本紀孝公22<340>虞公子卬の年<孝公卒の2年前>←公子卬關聯記事から推測し秦獻公と孝公を取り違え←本来秦獻公卒の年<361>)	惠成王<侯>30・ 隲年法9	魏徙大梁	361	340	秦本紀孝公22衛鞅擊魏虜魏公子卬と同惠文君7公子卬與魏戰,同8魏納河西地を關聯づけたものであろう。實際は魏世家案隲引竹書紀年に梁惠成王9年(361)4月庚寅徙都大梁とある
1847	魏世家	惠王33	惠成王<侯>33	秦孝公卒,商君亡 秦歸魏魏怒不入	338	同左	秦本紀孝公24
1847	魏世家	惠王35	惠成王<侯>35	與齊宣王會平河南	336	同左	
1848	魏世家	惠王36(←六國表←田世家宣王8←齊威王後元18を誤解0年短縮)	惠成王後元14	復與齊王會甄	321	334	孟嘗君列傳案隲引竹書紀年惠成王後元13<322,齊威王後元18>會齊威王于鄆<甄>の翌年ゆえ“復會”
1848	魏世家	惠王36	惠成王<侯>36	惠王卒襄王立	335	同左	見襄王1
1848	魏世家	襄王1	惠成王後元1	與諸侯會徐州	334	同左	“追尊父惠王爲王”は“父惠王”が自己の誤り,事實はこの年に稱王改元し自己の即位に遡って王とした
1848	魏世家	襄王5	惠成王後元4・5	秦敗我龍賈軍四萬 五千于彫陰圍我焦 曲沃于秦河西之地	331・ 330	330	敗龍賈は秦本紀では惠文君7(331),圍焦曲沃が330に到る予河西之地は惠文君8(330)
1848	魏世家	襄王6	惠成王後元6	與秦會應,秦取我 汾陰皮氏焦,我伐 楚敗之陘山	329	同左	秦本紀惠文君9同
1848	魏世家	襄王7	惠成王後元7	魏盡入上郡于秦, 秦降我蒲陽	328	同左	
1848	魏世家	襄王8	惠成王後元8	秦歸我焦曲沃	327	同左	
1849	魏世家	襄王12	惠成王後元12	楚敗我襄陵,諸侯 執政與秦相張儀會 齧桑	323	同左	包山楚簡敗晉師於襄陵之歲は楚建亥曆翌年頭3ヶ月,魏曆夏正では年末3ヶ月
1849	魏世家	襄王13	惠成王後元13	張儀相魏,魏有女 子化爲丈夫,秦取 我曲沃平周	322	同左	
1849	魏世家	襄王16	惠成王後元16	襄王卒哀王立,張 儀復歸秦	319	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1850	魏世家	哀王1(←六國表←秦惠文王7・趙武靈王8)	襄哀王1・2	五國共攻秦不勝而去	318・317	同左	秦本紀惠文王7(318)韓趙魏燕齊帥匈奴共攻秦虜申差敗公子渴韓太子奂斬首八萬二千。“不勝而歸”の語なし。趙世家武靈王8(317,六國表では318にずれている→武靈王18・26・27等)韓擊秦不勝而去,燕策一燕王增既立燕噲3(317)燕與楚三晉伐秦不勝而去からすると、“不勝而歸”は翌年のこと。五國のうちわけも問題(齊楚いずれを含むか)
1850	魏世家	哀王2	同左(襄哀王2)	齊敗觀津	317	同左	
1850	魏世家	哀王5	同左(襄哀王5)	秦使樽里曲沃走犀首岸門	314	同左	秦本紀惠文王11(314)同
1850	魏世家	哀王7	同左(襄哀王7)	攻齊與秦伐燕	312	同左	秦本紀惠文王13(312)同内容
1850	魏世家	哀王8	同左(襄哀王8)	伐衛拔列城二	311	同左	
1851	魏世家	哀王9	同左(襄哀王8)	與秦王會臨晉,張儀魏章皆歸于魏	310	同左	秦本紀武王1(310)同
1851	魏世家	哀王9	同左(襄哀王8)	魏相田壽死,楚害張儀犀首薛公	310	同左	
1852	魏世家	哀王10	同左(襄哀王10)	張儀死	309	同左	秦本紀武王2(309)同
1852	魏世家	哀王11	同左(襄哀王11)	與秦武王會於秦	308	同左	秦本紀武王3(308)同
1852	魏世家	哀王12	同左(襄哀王12)	太子朝於秦	307	同左	秦本紀武王4(307)同
1852	魏世家	哀王12	同左(襄哀王12)	秦來伐我皮氏未拔而解	307	同左	
1852	魏世家	哀王14	同左(襄哀王14)	秦來歸武王后	305	同左	秦本紀昭襄王2(305)悼武王后出歸魏
1852	魏世家	哀王16	同左(襄哀王16)	秦拔我蒲反陽晉封陵	303	同左	秦本紀昭襄王4(303)取蒲反
1852	魏世家	哀王17	同左(襄哀王17)	與秦會臨晉秦予我蒲反	302	同左	秦本紀昭襄王5(302)魏王來朝應亨復與魏蒲反
1852	魏世家	哀王18	同左(襄哀王18)	與秦伐楚	301	同左	秦本紀昭襄王6(301)庶長奭伐楚
1852	魏世家	哀王21	同左(襄哀王21)	與齊韓共敗秦軍函谷	298	同左	
1852	魏世家	哀王23	同左(襄哀王23)	秦復我河外及封陵為和	296	同左	秦本紀昭襄王11(296)與韓魏河北及封陵以和
1852	魏世家	哀王23	同左(襄哀王23)	哀王卒昭王立	296	同左	
1853	魏世家	昭王1	同左	秦拔我襄城	295	同左	
1853	魏世家	昭王2	同左	與秦戰我不利	294	同左	

## 戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1853	魏世家	昭王3	同左	佐韓攻秦,秦白起敗我軍伊闕二十四萬	293	同左	秦本紀昭襄王14(293)同
1853	魏世家	昭王6	同左	予秦河東地方四百里,芒卯以詐重	290	同左	秦本紀昭襄王17(290)以垣爲蒲反皮氏
1853	魏世家	昭王7	同左	秦拔我城大小六十一	289	同左	秦本紀昭襄王18(289)攻垣河雍決橋取之
1853	魏世家	昭王8	同左	秦昭王爲西帝齊湣王爲東帝月餘復稱王	288	同左	秦本紀昭襄王19(288)同
1853	魏世家	昭王9	同左	秦拔我新垣曲陽之城	287	同左	
1853	魏世家	昭王10	同左	齊滅宋宋王死我温	286	同左	濁自載録記事
1853	魏世家	昭王12	同左	與秦趙韓燕共伐齊敗之濟西涪王出亡燕獨入臨淄	284	同左	秦本紀昭襄王23(284)同内容
1853	魏世家	昭王12	同左	秦王會西周	284	同左	
1853	魏世家	昭王13	同左	秦拔我安城兵至大梁去	283	同左	秦本紀昭襄王24(283)同
1853	魏世家	昭王18	同左	秦拔鄢楚王徙陳	278	同左	秦本紀昭襄王29(278)同
1853	魏世家	昭王19	同左	昭王卒安釐王立	277	同左	
1854	魏世家	安釐王1	同左	秦拔我兩城	276	同左	秦本紀昭襄王31(276)同
1854	魏世家	安釐王2	同左	又拔我二城軍大梁下韓來救予秦温以和	275	同左	秦本紀昭襄王32(275)魏入三縣請和
1854	魏世家	安釐王3	同左	秦拔我四城斬首四萬	274	同左	秦本紀昭襄王33(274)攻魏卷蔡陽長社取之擊卯亡華陽破之斬首十五萬,本文の四萬は安釐王2から誤入→安釐王4の文章誤入にも波及
1854	魏世家	安釐王4	安釐王3	秦破我及韓趙殺十五萬人走將芒亡魏將段干子請予秦南陽以和	274	273	秦本紀昭襄王33(274)の内容を誤入→安釐王3の“四萬人”誤入
1854	魏世家	安釐王9	同左	秦拔我懷	268	同左	秦簡編年記昭王39(286)攻懷
1854	魏世家	安釐王10	同左	秦太子外質於魏死	267	同左	秦本紀昭襄王40(267)同
1854	魏世家	安釐王11	同左	秦拔我丘	266	同左	秦本紀昭襄王41(266)攻魏取刑丘懷(懷は268昭襄王39が混入→安釐王9備考)
1862	魏世家	安釐王20(←六國表←秦昭襄王50)	安釐王19	秦閼邯鄲,信陵君魏無忌救趙	258	257	趙孝成王8(258)と同年のはず,頤項曆で本年257年頭の秦本紀昭襄王50を轉寫したためずれる
1862	魏世家	安釐王26	同左	秦昭王卒	251	同左	秦本紀昭襄王56(251)同
1863	魏世家	安釐王30	同左	無忌歸魏率五國兵攻秦	247	同左	秦本紀莊襄王4(247)同
1863	魏世家	安釐王31	同左	秦王政初立	246	同左	始皇本紀1(246)同
1863	魏世家	安釐王34	同左	安釐王卒景湣王增立	243	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1863	魏世家	景潛王1	同左	秦拔我二十城以爲秦東郡	242	同左	始皇本紀5(242)同
1863	魏世家	景潛王2	同左	秦拔我朝歌,衛,淇,野王	241	同左	始皇本紀6(241)同
1863	魏世家	景潛王3	同左	秦拔我汲	240	同左	始皇本紀7(240)同
1863	魏世家	景潛王5	同左	秦伐我垣,蒲,陽,衍	238	同左	始皇本紀9(238)同
1863	魏世家	景潛王15	同左	景潛王卒王假立	228	同左	
1864	魏世家	王假1	同左	燕太子丹使荊軻刺秦王	227	同左	始皇本紀20(227)同
1864	魏世家	王假3	同左	秦灌大梁,虜王假,遂滅魏以爲郡縣	225	同左	始皇本紀22(225)同
1866	韓世家	康子	同左	與趙襄子,魏桓子共敗知伯	451	453	
1867	韓世家	康子	同左	康子卒,武子代	?	?	
1867	韓世家	武子2(←六國韓表←六國韓表鄭紀年←鄭世家幽公1所殺)	武子1	伐鄭,殺幽公	423	同左	
1867	韓世家	武子16	同左	武子卒,景侯立	408	409	
1867	韓世家	景侯1	同左	伐鄭,取雍丘	408	同左	景侯1←六國韓表←六國韓表鄭紀年←鄭世家繆公15
1867	韓世家	景侯2	同左	鄭敗我,負黍	407	同左	景侯2←六國韓表←六國韓表鄭紀年←鄭世家繆公16
1867	韓世家	景侯6	同左	與趙魏俱得列爲諸侯	403	同左	
1867	韓世家	景侯9(←六國韓表←六國韓表鄭紀年←鄭世家繆公23)	景侯8	鄭圍我陽	401	400	
1867	韓世家	景侯9	同左	景侯卒,列侯立	400	同左	
1867	韓世家	列侯3	同左	聶政殺韓相俠累	398	397	
1867	韓世家	列侯9	同左	秦伐我,宜陽,取六邑	392	391	
1867	韓世家	列侯13	同左	秦伐我,宜陽,取六邑	388	387	
1867	韓世家	列侯13(←六國表←魏世家文侯38<10年短縮>←魏文侯48)	列侯6	魏文侯卒	395	387	
1868	韓世家	文侯2	同左	伐鄭,取陽城,伐宋,到彭城,執宋君	387	385	
1868	韓世家	文侯7	同左	伐齊,至桑丘,鄭反晉	382	380	
1868	韓世家	文侯9	同左	伐齊,至靈丘	380	378	
1868	韓世家	文侯10	同左	文侯卒,哀侯立	379	377	
1868	韓世家	哀侯1(←六國韓表←六國魏表晉紀年←晉世家靜公2)	昭釐侯9	與趙魏文,晉國	350	376	
1868	韓世家	哀侯2(←哀侯5を誤讀<五と二の字形>)	哀侯5	滅鄭,因徙都鄭	375	同左	
1868	韓世家	哀侯6	同左	韓釐弒哀侯,懿侯立	374	371	
1868	韓世家	懿侯2(←懿侯5を誤讀<五と二の字形>)	共懿侯5	魏敗我,馬陵	370	369	魏世家惠成王2參照
1868	韓世家	懿侯5(←六國表←魏世家惠王5)	共懿侯9	與魏惠王會宅陽	366	同左	
1868	韓世家	懿侯9(←六國表←魏世家惠王9)	昭釐侯2	魏敗我	362	同左	
1868	韓世家	懿侯12	同左	懿侯卒,昭侯立	363	359	韓表は懿侯卒を莊侯卒(實は374か)とする

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	従来	備考
1868	韓世家	昭侯1	同左(昭釐侯1)	秦敗我西山	363	358	
1868	韓世家	昭侯2	同左(昭釐侯2)	宋取我黃池,魏取朱	362	357	
1868	韓世家	昭侯6	同左(昭釐侯6)	伐東周取陵觀 <sub>1</sub> 郟丘	358	353	
1869	韓世家	昭侯8	同左(昭釐侯8)	申不害相韓	356	351	
1869	韓世家	昭侯10	同左(昭釐侯10)	韓姬弒其君悼公	354	349	
1869	韓世家	昭侯11	同左(昭釐侯11)	昭侯如秦	353	348	
1869	韓世家	昭侯22	同左(昭釐侯22)	申不害死	342	337	
1869	韓世家	昭侯24	同左(昭釐侯24)	秦來伐宜陽	340	335	秦表拔韓宜陽は韓世家からの轉寫
1869	韓世家	昭侯25(←六國韓表)	昭釐侯30	早作高門屈宜臼曰昭侯不出門	334	同左	
1869	韓世家	昭侯26(←六國韓表)	昭釐侯31	高門成昭侯卒宣惠王立	333	同左	韓世家素隱引竹書紀年威侯(後の宣惠王)立
1869	韓世家	宣惠王5	同左(威侯6)	張儀相秦	328	同左	秦本紀惠文君10同.秦表は惠文王(後元前)とする
1869	韓世家	宣惠王8	同左	魏敗我將韓舉	325	同左	
1869	韓世家	宣惠王11(←七を十一と誤讀)	宣惠王7	君號爲王	326	324	
1869	韓世家	宣惠王11(←六國表←趙武靈王4)	宣惠王12	與趙會區鼠	321	322	
1870	韓世家	宣惠王14	同左	秦伐我鄆	319	同左	
1870	韓世家	宣惠王16	同左	秦敗我脩魚嬴得韓將毀申差濁澤	317	同左	
1872	韓世家	宣惠王21	同左	與秦共攻楚敗楚將屈巧,宣景王卒襄王立	312	同左	
1872	韓世家	襄王4	同左	與秦武王會臨晉,秦甘茂攻我宜陽	308	同左	秦本紀武王3同
1872	韓世家	襄王5	同左	秦拔我宜陽,秦武王卒	307	同左	秦本紀武王4同
1872	韓世家	襄王6	同左	秦復與我武遂	306	同左	
1872	韓世家	襄王9	同左	秦復取我武遂	303	同左	
1872	韓世家	襄王10	同左	太子嬰朝秦而歸	302	同左	
1872	韓世家	襄王11	同左	秦伐我取穰,與秦伐楚敗楚將唐昧	301	同左	
1872	韓世家	襄王11(誤配もしくは脱字)	襄王13	與秦伐楚敗楚將唐昧	299	301	秦本紀昭襄王8(299)を誤配もしくは“後3年,襄王13年”等の脱字
1873	韓世家	襄王12	同左	太子嬰死	300	同左	
1873	韓世家	襄王	宣惠王21	楚圍雍氏	312	同左	誤配
1876	韓世家	襄王14	同左	與齊魏王共擊秦至函谷	298	同左	

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1876	韓世家	襄王16	同左	秦與我河外及武遂、襄王卒釐王咎立	296	同左	
1876	韓世家	釐王3	同左	使公孫喜率周魏攻秦,秦敗我虜喜伊闕	293	同左	
1876	韓世家	釐王5	同左	秦拔我宛	291	同左	秦本紀昭襄王15(292)攻楚取宛
1876	韓世家	釐王6	同左	與秦武遂地二百里	290	同左	
1876	韓世家	釐王10	同左	秦敗我師于夏山	286	同左	
1876	韓世家	釐王12	同左	與秦昭王會西周而佐秦攻齊齊敗湣王出亡	284	同左	秦本紀昭襄王23(284)同内容
1876	韓世家	釐王14	同左	與秦會兩周間	282	同左	秦本紀昭襄王25(282)與韓王會新城
1876	韓世家	釐王21	同左	使暴戾救魏	275	同左	魏世家安釐王2(275)韓來救
1877	韓世家	釐王23	同左	趙魏攻我華陽,秦不救,釐王卒桓惠王立	273	同左	
1877	韓世家	桓惠王1	同左	伐燕	272	同左	
1877	韓世家	桓惠王9	同左	秦拔我郟城汾旁	264	同左	秦本紀昭襄王43(264)攻韓伐九城
1877	韓世家	桓惠王10	同左	秦擊我於太行我上黨郡守降	263	同左	
1877	韓世家	桓惠王14	同左	秦拔趙上黨殺馬服子卒於長平	259	同左	趙世家孝成王7(259)同
1877	韓世家	桓惠王17	同左	秦拔我陽城負黍	256	同左	秦本紀昭襄王51(256)同
1877	韓世家	桓惠王22	同左	秦昭王卒	251	同左	秦本紀昭襄王56(251)同
1877	韓世家	桓惠王24	同左	秦拔我城舉榮陽	249	同左	秦本紀莊襄王1(250秦表249)韓獻成舉掌
1877	韓世家	桓惠王26	同左	秦拔我上黨	247	同左	秦本紀莊襄王4(247)攻上黨置太原郡
1877	韓世家	桓惠王29	同左	秦拔我十三城	244	同左	始皇本紀3(244)同
1878	韓世家	桓惠王34	同左	桓惠王卒王安立	239	同左	
1878	韓世家	王安5	同左	秦攻韓,秦殺韓非	234	同左	
1878	韓世家	王安9	同左	秦虜王安韓遂滅置潁川郡	230	同左	始皇本紀17(230)同
1885	田世家	田襄子	田襄子	三晉殺知伯	451	453	
1885	田世家	田襄子	田襄子	襄子卒莊子白立	?	?	
1885	田世家	齊宣公43	同左・田悼子28	伐晉毀黃城圍陽狐	415	413	
1885	田世家	齊宣公44	同左・田悼子29	伐魯葛及安陵	414	412	
1885	田世家	齊宣公45	同左・田悼子30	取魯之一城	413	411	
1886	田世家	田莊子	田莊子	莊子卒	443	?	田世家索隱引竹書紀年齊宣王15田莊子卒明年立田悼子悼子卒乃次立田和



戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1886	田世家	太公和立	田侯和1	太公和立	407	410-408	田世家の記述によれば齊宣公46-48の間と推定できた(實は誤)
1886	田世家	齊宣公48	同左・田悼子33	取魯之郕	410	408	
1886	田世家	齊宣公49	同左・田悼子34	宣公與鄭人會西城伐衛取母丘	409	407	
1886	田世家	齊宣公51	同左・田悼子36	宣公卒,田會自廩丘反	407	405	
1886	田世家	齊宣公51	同左・田悼子36	宣公卒康公貸立	407	405	
1886	田世家	齊康公14	同左・田侯和14	太公遷康公於海上食一城以奉其先祀	394	391	
1886	田世家	齊康公15<14・・明年>	同左・田侯和15	魯敗齊平陸	393	390	
1886	田世家	齊康公18<14・・明年・・3年>	同左・田侯和18	太公與魏文侯(→武侯)會濁澤	340	387	時の魏侯は武侯(文侯は誤)
1886	田世家	齊康公19	同左・田侯和19	田和立爲諸侯	389	386	“紀元年”は史記の解釋
1887	田世家	齊侯太公和立2	田侯和22(稱侯3)	太公和卒	386	385	田世家索隱引竹書紀年齊康公22(踰年法解釋,395兩年→21)田侯刻立,田世家索隱莊周及鬼谷子亦云田成子殺齊君十二代而有齊國,今據系本系家自成子至王建之滅唯祇十代,若如紀年則悼子及侯刻即有十二代,田齊には二王家・四王家が知られるが,太公和~襄王の冢は田侯刻を加えると従來の數え方で七代になる,しかし宣王と湣王とは同一人物なので事なきを得る,しかるに上記索隱の説でも1人減少することになる,しかし田侯因齊と威王をそれぞれ數えた(もしくは田侯因齊に平行在位した姜齊幽公を誤って數えた)とすることでこれも事なきを得る
1887	田世家	桓公立	桓公1	桓公午立	375	384	
1887	田世家	桓公5	同左	秦魏攻韓,齊襲燕取桑丘	371	380	魏世家武侯7の同内容は粗略であるから本條からの轉寫であらう
1888	田世家	桓公6	同左	救衛	371	379	趙世家成侯3(372)伐衛取鄆邑七十三に對應するものであらう
1888	田世家	桓公6	桓公21	桓公卒威王因齊立	356	379	威王基準を誤って年代を廻りすぎたことと姜齊君主卒年次を踰年法と誤って配列したこととに挟まって在位が著しく短縮された

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1888	田世家	威王1(←六國表←魏世家武侯9)	田侯和21・齊康公20	三晉伐我靈丘	387	378	魏世家武侯9・趙世家敬侯9と本條が同一内容(六國年表378)。魏世家が事實に詳しいのでこれが元だろう。“因齊喪”は史記の解釋
1888	田世家	威王3(←六國表←魏表晉紀年←晉世家靜公2)	威王6(田侯因齊7)	三晉滅晉後而分其地	350	376	晉靜公2(年次配列を決めるのは趙世家肅侯1)に合わせる
1888	田世家	威王6	同左(田侯因齊7)	魯伐我入陽關,晉伐我至博陵	351	374	
1888	田世家	威王7	同左(田侯因齊8)	衛伐我取薛陵	350	373	
1888	田世家	威王9	同左(田侯因齊10)	趙伐我取甄	347	370	
1888	田世家	威王23(←六國表←趙世家成侯19)	桓侯21・齊侯因齊1	與趙王會平陸	356	同左	趙成侯はまだ稱王していない
11891	田世家	威王24	同左(後元7)	與魏王會田於郊	332	355	
1892	田世家	威王26(←六國表←魏世家惠成王18)	威王3(田侯因齊4)	齊擊魏大敗之桂陵	353	同左	
1893	田世家	威王33	同左(後元16)	殺其大夫牟辛	323	346	
1893	田世家	威王35	同左(後元18)	公孫閱謂成侯忌	321	344	
1893	田世家	威王36	同左(後元19)	威王卒宣王辟疆立	320	343	
1893	田世家	宣王1(←立を豫年元年と誤る←六國表←秦孝公19)	威王13(田侯因齊14)	秦用商鞅周致伯於秦孝公	343	同左	“秦用商鞅”は用いたためという理由
1893	田世家	宣王2(←六國表←秦本紀孝公21馬陵之戰←343馬陵之戰を341齊伐魏と混同)	威王14(田侯因齊15)	齊救韓魏以擊魏大敗之馬陵	343	341	
1894	田世家	宣王7(←六國表←魏世家惠王35)	威王後元3	與魏王會平阿南	336	335	
1894	田世家	宣王8(←宣王と誤解←威王後元18を10年短縮)	威王後元18	復會甄	321	335	孟嘗君列傳索隱引竹書紀年惠成王後元13<322>會齊威王于鄆<甄>の翌年ゆえ“復會”,見宣王9備考
1894	田世家	宣王9(←宣王と誤解←威王後元19を10年短縮)	威王後元19	與魏襄王會徐州	320	334	
1894	田世家	宣王10(←威王10<田侯因齊11>を誤解)	威王10(田侯因齊11)	楚圍我徐州	346	333	
1894	田世家	宣王11(←威王後元11を誤解)	威王後元11	與魏伐趙趙決水灌齊魏兵罷	328	332	
1894	田世家	宣王18(←六國表←秦本紀惠文君14の前年と誤解)	威王後元15	秦惠王稱王	321	325	從來は前年惠文君13と誤解,實際は324年頭稱王
1895	田世家	宣王19(←威王後元19を誤解)	威王後元19	宣王卒湑王地立	320	324	宣王卒は威王後元19卒を誤る。宣王と湑王は同一人物

戦國紀年再構成に関する試論

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1896	田世家	潛王1(←六國表←秦本紀惠文王2)	威王後元16	秦使張儀與諸侯執政會齋桑	323	同左	
1896	田世家	潛王3(←田嬰相3封於薛をさらに誤解←封田嬰於薛<威王後元17>を封田嬰於彭城<威王後元11・田嬰相3>と誤解)	威王後元17	封田嬰於薛	322	321	孟嘗君列傳秦隱引竹書紀年梁惠成王後元13(322,田齊威王後元17)4月封田嬰於薛・嬰初封彭城。“封彭城”がいつかが問題,誤解を引き起こす以上威王後元3もしくは同13であろう。孟嘗君列傳に田嬰相齊11年宣王卒潛王即位即位3年而封田嬰於薛とある,宣王を威王後元,即位を田嬰相,薛を彭と読み替えると封於彭が威王後元11となる
1896	田世家	潛王4	宣潛王4	迎婦于秦	316	320	
1896	田世家	潛王7	宣潛王7	與宋攻魏	313	317	六國表は魏世家哀王2(316)齊敗我菡澤,趙世家武靈王9(315)齊敗我菡澤と同一事件とする(重なる可能性はある)が宋の介在が異なる,宋世家君偃11(21,322)自立爲王東敗齊云々とも少しずれる,韓世家集解引竹書紀年に韓宣王卒(312)・齊宋圍煮棘とあり齊宋の同盟關係が示されている
1896	田世家	潛王12(←六國表←秦本紀惠文王後元13)	宣潛王8	攻魏,楚圍雍氏	312	同左	
1898	田世家	潛王13(←六國表←秦本紀惠文王後元14)	宣潛王9	秦惠王卒	311	同左	
1898	田世家	潛王23(←六國表←秦本紀昭襄王6)	宣潛王19	秦使涇陽君質於齊	301	同左	
1898	田世家	潛王25(←潛王22を誤讀<二と五の字形>)	宣潛王22	歸涇陽君于秦,孟嘗君薛文人秦相秦亡去	298	299・298	秦本紀昭襄王9(298)同内容
1898	田世家	潛王26(←六國表←魏世家哀王21)	宣潛王22	齊與韓魏共攻秦至函谷車馬	298	297	
1898	田世家	潛王28(←六國表←秦本紀昭襄王11)	宣潛王24	秦與韓河外以和兵罷	296	同左	
1898	田世家	潛王36(←六國表←秦本紀昭襄王19)	宣潛王32	王爲東帝秦昭王西帝	288	同左	
1899	田世家	潛王38(←六國表←魏世家昭王10)	宣潛王34	伐宋宋王出亡	288・286	同左	秦本紀昭襄王19(288)齊破宋,この年に死去
1900	田世家	潛王39(←六國表←秦本紀昭襄王22)	宣潛王35	秦來伐拔我列城九	285	同左	
1900	田世家	潛王40(←六國表←秦本紀昭襄王23)	宣潛王36	燕秦楚三晉合謀敗我濟西	284	同左	秦本紀昭襄王22與楚王趙王會23與三晉燕伐齊與韓王魏王會

東洋文化研究所紀要 第123冊

點校本	卷名	年次(轉寫等の想定プロセス)	實年次	記事略	B.C.	從來	備考
1900	田世家	湣王40	宣湣王36-40?	湣王出亡衛君辟宮舍之稱臣而共具湣王不遜衛人侵之湣王去走鄒魯有驕色鄒魯弗內遂走莒楚使淖齒將兵救齊因相齊湣王淖齒遂殺湣王	284	同左	在衛の期間によっては280(宣湣王40)まで宣湣王は生存していた可能性がある
1901	田世家	襄王立	同左	襄王立	284	同左	襄王在莒五年迎襄王於莒入臨
1901	田世家	襄王14	同左	秦伐我剛壽	270	同左	秦簡徧年記昭襄王37□寇剛と同年、秦本紀昭襄王36同は六國表上齊襄王14からの誤配か
1901	田世家	襄王19	同左	襄王卒王建立	265	同左	
1902	田世家	王建6(←六國表←秦本紀昭襄王48)	王建5	秦攻趙、齊楚救之	260	259	秦本紀昭襄王48には其十月(顛頊曆)とあるので、夏正では
1902	田世家	王建16(←六國表←秦本紀莊襄王1)	王建1	秦滅周	264	249	秦本紀は莊襄王4までを考慮した莊襄王1(250)、六國秦表は莊襄王3までしかなく孝文王1(250)を獨立させる
1902	田世家	王建16	同左	君王后卒	249	同左	
1902	田世家	王建23	同左	秦置東郡	242	同左	王建23←六國表←始皇本紀50か
1902	田世家	王建28	同左	王入秦	237	同左	王建28←六國表←始皇本紀100か
1902	田世家	王建35	同左	秦滅韓	230	同左	王建35←六國表←始皇本紀170か
1902	田世家	王建37	同左	秦滅趙	228	同左	王建37←六國表←始皇本紀190か
1902	田世家	王建38	同左	燕使荊軻刺秦王	227	同左	王建38←六國表←始皇本紀200か
1902	田世家	王建42	同左	秦滅楚	223	同左	王建42←六國表←楚世家王負芻500か、始皇本紀23(224)虜荊王は誤配(→223)、同24昌平君死も誤配(→222)、同24王翳蒙武攻荊が滅楚を示す
1902	田世家	王建43	同左	秦虜代王嘉	222	同左	王建43←六國表←始皇本紀250か
1902	田世家	王建44	同左	秦擊齊王建降	221	同左	王建44←六國表←始皇本紀260か